

令和元年度
(第 46 期)
事業報告

作成日：令和 2 年 5 月 19 日

自 平成 31 年 04 月 01 日

至 令和 2 年 03 月 31 日

社会福祉法人 さつき会

1 全体総括

(1) はじめに

第五期中期経営3か年計画（2019～2021）の初年度の年である令和元年度の当法人事業活動は、年初に掲げた4つの重点目標、1）多様な人材採用・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備、2）業務の可視化による効率化と介護ロボット・ICT等の活用による業務の省力化、3）利用者・家族・地域住民の健康・生きがいのづくりと良質高度なチームケア（サービス）の提供、4）適性利益の確保と内部統制の強化を柱に、年度事業計画にそって各事業所・委員会等の活動を中心に積極的に実施され、概ね順調に遂行された。以下にその概要を報告する。

(2) 法人経営

社会福祉法人さつき会は、法人設立後、これまで46年間にわたり、「地域の福祉ニーズに柔軟に 대응する」ことを使命として、「利用者本位」の原則の下、社会福祉事業を経営してきた。

この間、関係行政並びに地域の皆様の積極的なご支援、ご協力も得て、利用者・職員・組織ともに満足できる人づくり・組織づくりをビジョンに掲げ、より良いケアの提供と働きやすく・働きがいのある職場づくりに努めてきた。

本年度は、ケアアシスタント制度の創設と外国人留学生の実習受入、さつき会の未来を創るネクストリーダー研修、住民参加型総合事業の推進、在宅・施設サービス両部門の中重度者に対する健康リスクの早期発見・早期対応、職員のリフレッシュ休暇推進、介護職員等特定処遇改善加算を活用した職員処遇の改善を重点的に取り組んだ。結果は、入居系サービスの稼働率は維持・微減したが、小規模多機能型居宅介護・訪問介護・通所介護の利用者増加により目標収支差額を達成することができた。また、常勤介護職員（72人）の離職率は9.5%（前期4.6%）となり、北海道平均（20.0%）を大きく下回り、これまでの「人材の確保と育成」の取り組みの成果が持続できている。

一方、積み残した課題も多く、介護職員の慢性的な欠員（法的基準は遵守）、2年目以降の職員に対する集合研修の体系化、介護人材確保のための企業説明会開催は、いずれも未着手・不十分な結果にとどまった為、次年度の重点課題として取り組む所存である。

(3) 施設運営

本年度は、「ヘルパー・デイセンター等の在宅サービス事業所の運営改善の強化・推進」「職員の教育・支持・処遇改善による人材育成と定着促進」「介護ロボットの導入」「適正利益の確保」を重点課題と位置づけ、部門毎の活動計画に基づき、現場職員が主体となってケアとサービスの質向上に努めることができた一年であった。

具体的には、全事業所における介護力向上研修の実施、全事業所の多職種協同による先端ケアの学習と取り組み、利用者・家族の声を大切にするための満足度調査、新型コロナウイルス感染症予防対策などに取り組んだ。

一方、ご家族からの苦情、スタッフの不注意による誤投薬・転倒等、安全対策と業務の標準化への組織的対応が不十分であるが故の出来事と反省し、次年度の最重点課題となった。

来年度は第五期中期経営3か年計画の2年目の年。中期経営計画に基づき、「高齢者の自立した尊厳ある人間らしい生活を守る」ための福祉サービスの安定的・継続的に提供と、利用者・職員・組織がともに満足できる施設運営に努める。

2 部門別事業実績（概要）

（単位：千円）

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額
法人本部	理事会・評議員会の運営 内部監査の実施 法人全体の企画・調整 各施設・事業所の経営及び統括 経営企画に関する諸会議の運営 許認可・申請事務 特命事項 職員の教育・研修 実習、研修等の受入・調整 デイ・なごみ・えんの給食管理・実務 ボランティア・家族会の運営 地域包括支援センターへの人材派遣	—	1 (6)	理事会 6回(5) 評議員会 1回(1) 監事監査 4回(4) 経営改善会議 40回(32) 全体職員会議・研修 4回(4) 実習受入(実件数) 8件(6) (延べ人数) 195人(167) 健康料理教室 10回(10) 地域食堂 10回(10)	△ 3,900 (△10,378)
総務課	総務・人事・会計の管理・実務 施設運営の企画 施設設備の維持管理 施設内の衛生管理 他部署に属さない業務	—	9	施設整備 各所修繕費件 10件(22) 総事業費 2,603(11,998) 設備整備 ミナト医科学外 14件(6) 総事業費 8,144(1,950)	—
介護老人福祉施設 事業さつき苑	要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	50名	38	新規入居者 男6名(4)、女11名(15) 計 17名(19) 退居者 男6名(3)、女12名(14) 計 18名(17) 総延べ入院日数 696日(574日) ベッド稼働率 94.6%(96.1%) 入居待機者 30名(53)	△1,332 (△2,246)
活介 短期入所生 介護事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしよりを介護されている家族が、介護疲れ、病気、事故などにより、一時的に介護することができなくなった場合に、一定期間そのおとしよりに特別養護老人ホームに入居していただき、家族の介護負担の軽減に努めた。	10名	10	実利用者数 41名(60) 実件数 203件(283) 延利用者数 3,249名(3,341) 一日平均 8.9名(9.1) ベッド稼働率 88.8%(91.5%)	3,327 (5,335) 生きがいショート委託費 568 (549)
通所介護事業 はびねす	在宅のねたきり、認知症及び虚弱等の要介護等認定者に対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消、4)家族の介護負担の軽減を図るために通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護、日常生活の相談・助言を行うことで要介護等状態の悪化予防に努めた。	30名	12	開催日数 309日(306) 実利用者数 145名(117) 延利用者数 7,074名(6,938) 生きがいデイ 0(0) 新規利用者 53名(24) 週6日開館、1日平均 22.9名 (22.5) 稼働率 76.3%(75.6)	62621 (4,473)
共同生活介護事業 認知症対応型	認知症により自宅での生活が困難な方に対して、グループホームにおいて「自立と尊厳を支え」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう「利用者中心」の生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	18名	19	新規入居者 男0名(0)、女4名(3) 計 4名(3) 退居者 男2名(3)、女2名(0) 計 4名(3) 総延べ入院日数 74日(35日) ベッド稼働率 98.3%(98.3%) 入居待機者 22名(10)	336 (△2,165)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額
小規模多機能型居宅介護事業 なごみの家	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 15名 ----- (泊まり) 6名 ----- (訪問) 一名	11	開催日数 365日(365) 平均登録者数 21.8名(19.3) 実利用者数 24名(25) 延利用者数 4,380名(4,063) 新規利用者 13名(6) 停止者 9名(11) 1日平均 12.1名(11.1) 稼働率 80.1%(74.2%) ----- 実利用者数 21名(15) 延利用者数 1,626名(1,562) 1日平均 4.5名(4.2) 稼働率 74.2%(71.3%) ----- 実利用者数 14名(10) 延利用者数 3,656名(4,183) 1日平均 10.0名(11.4)	4,917 (6,340)
訪問介護事業	在宅で虚弱、ねたきり、認知症のおとしより等の要介護等認定者および難病患者の家庭等に対して、自立とより質の高い在宅生活の継続が図られるよう、生活援助、身体介護、相談・助言を主とする生活支援サービスの提供に努めた。	—	11	派遣世帯数 111(79) 訪問延回数 10,077回(9,023) 活動延時間 8,092時間(7,071) 内、生きがいヘルプ 0(0) 内、難病疾患ヘルプ 0(0) 新規利用者 58名(28)	10,447(11,166) 生きがいヘルプ委託費 0 (0) 難病患者ヘルプ委託費 0 (0)
居宅介護支援事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしよりが「住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けることができるよう」、本人及び家族のニーズに即したケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づく各種サービスや社会資源が確保・活用されるよう事業者・関係機関との連絡調整に努めた。	—	5	月平均利用者数 介護 100.3名(99.6) 予防 37.7名(29.4) 計 138.0名(129.0) 新規利用者 70名(40) 停止者 41名(43) 入院者延べ人数 131名(75)	△2,376 (-415)
ユニット型地域密着型 介護老人福祉施設事業	鷹栖町在住の要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	20名	24	新規入居者 男1名(1)、女3名(1) 計4名(3) 退居者 男0名(0)、女4名(4) 計4名(4) 総延べ入院日数 197日(98日) ベッド稼働率 97.0%(97.5%) 入居待機者 18名(11)	5,013 (8,264)

小規模多機能型居宅介護事業 ぬくもりの家えん	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 15名	11	開催日数 365日(365)	3,820 (△3,183)
		(泊まり) 6名		平均登録者数 24.3名(22.8)	
				実利用者数 26名(31)	
(訪問) 一名	延利用者数 4,401名(4,065)	新規利用者 5名(13)	停止者 5名(8)		
				1日平均 12.5名(12.1)	
				稼働率 81.9%(79.1%)	
				実利用者数 21名(19)	
				延利用者数 1,682名(1,845)	
				1日平均 4.6名(5.1)	
				稼働率 75.6%(82.9%)	
				実利用者数 14名(14)	
				延利用者数 3,452名(3,174)	
				1日平均 9.5名(8.7)	
住宅事業ぬくもりの家たかほ	主に虚弱・要支援等の高齢者の早めの住み替えニーズに応じた安心・安全な住宅サービス・相談援助サービス等を提供し、出来る限り長く住み慣れた地域社会で生活を続けていくことの支援に努めた。	18名	8	新規入居者 男1名(1)、女1名(3) 計2名 退居者 男2名(1)、女1名(2) 計3名 月平均入居者数 17.8名 稼働率 98.6%(100) 総延べ入院日数 235日(263) 入居待機者(令和元年度3月末) 5名(1)	1,570 (269)
フィットネス倶楽部コレカラ 総合事業	在宅の主一般高齢者を対象に、虚弱化・要介護の予防を目的に、介護予防体操(あったかすリハビリ体操)の普及、介護予防体操指導士(あったかすリハビリ体操指導士)の養成、介護予防サポーター(コレカラサポーター)の養成、住民主体の通いの場の立ち上げ、介護予防運動教室の運営に努めた。		2	開催日数 275日(306) 登録者数 395名(356) 総延べ利用人数 8,615名 (9,534) (各教室の内訳 サーキット 5,751名 レッドコード教室 2,200名 リハビリ体操教室 664名) 1か月平均利用者数783.2名(794.5) 1日平均利用者数 28.9名(32.6) 新規利用者 39名(77) 停止者(利用0回) 176名(115)	
移送サービス事業	心身の障がい・病気により、ねたきりや車いす上で生活されている方が、通院等の理由により外出しなければならなく、一般の車両への乗降が難しい時に、さつき苑に配置されている寝台、若しくは車いすのまま乗り込むことができる専用車両で、自宅から目的地までの送迎を行い、利用者の外出支援に努めた。	—	—	実利用者数 0件(6) 延利用件数 0件(52) (内訳…町内 0件、町外 0件)	0 (260) 委託費収入のみ

(生きがいデイサービス) 介護予防事業	在宅の介護認定非該当の虚弱なおとし よりに対して、1)自立生活の助長、2)心 身機能の維持向上、3)社会的孤立感の 解消を図るため、デイセンター(はびね す)に通所して頂き、入浴・食事・送迎 サービス、趣味・レク活動、健康チェッ ク、養護等のサービスを提供し、要介護 状態にならないように努めた。	—	—	実利用者数	0名(0)	0 (0) 委託費収入のみ
				延利用者数	0名(0)	
				新規利用者	0名(0)	

※1 職員数に施設長は含めず

※2 実績及び事業活動収支差額欄の()内は前年度実績

令和元年度 業績概況

3 業績の状況

(1) 事業活動収入の目標対比

(単位:円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	達成率 (B)/(A)	備考
法人本部	4,920,000	5,497,363	577,363	0.0%	
小 計	4,920,000	5,497,363	577,363	0.0%	
介護老人福祉施設事業	210,121,000	204,678,593	▲ 5,442,407	97.4%	
短期入所生活介護事業	32,998,000	33,643,301	645,301	102.0%	
小 計	243,119,000	238,321,894	▲ 4,797,106	98.0%	
通所介護事業(はびねす)	60,376,000	60,391,951	15,951	100.0%	
居宅介護支援事業	21,736,000	20,746,730	▲ 989,270	95.4%	
小 計	82,112,000	81,138,681	▲ 973,319	98.8%	
認知症対応型共同生活介護事業	81,219,000	84,726,575	3,507,575	104.3%	3
小規模多機能型事業(なごみの家)	61,622,000	60,868,005	▲ 753,995	98.8%	
小 計	142,841,000	145,594,580	2,753,580	101.9%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	100,626,000	102,695,994	2,069,994	102.1%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	52,907,000	55,700,714	2,793,714	105.3%	2
小 計	153,533,000	158,396,708	4,863,708	103.2%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	27,025,000	27,840,973	815,973	103.0%	
訪問介護事業	31,113,000	35,113,731	4,000,731	112.9%	1
小 計	58,138,000	62,954,704	4,816,704	108.3%	
合 計	684,663,000	691,903,930	7,240,930	101.1%	

(2) 事業活動収入の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差異 (B)-(A)	伸長率 (B)/(A)	備考
法人本部	5,949,129	5,497,363	▲ 451,766	0.0%	
小 計	5,949,129	5,497,363	▲ 451,766	0.0%	
介護老人福祉施設事業	206,914,932	204,678,593	▲ 2,236,339	98.9%	
短期入所生活介護事業	32,812,592	33,643,301	830,709	102.5%	
小 計	239,727,524	238,321,894	▲ 1,405,630	99.4%	
通所介護事業(はびねす)	59,105,007	60,391,951	1,286,944	102.2%	
居宅介護支援事業	20,141,520	20,746,730	605,210	103.0%	
小 計	79,246,527	81,138,681	1,892,154	102.4%	
認知症対応型共同生活介護事業	84,102,301	84,726,575	624,274	100.7%	
小規模多機能型事業(なごみの家)	52,896,621	60,868,005	7,971,384	115.1%	2
小 計	136,998,922	145,594,580	8,595,658	106.3%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	101,970,887	102,695,994	725,107	100.7%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	49,991,642	55,700,714	5,709,072	111.4%	3
小 計	151,962,529	158,396,708	6,434,179	104.2%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	27,773,264	27,840,973	67,709	100.2%	
訪問介護事業	30,445,656	35,113,731	4,668,075	115.3%	1
小 計	58,218,920	62,954,704	4,735,784	108.1%	
合 計	672,103,551	691,903,930	19,800,379	102.9%	

令和元年度 業績概況

(3) 事業活動収支差額の目標対比

(単位:円)

事業名	当初予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	達成率 (B)/(A)	備考
法人本部	▲ 3,239,000	▲ 3,259,927	▲ 20,927	100.6%	
小 計	▲ 3,239,000	▲ 3,259,927	▲ 20,927	100.6%	
介護老人福祉施設事業	7,360,000	5,729,374	▲ 1,630,626	77.8%	
短期入所生活介護事業	3,471,000	3,991,779	520,779	115.0%	
小 計	10,831,000	9,721,153	▲ 1,109,847	89.8%	
通所介護事業(はびねす)	7,805,000	8,490,420	685,420	108.8%	
居宅介護支援事業	▲ 1,400,000	▲ 1,566,609	▲ 166,609	111.9%	
小 計	6,405,000	6,923,811	518,811	108.1%	
認知症対応型共同生活介護事業	2,788,000	7,904,260	5,116,260	283.5%	1
小規模多機能型事業(なごみの家)	6,592,000	10,512,068	3,920,068	159.5%	
小 計	9,380,000	18,416,328	9,036,328	196.3%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	9,581,000	15,861,510	6,280,510	165.6%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	5,439,000	10,393,318	4,954,318	191.1%	3
小 計	15,020,000	26,254,828	11,234,828	174.8%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	2,046,000	4,297,660	2,251,660	210.1%	2
訪問介護事業	7,723,000	11,675,811	3,952,811	151.2%	
小 計	9,769,000	15,973,471	6,204,471	163.5%	
合 計	48,166,000	74,029,664	25,863,664	153.7%	

(4) 事業収支差額の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	差異 (B)-(A)	伸長率 (B)/(A)	備考
法人本部	▲ 9,131,155	▲ 3,259,927	5,871,228	35.7%	
小 計	▲ 3,239,000	▲ 3,259,927	▲ 20,927	100.6%	
介護老人福祉施設事業	3,275,572	5,729,374	2,453,802	174.9%	3
短期入所生活介護事業	6,015,948	3,991,779	▲ 2,024,169	66.4%	
小 計	10,831,000	9,721,153	▲ 1,109,847	89.8%	
通所介護事業(はびねす)	6,452,759	8,490,420	2,037,661	131.6%	
居宅介護支援事業	▲ 173,802	▲ 1,566,609	▲ 1,392,807	901.4%	
小 計	6,405,000	6,923,811	518,811	108.1%	
認知症対応型共同生活介護事業	4,397,431	7,904,260	3,506,829	179.7%	2
小規模多機能型事業(なごみの家)	11,347,357	10,512,068	▲ 835,289	92.6%	
小 計	9,380,000	18,416,328	9,036,328	196.3%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	17,164,631	15,861,510	▲ 1,303,121	92.4%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	2,542,582	10,393,318	7,850,736	408.8%	1
小 計	15,020,000	26,254,828	11,234,828	174.8%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	2,583,479	4,297,660	1,714,181	166.4%	
訪問介護事業	11,704,415	11,675,811	▲ 28,604	99.8%	
小 計	9,769,000	15,973,471	6,204,471	163.5%	
合 計	48,166,000	74,029,664	25,863,664	153.7%	

令和元年度 法人本部事業報告

1. 総括

令和元年度は、「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る」を基本方針に、以下のことに取り組んだ。

1つ目は、法人が目指す「予防から看取りまで途切れ目のないケアの提供」の実現に向けて、理学療法士を中心に鷹栖町・社協との連携の下、一般高齢者対象の介護予防・地域リハビリテーション事業の推進に努めた。同時に、増加する中重度化に対応するため最新のケアシステム「トータルケアシステム」の運用及び「地域包括ケア推進チーム研究会」（地域ケアマネジメント会議）も継続し、一つの困難事例のカンファレンスに全事業所の専門職が参加し、ニーズ優先のケアマネジメントとサービス提供に努めた。

2つ目は、鷹栖町、鷹栖高校、旭川短期大学と連携し、介護の担い手の育成を社会福祉法人の地域貢献として、「鷹栖高校介護職員初任者研修」の講師及び実習の受け入れを行った。学生（18名）も熱心であり今後介護の担い手となることも期待できた。また、講師となった職員は、自分たちの知識・技術・価値観を他者に伝える経験を積むことが大きな成果であった。他にも、養護学校・小学校の体験学習、中学校の職場体験、介護福祉士養成校の実習受け入れについては例年どおりで積極的に行った。

3つ目は、働きやすく働きがいのある職場づくりである。さつき会の未来を創る若手職員育成の目的とするネクストリーダー研修、課題別職員研修、エルダー制度、現任職員の定期面談、総合職昇格試験、奨学金返還支援手当制度を継続して行った。新設された介護職員等特定処遇改善加算（半年分約 6,000 千円）を活用して、ほぼ全ての職員の賃金改善を図った。

介護人材確保では、来年4月に就職を予定する旭川福祉専門学校外国人留学生（1年生2名）の実習を受け入れ、実習期間中の学習・宿泊・生活・送迎の支援に努めた。また高齢者福祉・介護の仕事のやりがいとさつき会の魅力を求人専門サイト、SNS、個別の職場見学会の活用等を通じて発信した。その結果、さつき会の理念と実践に共感し採用試験に道内から2名が受験し全員採用することができた。

法人が掲げる業績管理目標を達成した事業所は、介護センター、小規模多機能ホームぬくもりの家えん、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅。法人全体のサービス活動増減差額は31,739千円（前年度15,386千円）、事業活動収支差額80,590千円（予算54,227千円）となり、前年度・予算ともに上回ることができた。

2. 次年度に向けて

令和2年度は第5期中期経営3か年計画の2年目の年となる。法人が最も力点を置く多様な人材の確保と育成、中核人材育成に取り組む。具体的には、今般の介護人材の枯渇が増悪化する中、これまでの取り組みに加え、外国人介護福祉士人材育成事業への参画と受入体制づくり、ケアアシスタントの養成・採用、リーダー研修、社会福祉士養成校からの積極的な実習受入準備に着手して、次の時代を担う人材育成に務める。

処遇改善においては、全事業所において7連休以上の休暇取得を促進。介護職員等特定処遇改善加算を活用し、働きやすく働きがいのある職場づくりに取り組む。

また、一般高齢者の健康寿命延伸のニーズに応えるため、総合事業（フィットネス倶楽部）・任意事業（地域交流スペース・地域食堂）の事業を推進し、鷹栖町における地域包括ケア体制の拡充を図る。

さらに、全事業所において適性利益の確保を図るよう、経営改善会議及び財政健全化推進チーム会議を中心に課題共有、改善策の立案、実施状況の確認の徹底を図る。

3. 運営状況・統計資料

(1) 理事会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	元.6.7 (金) 18:00 ~ 19:15	報告第1号 理事長専決事項について 議案第1号 平成30年度経過報告並びに事業報告について 議案第2号 平成30年度決算報告について 議案第3号 監事監査結果報告について 議案第4号 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査結果について 議案第5号 被服貸与規則の一部改正について 議案第6号 評議員会の開催について	理事4名 監事2名
2	元. 6.22 (土) 17:45 ~ 18:15	報告第1号 次期役員の選任について 議案第1号 理事長・常務理事の選任について 議案第2号 運営規定の一部改正について	理事4名 監事2名
3	元.8.31(土) 16:00 ~ 17:15	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 令和元年度第1四半期経過について 議案第1号 令和元年度第1四半期業績・収支報告について 議案第2号 監事監査結果報告について 議案第3号 令和元年度特定処遇改善加算一時金の支給について 議案第4号 令和元年度介護支援専門員特定処遇改善加算一時金の支給について 議案第5号 令和元年度第1次補正予算(案)について	理事6名 監事2名
	元. 9.24 書面表決	議案第1号 運営規定の一部改正について(各事業所料金改正) 議案第2号 運営規定の一部改正について(鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑:サービス提供責任者2名→3名)	理事6名
4	元.11.30 (土) 15:55 ~ 17:30	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 書面表決結果について 報告第3号 令和元年度第2四半期経過報告について 議案第1号 令和元年度第2四半期業績・収支報告について 議案第2号 監事監査結果報告について 議案第3号 就業規則の一部改正(案)について 議案第4号 第5次中期計画3か年計画及び令和元年度経営計画の一部変更について	理事6名 監事2名

回	期 日	議決事項等	出席者
5	2.2.29(土) 書面表決	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 令和元年度第3四半期経過報告について 議案第1号 令和元年度第3四半期業績・収支報告について 議案第2号 監事監査結果報告について 議案第3号 給与規定の一部改正(案) について	理事 6名 監事 2名
6	2.3.21(土) 15:00 ~ 16:15	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 第5回理事会(書面表決行使)結果について 議案第1号 令和2年度経営(事業)計画並びに当初予算(案)について 議案第2号 就業規則の一部改正(案)について 議案第3号 就業規則(鷹栖町介護センターさつき苑)の一部 改正(案)について 議案第4号 評議員会の招集について	理事 6名 監事 2名

(2) 評議員会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	元.6.22(土) 15:50 ~ 17:25	議案第1号 理事・監事の選任について 議案第2号 第4次中期計画3か年計画総括及び第5次中期計画3か年計画(案)について 議案第3号 平成31年度経営(事業)計画並びに当初予算(案)について 議案第4号 平成30年度事業報告並びに決算報告について(監事監査報告含)	評議員 7名

(3) 監査等の実施状況

① 監事監査

回	期 日	主な監査実施項目	監査実施者
1	元.5.21(火) 15:30 ~ 17:00	平成30年度経過報告並びに事業報告について 平成30年度業績報告並びに決算報告について 入居者預り金の管理状況について	監事 2名
2	元.8.22(木) 15:30 ~ 16:30	令和元年度第1四半期業績報告について 令和元年度第1四半期収支報告について 入居者預り金の管理状況について	監事 2名
3	元.11.22(火) 13:00 ~ 15:00	各事業所固定資産物品現況確認について 令和年度第2四半期業績報告について 令和元年度第2四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事 2名
4	元.2.18(火) 15:30 ~ 16:30	令和元年度第3四半期業績報告について 令和元年度第3四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事 2名

(4) 資格保有・取得状況

	介護福祉士	介護支援専門員	看護師	准看護師	保健師	管理栄養士	理学療法士	社会福祉士 (精神保健福祉士)	2級ヘルパー (介護職員初任者研修含む)	社会福祉主事
正職員	54	24	5	1	2	3	2	8【3】	21	26
パート職員	17	1	3	2	0	0	0	1	20	0
計	71	25	8	3	2	3	2	9【3】	41	26

注：令和2年3月31日現在の在籍者 精神保健福祉士は【 】で表示

(5) 諸会議

① 経営改善会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎週水曜日 10:10~11:00	安定的かつ効率的な施設・事業所経営を図るため、経営・運営上における課題や重要事項について協議・決議することを目的とする。	施設長 介護部長 各課長	40回

② 財政健全化推進チーム・地域包括ケア推進チーム研究会

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎月第4水曜日 13:00~16:00	・収入と支出のバランスが取れた安定的な財政構造の実現を図るために必要な推進(計画策定・実行・評価)を行う。 ・新たな地域ケア(地域包括ケア)に取り組むために必要な事業所の運営改善を図る。	施設長 各部長 各課長 各主任 介護支援専門員等	10回

③ 職員全体研修・会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
1.全体研修 元.11.8・11	感染症予防を目的とした研修を開催した。 【実施内容】 ()内は対象者・講師 ・感染対策研修会(対象：全職員) (講師：谷水さおり・藤川朋恵・三國谷佐千恵)	全職員	全体研修 2回 全体会議 2回
2.全体会議 元.6.13・17	法人として職員全体に伝達すべき重要事項がある場合に適宜開催する。 【実施内容】 ・令和元年度経営(事業)計画について ・介護職員処遇改善について ・給与規程等の一部改正について ・働き方改革について(有給休暇の取得) ・人材紹介謝礼規定について ・交通安全について ・非常災害対策について ・その他		

④サービス向上発表会開催内容

令和2年3月6日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止
発表予定内容

申込事業所	発表テーマ	発表者
鷹栖町在宅介護支援センターさつき苑	もし、個別支援のケアマネジャーが災害時に自らの「マネジメント」を行ったら ～防災対策の取り組みから出た思わぬ副産物を交えて～	ケアマネジャー 山本 正広
多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家	脱・マンネリ！ ～楽しみアル生活をおくるために～	ケアスタッフ 津野 良江 伊藤 有紀
鷹栖町デイサービスセンターはびねす	ハイクオリティ ハンドメイド	主任 成田 直美
特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑	あたりまえの生活を取り戻す ～食べて味わうこと、ゆっくり眠ること～	リーダー 角谷 美紀 ケアスタッフ 畠山 幸女
小規模多機能ホームぬくもりの家えん	共に ～本人の想いを守るケアを目指して～	リーダー 林 由美 ケアスタッフ 寒河江ゆかり

(6) 広報誌の発行（町内全戸配布）

発行回数	発行部数
年6回発行	各3,000部発行

(7) 実習生等受入状況

実習日程	人数	実習名	実習生所属学校等
5月13日～18日	1	PT実習(延べ6)	大分県 鈴鳴荘
7月17日	13	学外授業	旭川大学保健福祉部
8月19日～9月21日	3	介護実習(2年生)(延べ72)	旭川大学短期大学部
9月25日～9月26日	18	介護実習(延べ35)	鷹栖高校
10月3日～10月4日	9	職場体験学習(延べ18)	鷹栖中学校
11月7日～8日	1	認知症実践リーダー研修現場実習(延べ2)	特別養護老人ホーム温心園
1月20日～2月15日	2	介護実習(1年生)(延べ48)	旭川介護福祉専門学校
2月12日～14日	1	北海道介護支援専門員実務研修	旭川市内介護事業所
延べ人数	195		

(8) 苑外研修参加状況

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
4	19	旭川地域小規模多機能型居宅事業所連絡会	旭川市	林崎・能登
5	11	第7回全国地域包括ケア研究会 in 北海道鷹栖町・美瑛町	鷹栖町	施設長・谷本・尾上・松原・木幡・谷・大矢・大河原・米澤・佐々木・佐藤(恭)・坂林・山本・上坊寺・佐藤(晴)・秋保・志知・林崎・森・室橋・能登(21名出席)
6	21	接遇講習会	旭川市	坂林
	22～23	第70回 北海道理学療法士学会	帯広市	大河原
	26～27	令和元年度新任職員介護職員研修(3)	旭川市	山内・星・野原・古井・平間・四ツ家・川口
7	3～4	全道老人福祉施設研究大会(第39回 老人福祉施設研究発表会)	札幌市	施設長・藤矢・西山・田村・大河原・中澤
	15～16	道北地区老施協介護職員初任者研修会	名寄市	和泉
8	9	サービス提供責任者講習	旭川市	米澤・伊藤
	13	レッドコードプログラムの視察	札幌市	大河原
	24	マイナビ医療・福祉業界就職セミナー	札幌市	尾上・金巻・木幡
	24～25	介護福祉士実習指導者講習会	札幌市	志知
	27	令和元年度メンタルヘルス講習会	旭川市	高橋
9	3～6	2019年度介護支援専門員更新研修	旭川市	松原
	7～8	介護福祉士実習指導者講習会	旭川市	志知
	12～13	平成31年度ユニットリーダー研修	札幌市	設楽
	24～27	2019年度認知症介護実践リーダー研修①	札幌市	設楽
	30～10/4	2019年度認知症介護実践リーダー研修②	札幌市	設楽
10	1	他施設視察	東京都	施設長
	7～10	ユニットリーダー研修 他施設実習	旭川市	設楽
	16	道北地区老施協 看護職員研修会	上川町	谷水・藤川・細川
	17～18	令和元年度 北海道ブロックカンントリーミーティング(in 札幌)	札幌市	森
	18～20	第6回日本予防理学療法学会学術大会	広島市	大河原
	19～20	社会福祉士実習指導者講習会	札幌市	尾上
	21～22	道北地区老人福祉施設協議会「栄養士・調理師研修会」	旭川市	己上・伊藤
	28～11/1	令和元年度 全国老人福祉施設研究大会 愛媛会議	松山市	谷水
	29～31	介護支援専門員更新研修	旭川市	秋保

11	4	「日本人の食事摂取基準(2020年版)研修会」	札幌市	己上・伊藤
	12	道北地区老施協 護職員研修会	旭川市	藤矢・澤田・寒河江
	12～13	2019年度認知症介護実践リーダー研修 他施設実習	札幌市	設楽
	16	令和元年度第6回学習療法施設間交流会	芦別市	松嶋・寒河江
	21～22	令和元年度 主任介護支援専門員研修	札幌市	坂林
	26	2019年度認知症介護実践リーダー研修 ②	札幌市	設楽
12	5～6	小型車両系建設機械(整地等)特別教育	旭川市	佐々木(純)
	9～10	令和元年度 主任介護支援専門員研修	旭川市	坂林
	16	ケアの質を上げる介護ロボット活用研修 会 介護記録システム施設見学	札幌市	尾上
	17～18	小型車両系建設機械(整地等)特別教育	旭川市	高橋
1	19～21	令和元年度 主任介護支援専門員研修	旭川市	坂林
2	2～3	全国老施協 令和元年度トップセミナー	東京都	施設長
	5～7	令和元年度 北海道主任介護支援専門員実務 研修	旭川市	大河原
	9～10	第11回全国先端ケア研究会 in 北海道・旭川	旭川市	施設長・谷本・尾上・森・谷水・佐久間・己上・林・松原・藤矢・谷・大矢・大河原・佐々木(恵)・坂林・佐藤(恭)・山本・佐藤(晴)・米澤・設楽・河田・伊藤・大倉(23名出席)
	17	介護アシスタント取り組み視察	石狩市	施設長・尾上・森・木幡
	26～3月	令和元年度 北海道介護支援専門員実務 研修・見学学習	旭川市	大河原
	26～28	令和元年度 主任介護支援専門員研修	旭川市	坂林
3	12～15	令和元年度 北海道主任介護支援専門員実務 研修	旭川市	大河原
				延べ111名

令和元年度 総務課事業報告

1. 総括

令和元年度は、毎日の朝会、毎月の課内会議の開催で、職員相互の業務の実施状況や行事予定の共有を図り、窓口として来客などの対応を実践した。

さらには、総務課は法人全体の経営・施設運営の業務を担うセクションであることから、施設の行事など事前準備を含めて積極的に参加するという職員の考え方や意識に変化が生じている。

事務部門においては、現行業務の負担軽減を図るため、平成 27 年度から年間行事予定表の総務課作成を廃止、介護支援センター（居宅介護支援事業所）への直通回線を利用など、事務の効率化とご利用者の利便性向上を図っています。

また、経理事務については、平成 28 年度から会計処理システムを導入し、会計処理の明確化を図ることができていますが、予算管理については今後の課題となっています。

さらに、出退勤に係る「タイムレコーダー」を平成 28 年度から導入し、職員の出退勤時間の適正な把握を目指していますが、未だに打刻漏れが散見されている。

「広報活動」は、広報委員会の事務局を担い、広報誌（オールカラー化）・ホームページ・ブログを通して情報発信を充実させ、昨年に引き続き成果を残すことができた。ホームページ・ブログについては、使いやすさや見やすさなどについて検討を行い、必要な改善を行った。

2. 次年度に向けて

総務課会議を毎月定例開催し、課員全体で業務を推進できるような事務マニュアルに基づく研修などを通じて、社会福祉法人・高齢者福祉施設の総務部門に求められる「おもてなし」の使命と役割を正しく認識し、窓口業務の一層の高度化と経理事務をはじめとする業務がスムーズに行え、事務処理がさらに簡素化できるようなシステムづくりに取り組む。

また、経営の羅針盤ともなる会計データの提出に関しては、正確性と期日厳守を徹底し、財政健全化に必要なデータを即時即応で提出できる体制を確保します。加えて、各事業所の予算管理について確認を徹底し、計画に基づく予算執行を目指します。

さらに、さつき会各事業所の働きやすい職場環境を目指し、施設・社用車等管理を行い、環境整備に努め、業務の効率化・安全化の徹底を図る。

加えて、災害対応に向けた、日頃の準備の重要性を認識し、行政・近隣住民・家族の協力を得ながら、入居者・利用者の安全第一のため、用品確保・訓練実施に取り組む。

3. 運営状況・統計資料

(1) 職員の状況

単位：人

役職・職種 区分		令和元年度 期 首	令和元年度 期 末	増 減
施設長		1	1	0
副施設長		0	0	0
地域密着型サービス事業部長		1	1	0
施設・在宅サービス事業部長		1	1	0
事務員	正 職 員	3	3	0
	嘱 託 職 員	1	1	0
	パート職員	2	2	0
生活相談員	正 職 員	3	3	0
ケアマネジャー	正 職 員	5	4	▲ 1
出向ケアマネジャー	正 職 員	1	1	0
計画作成担当者	正 職 員	4	4	0
サービス提供責任者	正 職 員	2	3	1
介護員	正 職 員	50	53	3
	パート職員	22	27	5
ホームヘルパー	正 職 員	1	1	0
	パート職員	5	5	0
	登 録	2	2	0
看護職員	正 職 員	3	4	1
	パート職員	5	5	0
	派遣職員	0	1	1
理学療法士	正 職 員	2	2	0
管理栄養士	正 職 員	2	3	1
調理員	正職員	0	1	1
調理員	パート職員	13	14	1
運転員	パート職員	2	2	0
用務員	正 職 員	1	1	0
夜間管理当直員	パート職員	5	5	0
	派遣職員	(1)	(1)	0
嘱託医		1	1	0
合 計		138	151	13

注) 兼務職員については、主たる職務へカウントする。

(2) 賞与支給状況

時 期	支給月数
	正職員
6 月	0.8~1.8
12 月	1.2~2.2
計	2.0~4.0

(3) 寄付金関係

単位：円

区 分	件 数	総 額	摘 要
寄付金	5	400,000	法人・各事業所運営のため

(4) 環境整備・苑内修繕状況(10万円以上)

(単位：円)

月	環 境 整 備 ・ 修 繕 名	整備・修繕先	費用	実施施設名
5	ウォシュレット取替及び洗面排水管修理	齋藤工業所	117,720	ぬくもりの家えん
7	コレカラガラスフィルム張り	後藤田建設	112,320	ぬくもりの家たかほ
9	スプリンクラーポンプ庫及びキュービクル 塗装補修工事	浦辻塗装	432,000	鷹栖さつき苑
10	居室内装改修工事	後藤田建設	432,000	ぬくもりの家えん
	生活室 12 暖房機取替工事	大洋設備	216,000	ぬくもりの家えん
12	既存渡り廊下屋根漏水に依る内 装修繕工事	盛永組	104,500	ぬくもりの家えん
1	浴槽タイル修繕工事	後藤田建設	214,500	鷹栖さつき苑
2	全自動水洗機主軸メタル Assy 交換	池田製機	539,000	鷹栖さつき苑
	機械室給水管漏水修繕工事	大洋設備	220,000	鷹栖さつき苑
3	既存アプローチ防雪ネット取付工事	盛永組	214,500	ぬくもりの家えん
合計			2,602,540	

(5) 苦情・意見に対する改善状況

部 署	受付月	苦情・意見の内容	改善状況
総務課		なし	
特養さつき苑		なし	
ショートステイ	12月	職員の対応	マナー研修・引き継ぎにて周知
デイサービス	4月	職員の対応に不満	指示的な職員対応について優しく接するよう改善を図った。
ヘルパーサービス	1月	職員の交替について	職員交替。サービス提供にあたり、利用者へ確認、返答を待って、サービスを提供することを周知徹底しました。
介護センター		なし	
GHなごみの家		なし	
SHなごみの家		なし	
特養えん		なし	
SHえん		なし	

令和元年度 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑・ショートステイさつき苑 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

令和元年度は、看護師の入れ替わり、栄養士の産休による新規栄養士採用、相談員、主任の人事異動と大きな変化があった年度であった。そのような中でまずは、多職種間で協力し合えるチームづくりに取り組んだ。その上で、根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でのトータルケアの実践に取り組んだ。微熱の対応に力を入れ、胆道系の疾患を早期に対応できたが、尿路感染、短期入居の方の誤嚥性肺炎を防ぐことができなかった。カンファレンスは実施しているが知識が不足や多職種の十分な連携までにはいたらず、目標入院日数を大きく上回ってしまった（696日間）。また、痛みや苦しみを緩和するケアとしては、引き続き下剤による苦痛を軽減させるケアに取り組み、排泄間隔の把握と根拠がはっきりしている新薬の使用にも取り組み刺激性下剤は4%と目標の6%を達成することができた。アクティビティ（外出、季節行事、おやつ作り）もほぼ例年とおりに取り組んだが、職員の公休出勤や超過勤務での負担が大きく調整を行いながら勤務内で行えるような調整を図った。コロナウイルスの流行により1月以降の行事には実施できなかったと共に家族との交流も図ることができなかった。

事故の目標は昨年度比20%減であったが91件（昨年82件）10%増、骨折も6件（昨年4件）と増加となってしまった。職員の介護技術の向上も必要ではあるが、重度化していく中、施設設備、介護用品も古くなっており、ベッド・マット・車椅子の入れ替えやIT化も早急に必要となっている。

食事、栄養については栄養士が年度途中での休暇取得となったが、引き継ぎがなされ計画していた行事や日々の栄養管理については実施することができた。委託業者との日々の業務調整と連携ができ、食事の味や見た目の質を確認し、細かく速やかに対応し統一化を図ることができるようになった。多職種連携としては、経管栄養の方に口腔ケアと栄養面からのアプローチを図り、経口からの食事摂取に取り組んだ。また、11月からは好みの飲み物とおやつを提供できるように改善し、食を通して暮らしの楽しみができるようになった。

働きがいと魅力ある職場環境をつくるでは、リフレッシュ休暇は新任職員を含む全職員が7から8日の連休を取得。旅行や里帰りなどそれぞれが充実した休暇を取ることができた。会議については休日の会議出勤はゼロにはできなかったが勤務調整により減少と、時間についての短縮化を図ることができた。職員の確保については、正職員が採用されまでの間、派遣職員で勤務態勢を維持したり、人材紹介会社からの採用時、体験採用を実施し適切な採用を試みた。実習生においては、法人初の外国人を総務課やサ高住、鷹栖町役場とも協力し受け入れた。言葉の壁はあったが、職員が丁寧に教え、入居者からの不安などもなく適切に受け入れることができた。

最後に、令和元年度の業績について、特養事業は目標稼働98.0%に対し、実績94.6%（目標介護保険収入208,980,000円に対し、実績介護保険収入は202,522,000円）、ショートステイ事業は目標稼働95.0%に対し、実績88.8%（目標介護保険収入32,954,000円に対し、実績介護保険収入は33,597,000円）であった。特養事業については、退去者が多く次期入居までに時間がかかってしまったこと、入院者数の増加があり目標を達成することができなかった。ショートステイ事業については、ロングステイの方を在宅に戻し関係などもあり、実人数の低下となり稼働がさがってしまった。

2. 展望（次年度に向けて）

令和 2 年度は、重度化に対してしっかりとチームとして対応できるようチームの再構築と職種毎の知識と技術の向上を図り対応していく。そのためには日々の体調変化を迅速に捉え重症化を予防するケアチェックの徹底と身につく研修を行い実践に結びつけいく。

また、季節毎の行事と暮らしの喜びや体を動かすことにも力を入れ楽しい暮らしづくりを実践していく。

人材の定着と確保については、引き続きリフレッシュ休暇(7 連休)の取得推進、サービス残業ゼロの取り組み、を実施すると共に、外国人採用に向け受入の体制を準備と記録のIT化や介護機器の見直しを図っていく。

最後に、適正収益の確保では、特養事業の目標稼働率は 98.0%以上(目標介護保険収入 207,494,000 円)、ショートステイ事業の目標稼働は 90%以上(目標介護保険収入 34,280,000 円)とする。また、支出面において現在の業務委託にかかる経費は、業務の効率化と合理化を図り、適正化を図る。

3. 業績報告

(1) ベッド稼働率

(単位：%)

事業名	目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	98.0%	94.6%	96.5%	96.1%	98.4%
短期入所生活介護事業	95.0%	88.8%	93.5%	96.3%	92.2%

(2) 延べ入居者人数

(単位：人)

事業名	目標延べ入居者数(A)	実際延べ入居者数(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度実際延べ入居者数(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	17,934	17,307	96.5%	17,540	98.7%
短期入所生活介護事業	3,477	3,249	93.5%	3,341	97.2%

(3) 事業収入（介護保険収入・介護予防事業委託費）

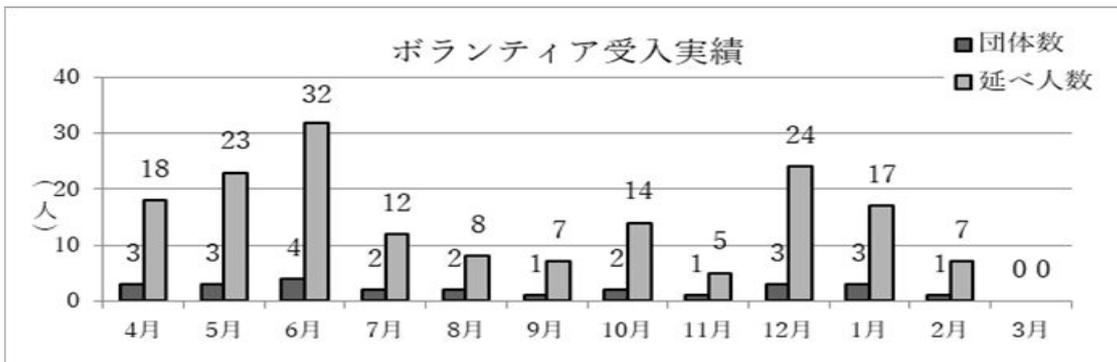
(単位：千円)

事業名	目標収入(A)	実際収入(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度収入(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	210,121	204,679	97.4%	205,108	99.8%
短期入所生活介護事業	32,998	33,643	101.9%	32,768	102.7%

4. ボランティアの状況

(1) ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	3	3	4	2	2	1	2	1	3	3	1	0	25
延べ人数	18	23	32	12	8	7	14	5	24	17	7	0	167



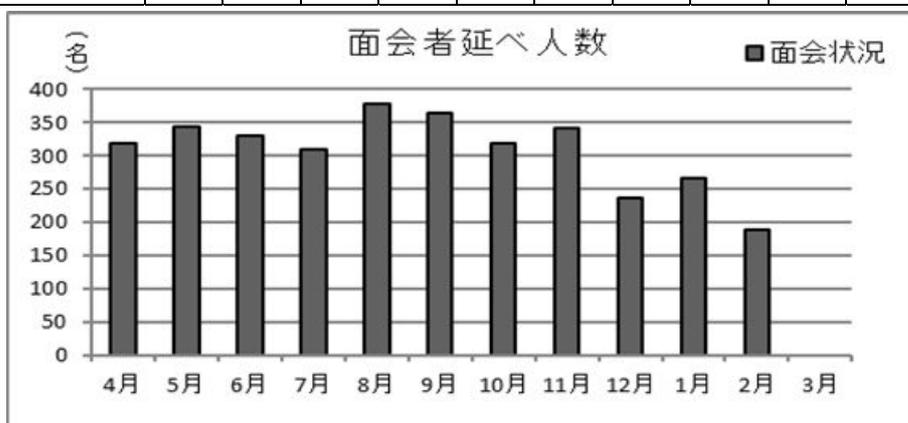
(2) ボランティア協力団体一覧

特養さつき苑		
	団体名	活動内容
町内	IZATAKA	さつき祭 ダンス 90名
	共栄老人会	お話相手
	喜楽会	お話相手
	銀星老人会	お話相手
	七福老人会	お話相手
	十五期会	さつき祭 大掃除 餅つき
	大成老人会	花壇整備
	大成町内会	花壇整備
	鷹栖黎明太鼓	さつき祭 演奏 7名
	鷹栖小学校スクールバンド	さつき祭 演奏 19名
	たかす吹奏楽団	さつき祭 演奏 21名
	鷹栖青年会	さつき祭 会場設営 露天 15名
	鷹栖中学校吹奏楽部	さつき祭 演奏 36名
	鷹栖町赤十字奉仕団	外窓拭き
	町内老人会	お話相手
	2区睦会	お話相手
21区老人会	お話相手	

	8区老人会	お話相手
	ひまわり会	お話相手
	フレッシュ親睦会	お話相手
	北成老人会	お話相手
	北斗老人会	お話相手
	松平老人会	お話相手
町外	北の大地	さつき祭 演舞 6名
	照鷹会	民謡披露
	セラピードッグあさひかわ	
	大雪風神会	さつき祭 演舞 25名
学校	旭川大学	さつき祭 会場及び露天 4名
	旭川大学短期大学部	新秋祭 2名

5. 面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者延べ人数(名)	319	345	330	309	378	364	318	341	236	266	189	0	3,395



6. 行事

実施日	行事名	内容	担当者
5月	菜園作り	ご入居者と共にさつき苑の畑を利用し、過去の体験の回想や知恵を借りながら野菜を作ることにより日常生活の活性化を図る。 秋には収穫の喜びを分かち合い、ユニット行事等で調理し共に味わう。予定でしたが実施はできなかった。	伊藤
5/24	北野小学校交流会	北野小学校4年生が来苑され、入居者と一緒に手作りの	設楽主任

		ゲームや、合唱を聴かせて下さり交流を行う。	
6/19	鷹栖養護学校交流会（高等部）	鷹栖養護学校高等部の生徒さんが来苑され、入居者と一緒にゲームや作品作りを行い、楽しい時間を過ごす。	松原主任 谷本部長
6/27	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校高等部の生徒さんが来苑され、入居者と一緒にゲームや作品作りを行い、楽しい時間を過ごす。	松原主任 谷本部長
6/27	すずらん ビッグカボチャ 団子作り	ビックリするような大きな、カボチャ団子を作り思い出をつくる。	松原主任
7/8	たんぼぼ 動物園見学	少人数（3名）で動物園に出かけ、食事と動物鑑賞を楽しむ	和泉
7/14	第32回さつき祭	ご家族、地域の方と催し物を含め、楽しんでいただく	長多 藤矢
7/11	鷹栖小学校4年生 擬似体験	介護機器や車椅子の体験を行う	松原主任 室橋主任
7/19	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校高等部の生徒さんが来苑され、入居者と一緒にゲームや作品作りを行い、楽しい時間を過ごす。	松原主任 谷本部長
7/30	照鷹会民謡	照鷹会の方々が来苑され、民謡を聴かせて下さる。入居者も一緒に口ずさまれ楽しめる。	松原主任 谷本部長
8/8	焼き肉会	網で焼いたジンギスカン、焼き鳥、サンマ、ホッケの焼きたてを楽しんで頂く	蓮井 伊藤栄養士
8/11	すずらん 流しそうめん	夏の風物詩の「流しそうめん」を入居者、ご家族、スタッフと共に楽しんで頂く。	工藤
8/18	たんぼぼ 流しそうめん	流しそうめんを通して、入居者・スタッフと共に夏を感じ、楽しんで頂く。	田村 島山
8/4	嵐山神輿渡御観覧	さつき苑正面玄関にて御神輿の観覧を行い、夏祭りの雰囲気を楽しまれる。	谷本部長
8/4	熱夏フェスタ 花火観覧	熱夏フェスタの会場へ行き、ご入居者に花火を見て頂き夏のひとときを味わっていただく。	松原主任
8/20	鷹栖小ボランティア委員会交流	鷹栖小のボランティア委員会の子供達が来苑し、ご入居者と一緒にゲームを行い楽しむ。	室橋主任
8/25 9/6	すずらん 外食・買物外出	少人数での外出で食事とショッピングを楽しむ	佐藤
9/16	第30回新秋祭	ご家族と共に、長寿を祝い出し物と食事を楽しむ	西山 島山
10/4	北野小学校介護	介護機器や車椅子の体験を行う	松原主任

	疑似体験		
11/5	北野小学校交流会	生徒が来訪し、入居者とゲームやお話を通し交流する	松原主任 谷本部長
11/29	鷹栖小学校 4年生交流会	生徒が来訪し、入居者とゲームやお話を通し交流する	松原主任 谷本部長
12/25	ライオンズ寿司 会	ライオンズクラブのみなさんが来訪し、お寿司を入居者、職員に振る舞っていただく	室橋主任 松原主任
12/27	餅つき	たかほの入居者、十五期会のみなさんの協力を得て餅をつき食べる	室橋主任 松原主任
1/9	特養新年会	職員と入居者が新年を祝い会食	福井 工藤

7. 会議

(1) リーダー会議

月日	議題内容	参加人数
4/5	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、平成31年度活動計画進捗状況確認、その他（今後の予定）、今月の実績	5
5/7	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、令和元年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、リーダーミニ研修、その他（今後の予定）、今月の実績	5
6/6	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、令和元年度活動計画進捗状況確認、リーダーミニ研修、その他（今後の予定）、今月の実績	5
7/11	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、令和元年度活動計画進捗状況確認、リーダーミニ研修、その他（今後の予定）、今月の実績	4
8/6	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、令和元年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、リーダーミニ研修、その他（今後の予定）、今月の実績	5
9/2	業務確認・改善、先月の事故発生状況、ケアカンファレンス、平成30年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、リーダーミニ研修、その他（今後の予定）、今月の実績	4
10/4	業務確認・改善、ケアカンファレンス、令和元年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、その他（今後の予定）	5
11/5	ケアカンファレンス、業務確認・改善、令和元年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、その他（今後の予定）	5

12/3	ケアカンファレンス、業務確認・改善、令和元年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、その他（今後の予定）	4
1/10	ケアカンファレンス、業務確認・改善、平成30年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、その他（今後の予定）	5
2/4	令和2年度事業計画策定会議	5
3/9	ケアカンファレンス、業務確認・改善、平成30年度活動計画進捗状況確認、スタッフマネジメント、その他（今後の予定）	5

（２）たんぽぽユニット会議

月日	議題内容	参加人数
4/16	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、年間計画誕生日を迎えられる方、買い物担当 キックオフミーティング、環境整備について、	10
5/13	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、誕生日を迎えられる方、買い物担当、衣替えについて、介護過程の展開	9
6/11	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、誕生日を迎えられる方、買い物担当、衣替えについて、介護過程の展開	10
7/17	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、誕生日を迎えられる方、買い物担当、衣替えについて、介護過程の展開	10
8/13 体調不良者おり中 止	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、誕生日を迎えられる方、買い物担当、衣替えについて、介護過程の展開	
9/9	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、微熱の出やすい方への対応、誕生日を迎えられる方、買い物担当、衣替えについて、介護過程の展開	9

10/7	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、買い物 物担当、加湿器について、感染症について	8
11/7	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、買い物 物担当、決まり事チェック	9
12/5	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、買い物 物担当、環境について、ペットについて	10
1/8	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、提出 物について、買い物担当、	8
2/18	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、本人 家族からの苦情	8
3/16	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、誕生日を迎えられる方、買い物 物担当、たんぼぼ事業計	8

(3) なでしこユニット会議

月日	議題内容	参加人数
4/23	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、 事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、 会議の記録、誕生日を迎えられる方、提出物について、 歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標	10

5/21	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、衣替え・加湿器の片付けについて、新担当について	9
6/18	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、シーツ交換について、オンコール対応研修	9
7/26	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、介護過程の展開実演、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、食中毒予防研修	9
8/21	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、介護過程の展開実演・評価、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、寝具交換について、ブリストル便性状スケールについて	9
9/19	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、介護過程の展開評価、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、扇風機の片付けと加湿器設置について、制服について、居室整理について、身体拘束・高齢者虐待研修、議案書配布について、ユニット清掃	9
10/17	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定	9

	期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、感染症について、ユニット清掃	
11/22	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、 褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、 本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、 ご家族への手紙について、先月の目標、今月の目標、決まり事チェックについて、理容について、食事業者変更について、ユニット清掃	9
12/10	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、環境について、新担当について パット形態について、ユニット清掃	9
1/20	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、環境について、新担当について 喫煙について、就寝時の着替えについて、誤嚥について(ミニ研修)	
2/20	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、 ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、 歯ブラシの定期交換について、記録について、先月の目標、今月の目標、新担当について、平成31年度ユニット年間計画の策定、ユニット清掃	
3/23	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、 事故ハイリスク者、事故を予防するために、年間計画、買い物担当、会議の記録、 ユニット費の扱いについて、誕生日を迎えられる方、提出物について、 歯ブラシの定期交換について、記録について、担当について、先月の目標、 今月の目標、平成30年度ユニット年間計画について報告、新担当について、物品破損について	

(4) すずらんユニット会議

月日	議題内容	参加人数
4/30	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	9
5/27	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	8
6/28	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、オンコールの対応について、トランスファーボードの使い方	8
7/30	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、食中毒予防研修	8
8/30	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	8
9/25	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、身体拘束・高齢者虐待予防研修	8
10/29	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	8
11/29	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	8
12/17	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他	8
1/27	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、事業計画策定について、誤嚥予防の基本的理解と緊急対応マニュアルについて	8
2/25	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、事業計画の策定について	8

3/30	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討 その他、新オペレーションについて	8
------	---	---

(5) ナース会議

月 日	議 題 内 容	参加人数
4/15	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、その他（下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、活動計画進捗状況の確認、介護保険制度改正について、入居者心電図検査）	6
5/16	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認）、オンコールの判断研修について	5
6/13	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（回診の対応について、活動計画進捗状況の確認、処方薬の間違ひについて）	5
7/18	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、ブリストルスケール採用について、休日の救急対応について）	5
8/13	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、胃瘻の方の対応について、体重測定についてほか）	5
9/12	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、加湿器の設置について）	5

10/11	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認）	4
11/14	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、体重測定について）	5
12/20	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（インフルエンザ発症時の対応について）	5
1/14	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて。	5
2/14	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、体重測定について）	5
3/13	入退院・通院状況の確認、退居者の状況確認と新規入居者の情報共有、褥瘡発症者及びハイリスク者への対応、ケース検討、業務改善・確認、下剤の見直し、排便コントロールについて、向精神薬・眠剤・認知症改善薬等の見直しについて、その他（活動計画進捗状況の確認、体重測定について）	5

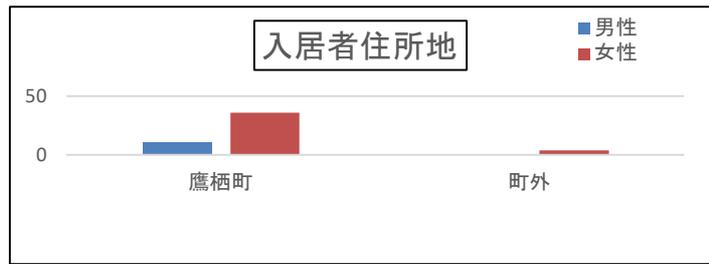
令和元年度特別養護老人ホーム現況報告書

自:平成31年4月1日 ~ 至:令和2年3月31日

1. 入居者状況

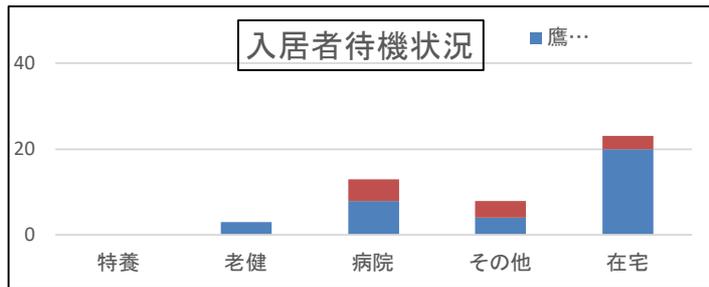
(1) 入居者住所地(令和元年3月31日現在)

	男性	女性	合計
鷹栖町	10	36	46
町外	0	4	4
合計	10	40	50



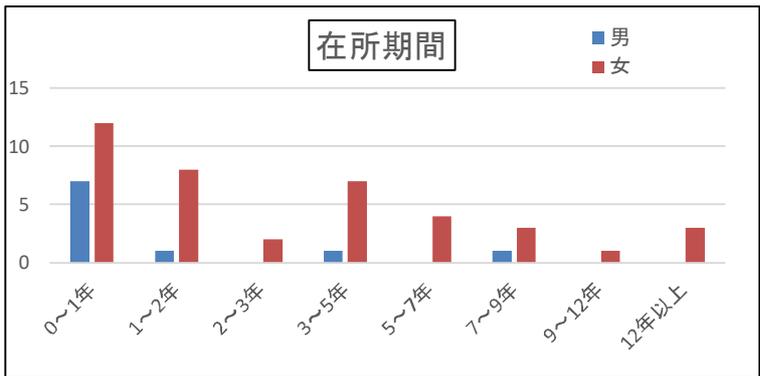
(2) 入居者待機者状況(令和元年3月31日現在)

	特養	老健	病院	その他	在宅	合計
鷹栖町	0	3	8	4	20	35
町外	0	0	5	4	3	12
計	0	3	13	8	23	47



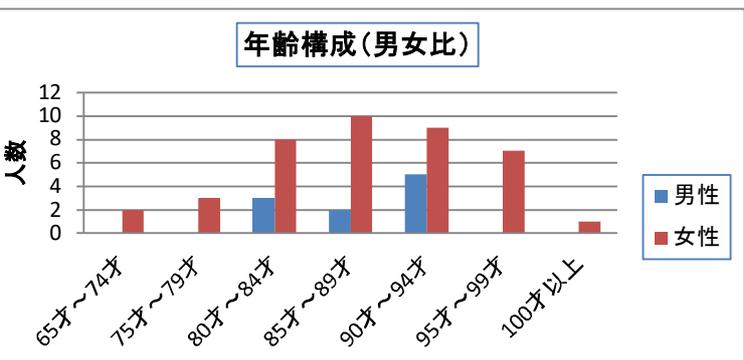
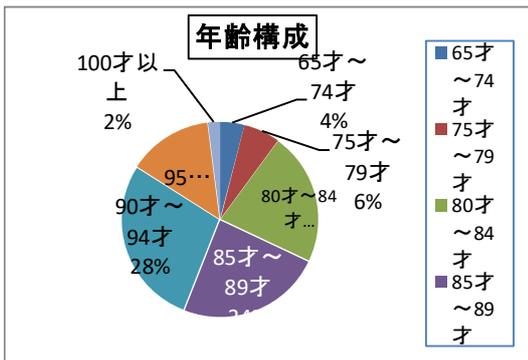
(3) 在所期間一覧表(令和元年3月31日現在)

	男	女	合計
0~1年	7	12	19
1~2年	1	8	9
2~3年	0	2	2
3~5年	1	7	8
5~7年	0	4	4
7~9年	1	3	4
9~12年	0	1	1
12年以上	0	3	3
合計	10	40	50



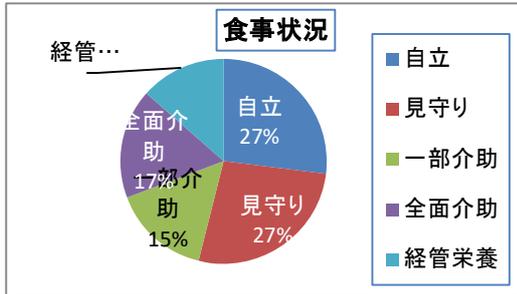
2. 入居者年齢構成(令和2年3月31日現在)

	在籍者			【最高年齢】 男性 93歳 女性 100歳 【最低年齢】 男性 80歳 女性 71歳 【平均年齢】 男性 87.8歳 女性 88.6歳 全体 88.5歳
	男性	女性	計	
65才~74才	0	2	2	
75才~79才	0	3	3	
80才~84才	3	8	11	
85才~89才	2	10	12	
90才~94才	5	9	14	
95才~99才	0	7	7	
100才以上	0	1	1	
計	10	40	50	



3.食事状況(令和2年3月31日現在)

	自立	見守り	一部介助	全面介助	経管栄養	合計
男性	3	4	0	2	1	10
女性	11	10	8	7	6	40
合計	14	14	8	9	7	50



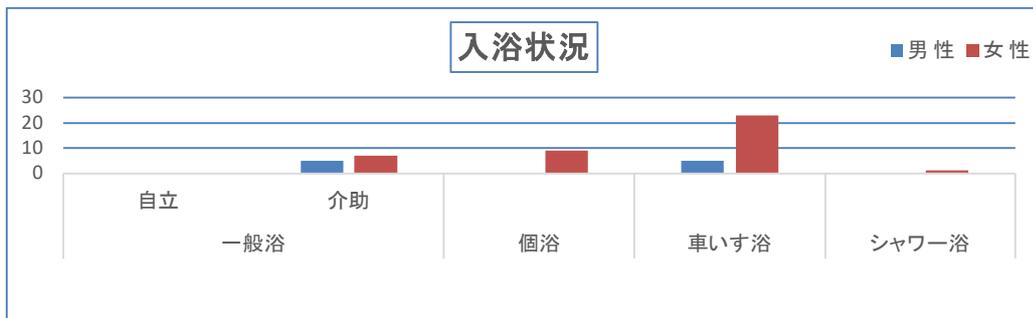
4.移動状況(令和2年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす使用		合計
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助	
男性	3	0	0	1	2	1	3	10
女性	1	3	1	4	5	3	25	40
合計	4	3	1	5	7	4	28	50



5.入浴状況(令和2年3月31日現在)

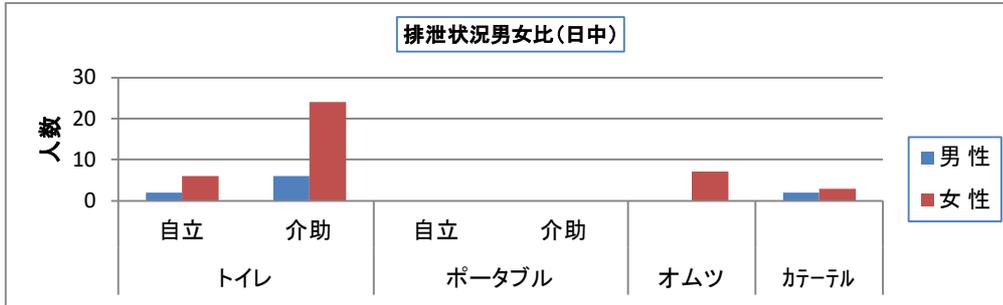
	一般浴		個浴	車いす浴	シャワー浴	合計
	自立	介助				
男性	0	5	0	5	0	10
女性	0	7	9	23	1	40
合計	0	12	9	28	1	50



6.排泄状況(令和2年3月31日現在)

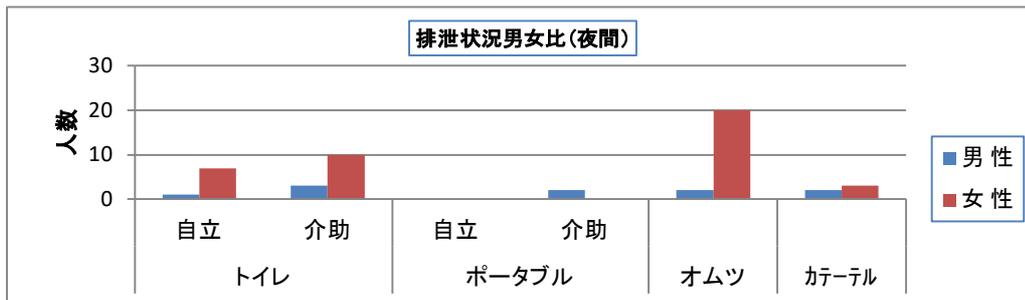
日中

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	2	6	0	0	0	2	10
女性	6	24	0	0	7	3	40
合計	8	30	0	0	7	5	50



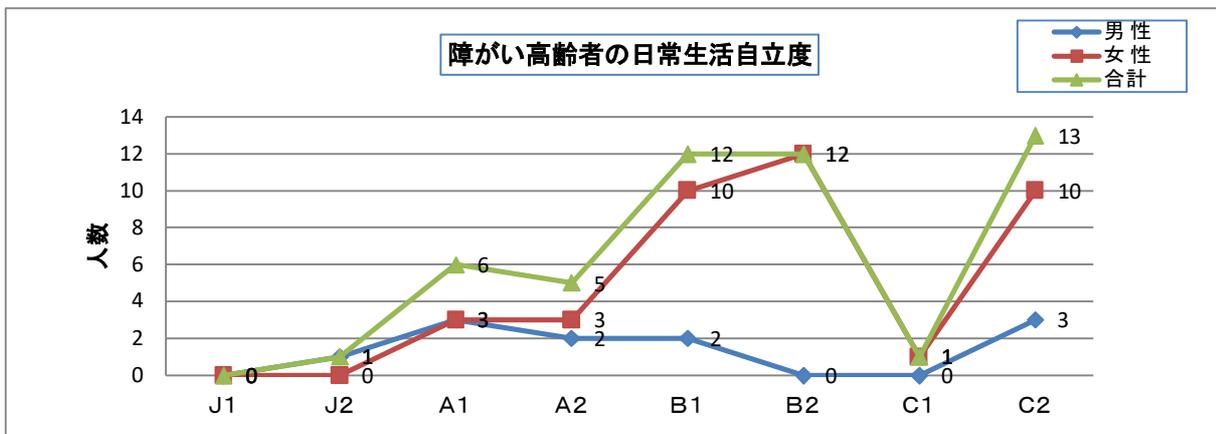
夜間

	トイレ		ポータブル		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	1	3	0	2	2	2	10
女性	7	10	0	0	20	3	40
合計	8	13	0	2	22	5	50



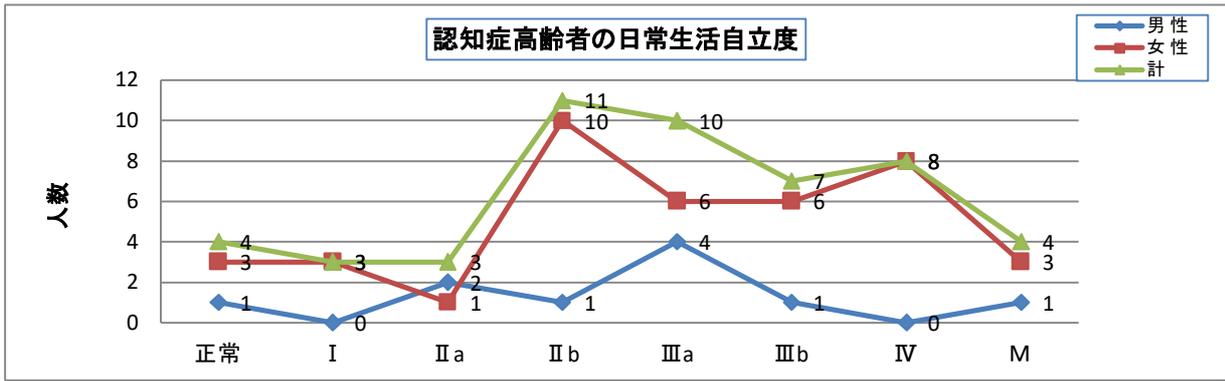
6.身体状況(障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定)

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
男性	0	1	3	2	2	0	0	3	10
女性	0	0	3	3	10	12	1	10	40
合計	0	1	6	5	12	12	1	13	50



7.認知症状況(認知症高齢者の日常生活自立度判定)

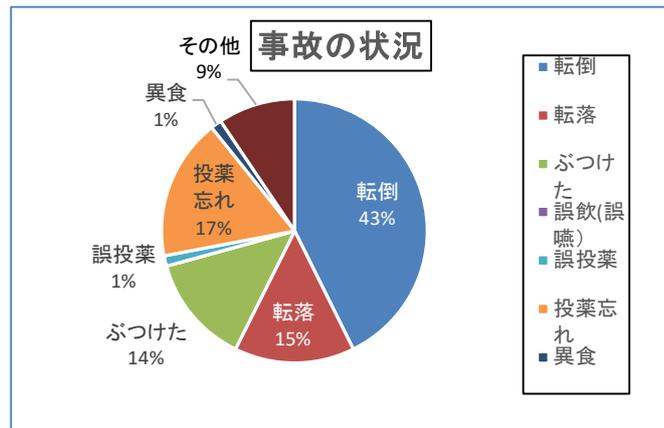
	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
男性	1	0	2	1	4	1	0	1	10
女性	3	3	1	10	6	6	8	3	40
計	4	3	3	11	10	7	8	4	50



8.事故の状況

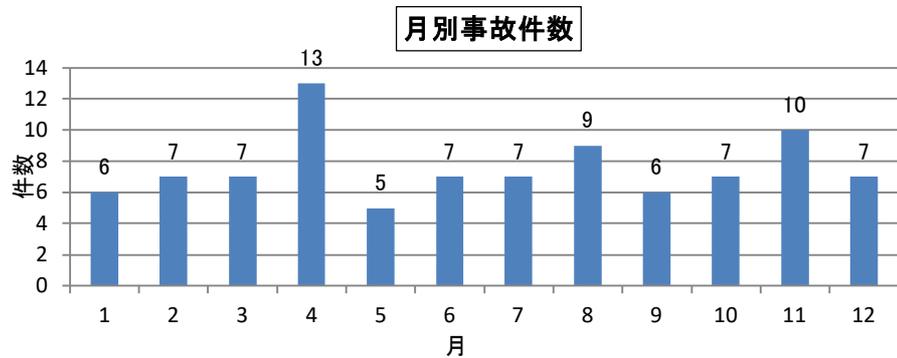
(1)内容

内容	件数
転倒	32
転落	11
ぶつけた	10
誤飲(誤嚥)	0
誤投薬	1
投薬忘れ	13
異食	1
その他	7
圧迫	0
搔いた	0
合計	75



(2)月別発生件数

発生月	件数
4月	6
5月	7
6月	7
7月	13
8月	5
9月	7
10月	7
11月	9
12月	6
1月	7
2月	10
3月	7
合計	91



令和元年度 鷹栖町デイサービスセンターはびねす事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

令和元年度は、「リハビリテーションの充実」「環境改善」「アクティビティの充実」「楽しくおいしい食事」「介護予防と中重度化対応」の5項目の取り組みを継続して行った。

「リハビリテーションの充実」は、元気の出る集団体操を理学療法士が考案し導入した。リズムカルな音楽に振り付けを行い、全員が元気よく体操を行えている。リハビリマシンは導入より7年がたち日課として定着している。自らマシンの設定を行い、すすんで体力づくりに取り組まれている方が増えてきている。

「環境改善」はより過ごしやすい環境を提供出来る様に、テーブルの配置を定期的に配置換えした。図書コーナー書籍の数が充実している。

「アクティビティの充実」は、ハンドメイド作品づくりが好評である。作業工程の難しいものも職員の細かい対応で技術向上し、出来る様になってきている。町外の利用希望者もハンドメイドを行いたいと言う理由で、利用につながっている方もいる。

「楽しくおいしい食事」は、馴染みの仲間たちとのおいしい食事をコンセプトに普段の食事ではなく、焼き肉や鍋料理等を楽しんでいただいた。

「介護予防と中重度化対応」は、健康立ち話の開催をほぼ毎日行う事ができた。脱水・誤嚥性肺炎・下剤・認知症予防・生活不活発病の5つのテーマを、スタッフ全員が説明できるようになった。利用者が自宅で実践し自己の健康管理に役立っていることもあるように感じる。

以上の取り組みにより、実利用者数は月平均で平成30年度89.8名のところ、令和元年度は94.9名と増加した。しかし、一人あたりの利用回数が少なく延べ利用回数の伸びが136名と少なかった。

令和元年12月より、新規利用の申し込みが急増。昨年より行っている居宅への営業と、近隣の通所事業所の閉館が影響しているものと考え、特に今年度の傾向は、町外からの中重度者が目立っている。主な目的は、デイでの入浴であるが、リハビリテーションと食事の管理、健康管理を合わせて今後の身体の機能向上に繋がりたいと考える。利用者の増加に伴い、活気あふれるデイサービスセンターとなっていた。12月からはコロナウイルスの流行により自主欠席があり利用者数は減少したが、平均利用者数は22.9名と昨年平成30年の22.7名より0.2名のびることができた。

2. 展望(次年度に向けて)

令和2年度は、「リハビリテーションの充実」「環境改善」「アクティビティの充実」「楽しくておいしい食事」「介護予防と中重度化」の取り組みを継続する。

特にコロナウイルス等の感染予防対策をしっかりと行い、影響の少ないよう運営方法を考えサービス提供を継続し、利用者の「元気を創るデイサービス」として地域の人から必要とされるように取り組んで行く。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績

<事業収入>

(単位:千円)

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100

<1日の平均利用者数>

目標 平均利用者数 (A)	実際 平均利用者数 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 平均利用者数 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
24名	22.7名	94.5%	22.5名	100.9%

(2) 利用者年齢構成

(単位:人)

年齢	男性	女性	合計	
55 ~ 60		1	0	1
60 ~ 64		0	0	0
65 ~ 69		0	1	1
70 ~ 74		3	1	4
75 ~ 79		4	7	11
80 ~ 84		11	24	35
85 ~ 89		15	33	48
90 ~		12	33	45
合計		46	99	145
平均年齢		85	87	
最低年齢		56	68	
最高年齢		96	99	

(3) 事故発生状況

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	0	1	3	1	3	1	0	0	0	0	0	10
転落	0	1	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	9
傷をつくる	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
異食・誤食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因不明の傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爪切り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬管理ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

衣服破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	1	2	2	4	1	4	1	1	0	3	2	1	22

(4) 職員研修

< 苑内研修参加状況 >

日 程	研 修 内 容	参加人数
令和元年		
5月 28日	接遇マナー研修	7名
9月 4日	救急救命講習	7名
8月27日 9月2日	基礎介護研修 (中級: 認知症)	5名
9月11. 24日	基礎介護研修 (中級: 移乗)	5名
10月22日11月20日	基礎介護研修 (中級: 食事)	5名
11月 13. 26日	基礎介護研修 (中級: 排泄)	5名
2月 13日	基礎介護研修 (医療)	5名

< 外部研修参加状況 >

日 程	研 修 名	参加者
令和2年2月9日	全国先端ケア研究会	谷・大矢・大河原

(5) デイサービスセンター会議実施状況

開催月	内 容	参加人数
平成31年	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	8名
4月 23日	環境改善・事故報告・平成31年度行動計画について	
令和元年	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	6名
5月 28日	環境改善・事故報告・活動計画評価・接遇マナー研修	
6月 25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	7名
	環境改善・事故報告・活動計画評価	
7月 23日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	7名
	環境改善・活動計画評価・	
8月 26日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	5名
	環境改善・事故報告・活動計画評価	
9月 19日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	7名
	環境改善・事故報告・活動計画評価	
10月 28日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	6名
	環境改善・事故報告・活動計画評価・接遇マナー研修	
11月 25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	7名
	環境改善・事故報告・活動計画評価	
12月 23日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告	5名
	環境改善・事故報告・活動計画評価	

平成31年 1月 27日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	6名
2月 24日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	5名
3月 23日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告	6名

(6) ボランティア受け入れ状況

①ボランティア受入実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	2	2	3	3	1	2	3	3	2	3	2	0	26
延べ人数	14	14	18	16	2	16	18	16	21	22	7	0	164

②ボランティア協力団体

団体名	活動内容
老人会カラオケクラブ	・カラオケ交流
学習療法サポーター	・学習療法支援
あったかすりハビリ体操指導士	・あったかすりハビリ体操の指導
個人ボランティア	・アロママッサージ

(7) 行事

日時	行事名	場所	担当者
平成 31 年 4月 17日	回転寿司ツアー	旭川市	井上
4月 20日	食事会	デイサービスセンター内	井上
令和元年 5月 7.8日	花見ツアー	パレットヒルズ	井上・成田
5月 16日	外食ツアー	旭川市レストラン	井上
5月 24日	食事会	デイサービスセンター内	井上
6月 12日	買いものツアー	旭川市	井上
6月 19日	食事会	旭川市	井上
6月 20日	外出ツアー	旭川市	井上
6月 28日	外出ツアー	旭川市	井上
7月 22日	食事会	デイサービスセンター内	井上
7月 23日	回転寿司ツアー	旭川市	井上
8月 8日	夏祭り	デイサービスセンター内	井上・成田
8月 23日	外食ツアー	旭川市レストラン	井上
8月 29日	買いものツアー	旭川市	井上

9月 6日	パークゴルフツアー	鷹栖町四季の里パークゴルフ	井上
9月 24日	食事会	デイサービスセンター内	井上
9月 26日	外食ツアー	旭川市レストラン	井上
10月 16.17日	リンゴ買いツアー	旭川市神居古潭	井上
10月 25日	食事会	デイサービスセンター内	井上
10月 29日	外食ツアー	旭川市	井上
11月 18日	外食ツアー	旭川市	井上
11月 29日	外食ツアー	旭川市	井上
12月 18日	外食ツアー	旭川市	井上
12月 25日	食事会	旭川市	井上
令和2年 1月 6日	新年会	デイサービスセンター内	井上・成田
2月 13日	食事会	デイサービスセンター内	井上

※外出行事、季節行事のみ記載

4. 苦情の状況

(1) 苦情の内容と対応

受付日	内容	原因	改善状況
なし			

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびねす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

1

1

事業計画No.	重点目標との連動	取組事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容											
1.2.3	(1)	魅力あるデイサービス充実したアクティビティ	常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える。	成田/藤川/谷	計画 図書補充 実施 実施	図書補充 実施	テプブルクロス(既)取 実施	自動販売機の更新(既飲料系に限定した機種変更)成田/谷 実施	図書コーナー検討 谷 未実施	図書コーナー改善 谷 未実施/実施	B		テプブルクロス(既)取 成田 実施					①テプブルクロスの取り替えによる季節毎のホールの雰囲気の変更 ②選べる飲料水の種類拡充 ③図書専用コーナーの設置	B	いつもは定期的に更新出来ている。飲料水の更新も出来た。図書コーナーの設置は見送る。入浴更衣室の清潔のため、掃除機は稼働させることを追加した。											
			魅力ある製作レクレーション、楽しめる脳トレを提供し利用者様に楽しい時間を過ごしていただく。	成田/井上 田中	計画 ハンドメイド/成田 井上/田中 実施 脳トレレク見直し/谷 未実施	脳トレレク見直し/谷 未実施	脳トレレク導入 実施						A									ハンドメイドの作品のクオリティアップが上がり、参加者、利用者者数が増えたとの証が聞かれる。脳トレもユニサイズを導入									
			デイサービスのプログラムを見直し、活気のあるデイサービスを目指す。	成田/井上 田中	計画 アクティビティ職員 の配置見直し/谷 季節風呂/田中 実施 未実施	アクティビティ職員 の配置見直し/谷 未実施								C									職員配置の配置の見直しが出来なかった。元気のある体操の導入で活気ある午後のプログラムを提供出来た。								
			ハイキング形式の継続により、自己選択、自立支援の機会を増やす。	柳原/藤川 鈴木	計画 ハイキング 実施 実施	ハイキング 実施								B									ハイキングは継続出来ている。生活リハビリの一環として定着している。								
			食事を毎月行い、「馴染みの仲間たち」とおいしい食事の場を提供する。	柳原/成田 鈴木	計画 食事会 実施 実施	食事会 実施								B									食事会好評。置かれている。追加利用もある状態となる。2月より食事会自費(額)となる。								
			生活目標の設定・掲示をして、生活意欲が向上できるようにする。	大矢/大河原	計画 生活目標リニューア ル 大矢/藤川 実施 実施	生活目標リニューア ル 大矢/藤川 実施								B										生活目標達成者15名と目標に とどかず目標達成とならず。							
4	(1)	自立支援と リハビリメニューの充実	非マシンによる自主トレーニングを提供し、リハビリテーションプログラムの拡充を図る。	大矢	計画 リハビリをPT対応 実施 実施	リハビリをPT対応 実施						B									個別リハビリ 見直し 実施	PTの午後リハビリ体制の介入による専門性の向上 ②個別リハビリの改善(より多くの利用者が利用したいと思える空間作り)	B								
			デイサービスセンターの中庭を活動、休息の場として整備する。	大矢/大河原	計画 パークゴルフ場 オープン/大矢 実施 実施	パークゴルフ場 オープン/大矢 実施							B										①パークゴルフ場の整備、休憩できる環境を整備	B	晴れた日は利用者職員共に外での活動を促した。						
			掲示物の更新を行い、介護予防の啓発コーナーの充実を図る。	大河原	計画 掲示物入れ替え 大河原 実施 実施	掲示物入れ替え 大河原 実施								B									掲示物入れ替え 大河原 実施	①定期的な回覧物の入れ替えができる	A	定期的な入れ替えを行う事で、新鮮な情報を見ることが出来ている。					
			元気のある団体体操の検討・導入を行う。	大矢/大河原	計画 アップテンボ体操 (既形)の導入/大矢 実施 実施	アップテンボ体操 (既形)の導入/大矢 実施							S											アップテンボの体操の導入により楽しい時間を過ごしていただく(PMレク導入に使用し、活気のある午後プログラムの流れを作る)	S	アップテンボな体操を行う事で、午後の活動をより活発に始めることが出来る。					
			総合記録シートの導入とクアチェックを行い入院リスクの低減、中重度化に対応する。	成田/谷/藤川	計画 総合記録シートの チェック 実施 実施	総合記録シートの チェック 実施								C											入院による休止件数 2割削減 (H30 21名(2月) H31 17名)	C	入院者 33件と16件増えてしま う。入院者のカンパレンスが 不足していた。				
			学習会(健康立ち話)の実施による利用者の健康リスクの意識啓発を行う。	谷/成田/藤川	計画 健康立ち話 実施 実施	健康立ち話 実施								B												職員全員が健康立ち話の運営が出来る	B	職員が全員健康立ち話を運営 できている。			
5.6	(2)	介護予防と重度化予防	認知症予防のための学習療法の充実をはかる。	中山	計画 学習療法実施 実施 実施	学習療法実施 実施						B												12名の学習療法の実施(H30 6名)	C	9名利用。H30と比べると増加 しているが、目標にとどかず。 認知活動を積極的に行う必要					
			事故・感染症の予防を行い安心・安全なデイサービスをつくる。	藤川/井上	計画 ケースカンファレン ス 実施 実施	ケースカンファレン ス 実施							D												事故発生50%削減 (H30 18件(2月)-H31 9件)	C	事故発生22件と削減に 至らず。転倒転落が事故全体の8割以上 を占めている。環境整備、施設 設備・職員配置の見直しが必要				
			緊急時に迅速に対応できるように備える。デイ会議にて、リスクの高い方のカンパレンスを行う。	藤川/井上	計画 ケースカンファレン ス 実施 実施	ケースカンファレン ス 実施								B													会議にて困難事例の検討を行う	B	リーダー会議/リハビリ会議に て随時困難事例の検討が出来 ている。		
			病欠の利用者の情報の収集を行い、医療連携を迅速に行える様に相談助言を行う。	藤川/井上	計画 病欠の利用者の情 報の収集 実施 未実施	病欠の利用者の情 報の収集 実施								C													入院による休止件数 2割削減 (H30 21名(2月) H31 17名)	C	入院者 33件と16件増えてしま う。入院者のカンパレンスが不 足していた。		
			地域のボランティア団体との連携を図り、プログラムを充実させる(レクリエーションボランティアの検討・導入)	谷/成田	計画 レクボランティア検 討 谷/成田 未実施	レクボランティア検 討 谷/成田 未実施								D													生活支援員の導入 ①生活支援員導入 ②学習療法サポーターの継続	D	新規でのボランティアの参加者が いなかった。生活支援員の導入も 行わなかった。学習療法は継続。		
			ケアスキル 接遇マナー向上	研修・勉強会・接遇マナーに参加しケアスキル向上、接遇マナーの基本を学ぶ。	谷/成田	計画 研修・勉強会 実施 実施	研修・勉強会 実施							B														接遇マナーに関する書籍0件 重度化への対応 (平均介護度 H30 1.55 H31 1.7)	B	接遇マナーに関する書籍0件 重度化への対応が今後の課題と なっている。	
10	(3)/(4)	スタッフのやりがいと 業務改善	業務改善を定期的に行い、無理無駄を削減する。	谷/成田	計画 緊急連絡先確認 谷/藤川 大型ファン車導入/谷 実施 実施	緊急連絡先確認 谷/藤川 大型ファン車導入/谷 実施						C														オペレーションの見直しを行い、効率 化を図る。業務時間内に行える業務 を増加させる(環境整備、室内しつら い、ハンドメイド準備、買い出し等)	C	職員の退勤、体調不良による 人員不足の為、実現出来ず。			
			スタッフ自身も生き生きと働けるよう、長期休暇(7連休)を計画的に取得する。	谷/成田	計画 長期休暇 実施 実施	長期休暇 実施							B														希望者全員のリフレッシュ休暇取得	B			
			職員懇親会を定期的に開催し、チームワーク向上を図る。	谷/成田	計画 職員懇親会 実施 実施	職員懇親会 実施								B														職員懇親会 職員懇親会	B	年2回交流会の開催	
			老人会内懇会の開催し新規利用者の増加、介護予防の周知を図る。	谷/大矢 大河原	計画 新規利用者募集(内) での周知 実施 未実施	新規利用者募集(内) での周知 未実施								D														新規利用者募集(内) での周知 実施	D	月間利用者数 平均25.0名以上 目標収益 62,120,000円以上	
			新規パンフレット作成準備	谷	計画 画像収集/全員 実施 実施	画像収集/全員 実施							C																		
			適切な利益の確保し、健全な経営ができる様にする。 (平成30年度 平均利用者数24.0名 介護報酬 59,610,000円 令和元年度 平均利用者数25.0名 介護報酬 62,120,000円)	谷	計画 平均利用者数 25.0名 実施 22	平均利用者数 25.0名 実施 22	平均利用者数 25.0名 実施 23.8	平均利用者数 25.0名 実施 24.2	平均利用者数 25.0名 実施 23.22	平均利用者数 25.0名 実施 23.7	平均利用者数 25.0名 実施 23.6	平均利用者数 25.0名 実施 22.4	平均利用者数 25.0名 実施 21.3	C																	

令和元年度 鷹栖町介護センターさつき苑事業報告

1. 総括

令和元年度は4月兼務を含む6名体制で活動したが9月1名退職があり10月～3月は5名で活動した。今年度、研修受講により新たに1名が主任介護支援専門員を取得することができた。8月には実施指導があり事業所加算等の要件等について居宅運営状況等について把握することができた。

ケアマネジメントについては引き続き、健康管理とQOL向上を図るため、多職種の医療連携の強化や苑内・苑外の研修の参加・カンファレンスを通し全体の底上げを図った。

地域貢献活動としては、地域包括センターや社会福祉協議会の研修会に参加し交流を図る、基礎介護力・認知症についての講師を担う等で地域住民の皆様と繋がることのできた。

業績は前年度利用者実人数の目標が達成できなかつた為、今年度は計画的に病院、春光・春光台エリア等近郊への営業活動を実施した。また、困難ケース、すぐには登録に繋がらない要介護のケースなどの相談にも積極的に関わり、様々な関係機関と連携を図りながら要介護の総合相談窓口としての役割を担った。結果として今年度、利用者実人数目標平均135名に対し実績平均138名、前年度実績より10名増で目標を達成することができた。利用者動向では前年と比較すると、新規70名(+30名)入院者131名(-35名)停止者41名(+8名)であり人数に関しては大幅に改善が図れた。

2. 次年度に向けた展望

次年度は主任介護支援専門員2名体制となるため、ケアマネジャーの指導、育成や講師等の役割を新たに担う等の強化を図る。また、主任介護支援専門員の資格取得予定者が2名いるため研修受講によりケアマネジメントのスキルアップを図っていく。

地域啓発活動については昨年同様の活動を行い介護についての知識・技術を地域に啓発を行っていく。

業績に関して次年度は収益の目標を達成できるように計画的に対策を講じる。要介護3以上の増加は利用者動向として20%であり小規模多機能への移行・入居等があり大きな増加は見込めない。居宅介護支援事業所としては介護が必要な方の入り口である要支援登録者を40名から60名にする。そのため早い段階でケアマネジャーを増員し登録を20名増加できる体制をつくる。また、引き続き春光・春光台エリアの相談は1ヶ月3名を目標とし、ひと月の新規登録目標を6名とし長期入院・停止を支援できるようにすすめ、利用者の生活の安定と目標収益の確保を図る。

3. 運営状況・統計資料

(1) 収益

＜事業収入＞

(単位：千円)

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) ×100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B) / (C) ×100
21,736,000	20,699,680	95.2%	20,127,520	102%

(2) 居宅サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	67	77	78	75	77	80	74	82	81	76	78	82	77
平成13年度	78	82	79	87	87	89	88	98	93	92	103	107	90
平成14年度	104	108	106	110	110	116	109	108	102	98	100	107	107
平成15年度	109	110	114	115	118	117	119	121	116	121	125	126	118
平成16年度	142	142	143	145	143	145	148	146	145	148	151	154	146
平成17年度	158	151	155	158	156	155	156	156	157	152	148	145	154
平成18年度	147	143	141	140	135	128	129	129	124	123	113	115	130
平成19年度	114	116	113	104	106	105	106	104	101	104	106	109	107
平成20年度	114	114	112	114	111	105	113	113	113	112	112	113	112
平成21年度	110	96	92	88	89	90	91	86	87	88	92	94	92
平成22年度	96	92	94	97	99	97	101	96	99	88	91	94	95
平成23年度	91	92	99	100	107	104	107	105	104	101	102	107	102
平成24年度	110	113	113	113	116	110	109	118	112	113	110	115	112
平成25年度	115	118	119	114	117	118	118	123	119	115	112	119	117
平成26年度	113	116	116	115	120	116	123	120	118	125	124	120	118
平成27年度	122	120	120	121	123	118	116	116	114	108	117	122	118
平成28年度	126	121	121	123	122	123	123	124	127	127	126	125	124
平成29年度	132	139	139	140	137	135	138	141	141	141	132	128	136
平成30年度	128	130	130	128	132	132	130	129	132	127	126	118	128
平成31年度	128	132	137	142	141	141	142	141	141	139	138	134	138

(3) 上記利用者の要介護度分布

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
要支援	33														
要支援 1		3	7	6	8	8	7	9	11	11	13	10	14	13	18
要支援 2		13	18	17	13	13	12	12	11	9	9	11	15	18	19
経過的 要介護		15													
要介護 1	53	38	21	25	32	36	42	45	52	57	43	48	53	55	57
要介護 2	29	26	25	34	23	19	19	24	23	22	32	32	25	22	22
要介護 3	19	19	18	17	9	10	10	9	10	10	5	7	8	9	7
要介護 4	13	12	12	8	3	6	9	9	9	7	6	8	7	5	6
要介護 5	7	5	6	7	5	3	3	3	6	9	8	7	6	9	6

※人数は、各年度の平均人数

(4) 苑内・苑外研修参加状況

① 苑内研修

月 日	内 容	講師等	開催地	参加者
4月28日	在宅チーム勉強会	高齢者ケア研究会 泉田 照雄先生	鷹栖町	全員
7月28日	在宅チーム勉強会	高齢者ケア研究会 泉田 照雄先生	鷹栖町	全員
8月14日	基礎介護研修初級トランスフ ァー	松嶋リーダー・林崎主任	鷹栖町	山本
8月27日	基礎介護研修中級 認知症	谷課長	鷹栖町	坂林・佐藤
9月4日	救急救命講習	旭川市消防局	鷹栖町	全員
9月11日	基礎介護研修中級トランスフ ァー	大矢PT	鷹栖町	坂林・佐藤
9月11日	基礎介護研修初級認知症	菅原リーダー・志知主任	鷹栖町	山本
10月6日	在宅チーム勉強会	高齢者ケア研究会 泉田 照雄先生	鷹栖町	全員
10月9日	基礎介護研修 食事ケア 初 級・中級	角谷リーダー・室橋主 任・秋保課長	鷹栖町	山本・坂林・佐藤
10月9日	基礎介護研修 食事ケア 初 級	角谷リーダー・室橋主任	鷹栖町	山本
10月22日	基礎介護研修食事ケア 中級	秋保課長	鷹栖町	坂林・佐藤

11月8日	感染予防研修	藤川看護師・谷水看護師	鷹栖町	全員
11月13日	基礎介護研修 排泄ケア 初級・中級	森課長補佐・松本・佐久間リーダー	鷹栖町	山本・坂林・佐藤
11月20日	食事ケア研修	谷本部長	鷹栖町	佐々木
1月22日	上級 排泄ケア研修	尾上部長	鷹栖町	佐々木
2月13日	基礎介護研修 医療ケア	藤川看護師	鷹栖町	山本・坂林・佐藤

②苑外研修

月 日	内 容	主催	開催地	参加者
5月11日	第7回全国地域包括ケア研究会	高齢者ケア研究会	鷹栖町	全員
6月21日	ソウェルクラブ接遇講習会	北海道民間社会福祉事業職員共済会	旭川市	坂林
7月31日	男性介護者カフェ in 鷹栖	鷹栖町社会福祉協議会	鷹栖町	全員
8月23日	11 圏域合同 主任介護支援専門員実践報告会	旭川市 11 圏域地域包括センター	旭川市	佐々木
10月5日	地域で支える認知症	相川記念病院	旭川市	坂林 佐々木
10月11日	男性介護者カフェ	鷹栖町社会福祉協議会	鷹栖町	全員
10月17日	第11回福祉用具展示会	マルベリーさわやかセンター	旭川市	全員
10月25日	認知症の正しい理解と効果的な予防ポイント	鷹栖町地域包括センター	鷹栖町	全員
11月3日	第30回北海道主任介護支援専門員フォローアップ研修	一般社団法人北海道介護支援専門員協会	札幌市	佐々木
11月19日	カラダとこころのSOS～ストレスとの上手な付き合い方～	鷹栖町健康福祉課保健推進	鷹栖町	全員
11月19日	災害時における役割	春光・春光台地域包括センター	旭川市	佐々木
11月23日	緩和ケアの実践と連携	北海道上川総合振興局	旭川市	佐々木
12月6日	介護支援専門員の資質向上に向けたスーパービジョン	旭川市 11 圏域地域包括センター	旭川市	佐々木
2月9日	第11回全国先端ケア研究会 in 北海道旭川	高齢者ケア研究会	旭川	全員
2月28日	北海道主任介護支援専門員研修	一般社団法人北海道総合研究調査会	札幌 旭川	坂林

(5) ケアマネ会議内容

月 日	内 容
4月2日	2 ケース 情報共有
4月9日	4 ケース 情報共有
4月17日	たかほ 情報共有
4月23日	業績報告
5月7日	3 ケース 情報共有
5月15日	たかほ情報共有
5月21日	2 ケース情報共有 業績報告
5月28日	3 ケース情報共有
6月4日	2 ケース情報共有 社会資源検討
6月26日	1 ケース 情報共有 業績報告 活動計画進捗状況
6月12日	たかほ情報共有
6月18日	2 ケース 情報共有
6月25日	3 ケース カンファレンス 具体策確認
7月2日	制度変更に伴う情報共有
7月10日	活動計画進捗状況
7月16日	4 ケース 情報共有
7月23日	入院者の情報共有 業績管理報告 活動計画進捗状況
8月13日	たかほ 情報共有
8月20日	1 ケース カンファレンス 情報共有
8月27日	3 ケース 情報共有
9月3日	活動計画 実地指導結果報告
9月17日	4 ケース情報共有
9月24日	4 ケース情報共有
10月9日	たかほ 情報共有
10月15日	4 ケース 情報共有
10月22日	6 ケース 情報共有 業績管理報告
10月29日	2 ケース 情報共有 利用者動向確認
11月5日	4 ケース 情報共有
11月13日	たかほ情報共有
11月26日	12 ケース情報共有
12月5日	10 ケース情報共有 12 ケース入退院状況
12月19日	5 ケース 情報共有
12月11日	たかほ利用者の情報共有
12月17日	9 ケース 情報共有 業績報告
12月24日	3 ケース 情報共有 利用者動向
1月8日	たかほ情報共有
1月14日	7 ケース情報共有・業績報告
1月28日	1 ケース 情報共有
2月18日	次年度事業計画策定
2月25日	10 ケース 情報共有 新型コロナウイルスの対応
3月17日	7 ケース 次年度事業計画の確認
3月24日	9 ケース 情報提供
3月31日	8 ケース 情報共有 業績報告

(6) 出前講座

月 日	内 容	講 師
6月1日	ヘルスリテラシー講座 認知症	佐々木
6月13日	体操クラブ研修会～「ケアマネジャーって何」	佐々木
8月6日	ヘルスリテラシー講座 認知症	佐々木
8月22日	鷹栖町介護に関する入門的研修	佐々木
10月4日	ヘルスリテラシー講座 認知症	佐々木
11月25日	鷹栖町介護に関する入門的研修	佐々木
12月17日	認知症サポーターキャラバンメイト養成講座 鷹栖高校	佐 藤
2月6日	ヘルスリテラシー講座 認知症	佐々木

(7) 北海道介護支援専門員実務研修 実習生受け入れ

月 日	内 容	担 当
2月12日～ 14日	ケアマネジメントについて指導 1名 サービス担当者会議・モニタリング訪問・退院支援・受診同行	主任介護支援専門員 佐々木

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名:鷹栖町介護センターさつき苑

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価						
1	(1)	利用者の課題に対し具体的なケアの方針がたえられるように、在宅版トータルケアシートの活用と多職種連携を強化	①在宅版トータルケアシート導入とケアチェック強化(ケアマネー4ケースを目標)	坂林	計画	各担当で実施														・平均4ケース実施	B				
			実施		佐藤4 坂林6 山本3	佐藤4 坂林6 山本4	佐藤3 坂林5 山本3	佐藤3坂林5 山本3 上坊寺2	佐々木1佐藤2 坂林4 山本3 上坊寺3	佐々木1 佐藤3 坂林4 山本3	B	佐々木3 佐藤3 坂林4 山本3	佐々木2佐藤2 坂林4 山本3	佐々木2佐藤2 坂林4 山本3	佐々木2佐藤1 坂林4 山本3	佐々木2佐藤1 坂林4 山本3									
			計画		カンファレンス人数																				・CM会議にて1人1事例の要因分析を実施
		実施	佐藤2 坂林1 山本1 上坊寺1			上坊寺1 山本1																			
		計画	随時実施																				・一人1ケースを確実に実施	A	
		実施			佐々木① 坂林①	山本①	佐藤①																		
2	(2)	各種帳票類のマニュアルを作成し業務の統一・効率化及び、制度・法人の仕組みがわかりやすく説明できるようにする	①制度・仕組み・社会資源・利用料金等わかりやすく説明できるような資料を作成 ②在宅高齢者の使用頻度の高い薬の作用・副作用一覧を作成 ③入退院時連携シート・医療連携シートの統一と連携方法についてマニュアルを作成	山本・上坊寺	計画	マニュアル作成														・各帳票類を作成	B				
			実施		②計画通り実施	②作成中	①実施済 ②作成中 ③作成中	②実施済 ③作成中	③作成中	③作成中	B	③作成中	③作成中												
3	(3)	専門的知識と技術の向上	①法人内研修(基礎介護力向上・マナー接遇研修等)に参加して、知識・技術を取得。	佐藤	計画	随時実施															・法人内研修に参加し、自己研鑽する目標対象者:坂林・佐藤・上坊寺・山本 特定事業所加算II 算定要件	B			
			実施						認知症(中) トランスファー(中) 認知症(初)	トランスファー(中) 認知症(初)	B	坂林、佐藤、山本	坂林、佐藤、山本		医療研修(初・中)										
			計画		事例提供																		・月一人1件以上の事例提供の実施 目標対象者:全員 特定事業所加算II 算定要件	B	
			実施		佐々木① 坂林② 佐藤① 山本① 上坊寺①		佐藤①	佐々木① 坂林① 佐藤① 山本① 上坊寺①	上坊寺①	B	佐々木① 坂林② 佐藤① 山本①		佐々木①												
			計画		外部研修受講	前年度全国地域包括ケア研究会	接遇マナー研修																・外部研修を一人2研修受け、知識技術の習得ができる 目標対象者:全員 特定事業所加算II 算定要件	B	
			実施		全員	坂林	佐々木									全国先端ケア研究会									
			計画		④介護支援専門員法令研修の受講と年2回自己点検用紙にて自己点検を実施。																			・法定研修の参加と、自己点検シートで自己評価し、専門職としての振り返りができる	B
			実施																						
			計画		⑤ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握する為、満足度調査を実施。																			・満足度調査を実施し、集計・情報を踏まえ、次年度の計画に活かす	B
			実施																						
			計画		⑥職員面談の実施																			・面談を実施	C
			実施																						
計画	⑦サービス向上発表の実施																			・サービス向上で発表	B				
実施			山本	防災対策																					

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名:鷹栖町介護センターさつき苑

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	中間評価												ゴール(達成目標)	最終評価					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
4	(4)	地域への貢献	①社会福祉協議会が主催する「地域力アップ講座」の協賛により地域住民に対する貢献活動を実施	佐藤	計画		高住ふまねつと2回	体操クラブ研修会、ヘルスリテラシー、高住ふまねつと2回	男性介護者カフェ	介護に関する入門的研修									・講座を4回以上計画通りに実施する。	A			
			実施			佐々木	佐々木	佐々木 山本 上坊寺	佐々木														
		②認知症サポーターキャラバンメイト活動の実施	計画																	・認知症になっても安心して暮らせる地域作りに貢献できる。	B		
			実施																				
5	(5)	担当ケース人数を把握し効果的なマネジメントの実施	①担当人数の把握を行い状態悪化時迅速な対応と入退院等の医療連携・新規相談等の対応を強化する。	佐々木	計画														・一人39名を担当	B			
					実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済												
6	(6)	適正利益の確保とフレッシュ休暇の推進	①目標利用者人数(初期130名→期中135名→期末140名:年間平均利用者数135名)	佐々木	計画	初期130名	131名	133名	134名	135名	期中135名									・原因を明らかにし、次年度のマネジメントを検討する。	B		
					実施	128名	132名	137名	139名	140名	138名												
			②目標収益:21,736(千円)(前年度当初予算21,427千円)		計画	1,550	1,550	1,700	1,800	1,850	1,850											・目標収益を達成する	C
					実施	1,486	1,460	1,539	1,513	1,546	1,541												
			③目標に対する実績確認及び分析		計画	営業計画	春光包括未広包括	春光包括	病院	病院												・目標を達成するために新規利用者動向を分析する	B
					実施	実施	米澤 佐々木	谷 佐々木	林崎 佐々木	未実施	未実施												
			④集中減算資料を年2回(3月～8月・9月～2月)作成する		計画																	・2回集中減算資料を作成し提出する。	B
					実施																		
			⑤全職員がリフレッシュ休暇を取得できるように業務管理を行う		計画		佐藤(恭)	佐藤(晴)														・所属職員全スタッフが5連休を取得	B
					実施		実施済	実施済															

がみえる表現とする。

評価内容
坂林CMが毎月4～6ケースの対応にて重度化対応を実施し目標を達成できた。次年度も引き続きトータルケアシートを活用し重度化対策を実施する。
各自で実施しているケースもあるが、ケアマネ会議でじっくり分析することができなかった。次年度はあらかじめ順番を決め効率的に実施できるようにする。
予定通り一人1ケース実施することができた。
③について作成することができなかった為次年度に向けて計画していく。
計画通り初級・中級・上級ケア研修に参加することができた。
毎月実施できなかった在宅勉強会にて事例検討を実施できた。次年度も継続しマネジメントの向上を図っていく。
外部研修を一人2研修予定通り受講することができた。次年度も計画的に研修に参加していく。
予定通り研修に参加し、1名が主任介護支援専門員を取得できた。
満足度調査を実施し何が足りないのかを確認することができ、次年度の計画に活かす。
3月の面談が計画通り実施できず、4月に実施した。
しつかり準備、予定通り計画をすすめていたが、コロナで発表は延期となった。

がみえる表現とする。

評価内容
5回講座に関わり地域の声を直接伺うことができた。
鷹栖町より依頼があり1回実施できた。
9月で退職者でため、人数が大幅に変更となったが、各自平均的な人数で円滑に対応することができた。
平均138で人数目標は達成できた。3カ年計画では次年度平均10名増加を予定しているため、新規登録人数を増やし目標を達成できるように。
目標より-1,000,000の赤字となった。次年度はより計画的に目標達成に向けて検討していく。
新規利用者動向は鷹栖町内では平均2~3名で今後も増える見込みは考えにくく、営業にて近郊の利用者の受け入れを開始し、順調に相談が増えた。
予定通り実施し、鷹栖町に提出済み
計画通りフレッシュ休暇を取得することができた。

令和元年度 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

令和元年度は『知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める』『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『地域に密着した運営』『業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益の確保』の5つの重点目標をかかげ取り組んだ。

1) 「知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

毎月カンファレンスを実施しケアの見直しと統一を図ると共に、困難ケースにおいても状態悪化の予防に努めた。事故件数については、事故後の分析や再発防止に努め、前年度より9件減で目標達成することができた。

食事は、昨年同様に嚥下や咀嚼が困難な方に、統一した固さのソフト食を提供できるよう努め、見た目もきれいで安全に召し上がれるよう配慮した。その他、病状や状態に合わせて栄養補助食品との併用、副食の一部をソフト食で提供するなど、食事摂取量の維持に努めた。しかし、誤嚥性肺炎で1名が入院者に至った。

疾病の管理では、昨年度延べ2名だった入院者が今年度9名と増え、入院日数も、30日から74日に増えてしまった。入居者の重度化にともない柔軟な対応が遅れたことが要因として考えられる。

感染症対応では、手洗いうがいの徹底、室温・湿度管理や換気の強化を行い、感染症・集団感染共にゼロを維持することができた。

2) 「主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める」

各担当利用者のADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を図るため、介護過程の展開（アセスメント、計画、実施、評価）の取り組みを掲げていたが、全職員の実践には至らなかった。

3) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

職員数の安定には至らないも法人内での異動により、時間外勤務を減少させることができた。面談制度については継続して実施したが、1名の離職があった。有給休暇取得日数にばらつきはあったが、全職員が5日以上の有給取得と常勤職員全員が連続休暇（7日間）を取得することで、リフレッシュを図ることができた。

4) 「地域に密着した運営」

地域の催し物には計画していた催しについては予定通り参加し、入居者と地域の方々との交流を図った。交流スペースの開放に関しては、2月以降、新型コロナウイルス感染予防のため閉鎖したが、俳句の会・たかすDE 寺子屋に定期的な利用をして頂けた。

5) 「業務の効率化と適正利益の確保」

オペレーションシートや従来のマニュアルの見直しと整理を行ったことで、業務分担を具体的かつ明確にすることにより業務の効率化を図った。

適正利益の確保については、入院に伴う空床日数が74日と目標の30日に抑えることができず、目標を達成することができなかった。退去から新規入居までの空床日数については39日。目標にしていたが、7日以内の入居には至らなかった。年間平均稼働率は、98.3%と目標稼働率の98%を達成することができた。

2. 次年度に向けての展望

令和2年度は、引き続き「知識・技術の専門性の向上を図り、安全で根拠に基づく介護サービスを提供する」「主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める」「職員のチームワークが向上し、やりがいと働きがいのある職場をつくる」「業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する」の4つを重点目標にかかげ、今年度実施することが出来なかった活動内容を、確実に実施できるようより具体的な計画を立て取り組む。

介護過程の展開では、利用者の満足度を高め、心身機能の維持向上を図ることはもちろんであるが、職員自身が多く成功体験をすることでの達成感や楽しみ、やりがいにつなげ、個人そしてチームとしての介護力の向上に努める。

感染予防に関しては、感染予防策を徹底し従来の感染症マニュアルに新型コロナウイルス感染マニュアル等の追加をし集団感染を防ぐ。

ケアについては、記録の確認、ダブルチェック、カンファレンスを強化し、病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ予防的なケアに努める。認知症の周辺症状の悪化に対しても、カンファレンスを行い落ち着いた生活ができるよう努め、適正利益の確保を図る。また、ケアアシスタントを導入することで業務の効率化を図りたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 稼働状況

目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率(C)
98.0%	98.3%	100.3%	98.7%

(2) グループホーム会議開催状況

日 時	議 題 内 容
4月16日	ケアカンファレンス・事故報告、H31年度事業計画について、給食関係キックオフミーティング
5月21日	ケアカンファレンス・事故報告、給食関係、その他
6月18日	ケアカンファレンス・事故報告、給食関係、キックオフミーティング
7月16日	ケアカンファレンス・事故報告、給食関係、その他
8月20日	ケアカンファレンス・事故報告、給食関係、その他
9月17日	ケアカンファレンス・事故報告、行事、給食関係、その他
10月15日	ケアカンファレンス・事故報告、行事、給食関係、その他
11月19日	ケアカンファレンス・事故報告、行事、給食関係、その他
12月17日	ケアカンファレンス・身体拘束廃止委員会、事故報告、行事、給食関係 その他
1月21日	ケアカンファレンス・身体拘束廃止委員会、事故報告、行事、給食関係 その他
2月18日	ケアカンファレンス・身体拘束廃止委員会、事故報告、行事、給食関係 その他
3月17日	ケアカンファレンス・身体拘束廃止委員会、事故報告、行事、給食関係 キックオフミーティング、その他

(3) 環境整備他

日 時	内 容	ユニット	業 者
4月上旬	給湯器修繕工事	和	大洋設備(株)
5月中旬	居室洗面台排水管修理	和	(株) 齋藤工業所
6月中旬	消防設備定期点検	全体	五光トータル防災(株)
6月中旬	スロープ手すり金物付属品改修	和	(株) 盛永組
8月中旬	ホシザキ冷凍庫保守点検	全体	ホシザキ北海道(株)
8月下旬	マジックブレット	和・洋	ヤマダ電機

9月下旬	炊飯器	洋	ヤマダ電機
9月下旬	オープンレンジ	和	ヤマダ電機
10月下旬	マジックブレットのブレード	和・洋	ヤマダ電機
1月中旬	イス浴タイル修繕	全体	(株)盛永組
1月下旬	オープンレンジ	洋	ヤマダ電機
2月上旬	洗濯機購入	洋	ヤマダ電機
3月下旬	ガスコンロ購入	和	リンナイサービス
3月下旬	コードレス掃除機	和・洋	ヤマダ電機
3月下旬	冷蔵庫	洋	ヤマダ電機
3月下旬	加湿空気清浄機	和・洋	ヤマダ電機

(4) ボランティア状況

日 時	内 容	人 数
4月14、28日	お話しボランティア	1名
5月12、19日	お話しボランティア	1名
6月1日	春の一斉清掃… GH ご家族 友愛活動・体操クラブ 鷹栖高校	7名 15名 7名 合計…29名
6月16、23日	お話しボランティア	1名
7月7、21日	お話しボランティア	1名
8月13、25日	お話しボランティア	1名
8月10日	草取り (体操クラブ・21区友愛活動部)	7名
8月17、29日	お話しボランティア	1名
9月28日	秋の一斉清掃…体操クラブ	10名
10月6、20日	お話しボランティア	1名
11月10、24日	お話しボランティア	1名
12月9、22日	お話しボランティア	1名
1月19、26日	お話しボランティア	1名
2月8日	お話しボランティア	1名

(5) 行事活動状況

日 時	行 事 名	場 所
5月12日	お花見	旭川療育園
7月14日	さつき祭	さつき苑
7月20日	流しそうめん	なごみの家
8月2日	夕涼み会	なごみの家
8月4日	熱夏フェスタ 御神輿見学・花火見学	なごみの家玄関前 メロディーホール前
10月14日	なごみの家運動会 (チャレンジデー)	なごみの家
12月25日	クリスマス会	なごみの家
12月27日	忘年会	なごみの家
2月3日	節分	なごみの家
2月15日	青年会との食事会	なごみの家

令和元年度

多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

現況報告書

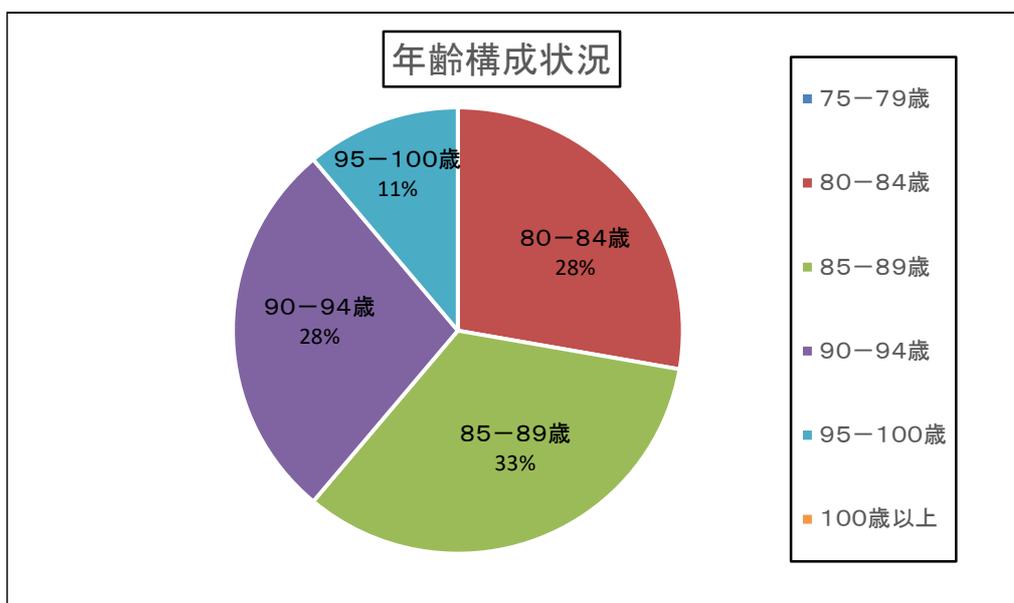
(自：平成31年4月1日 ～ 至：令和2年3月31日)

1 入退所状況

入所者数	退所者数	退所理由	在籍者数	男 性	女 性
4	4	なごみの家で死去2名 病院で死去2名	18	2	16

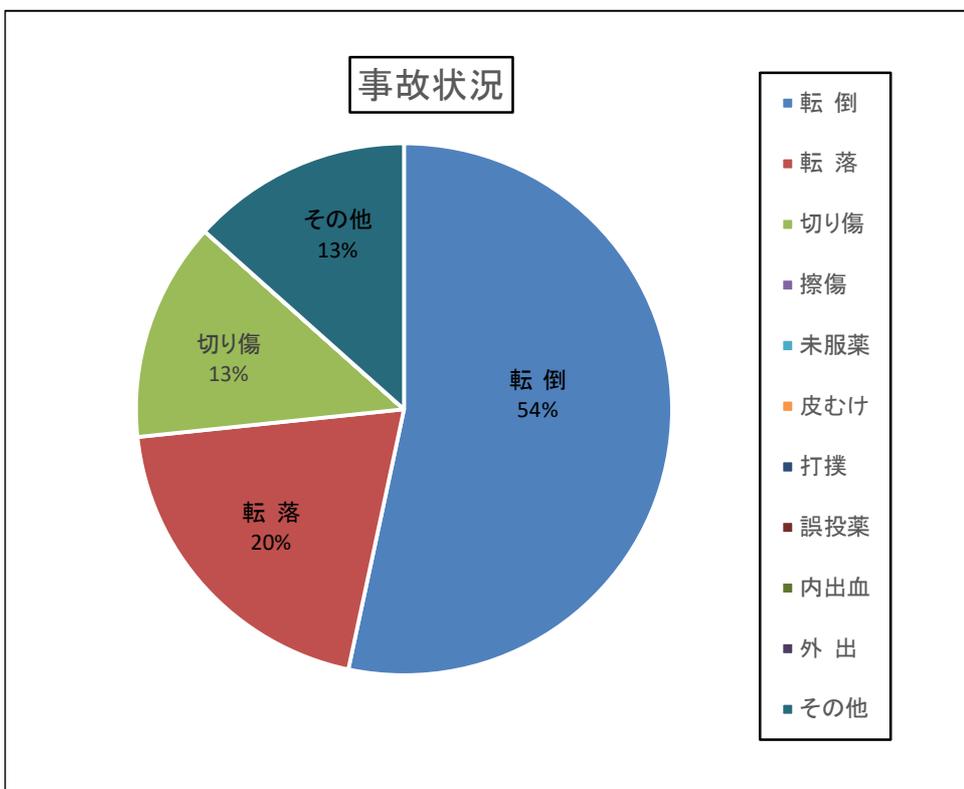
2 年齢別

	男 性	女 性	合 計
75－79歳	0	0	0
80－84歳	2	3	5
85－89歳	0	6	6
90－94歳	0	5	5
95－100歳	0	2	2
100歳以上	0	0	0
合 計	2	16	18
平均年齢	84.5	89.6	88.7
最高年齢	90	102	
最低年齢	81	81	



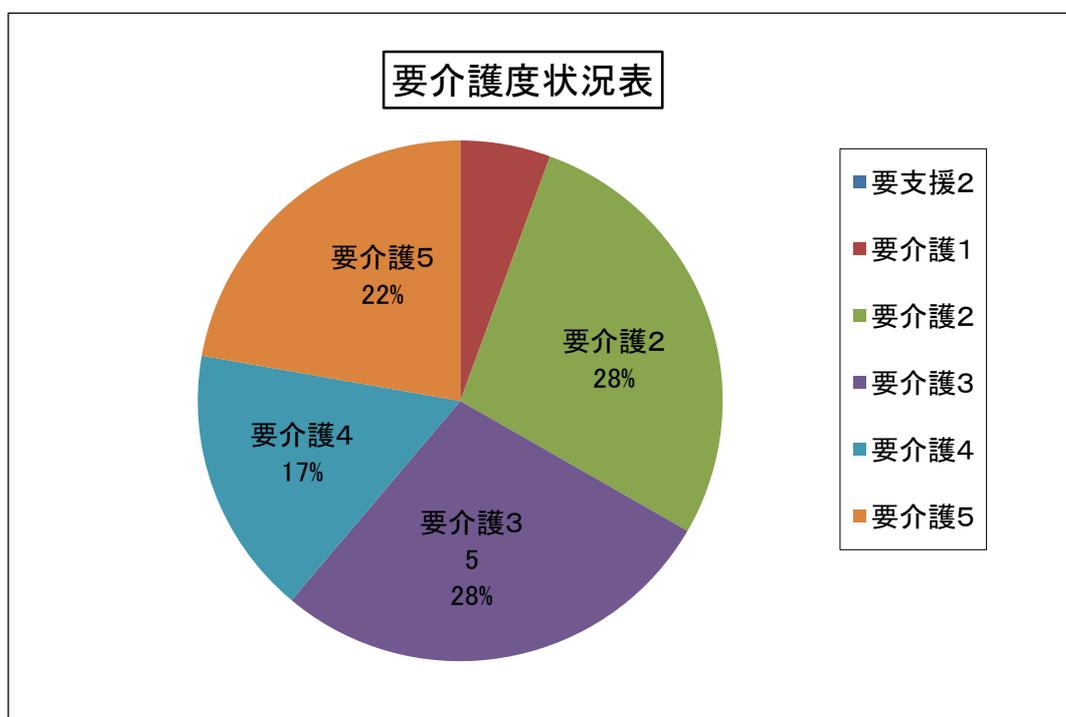
3 事故状況

	洋	和	合計
転倒	3	5	8
転落	0	3	3
切り傷	0	2	2
擦傷	0	0	0
未服薬	0	0	0
皮むけ	0	0	0
打撲	0	0	0
誤投薬	0	0	0
内出血	0	0	0
外出	0	0	0
その他	1	1	2
合計	4	11	15



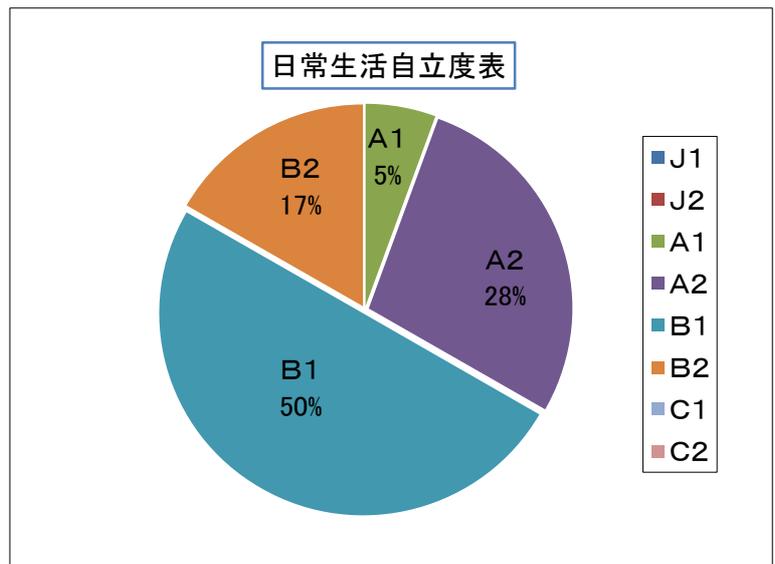
4 要介護度別

	男性	女性	合計	構成比
要支援2	0	0	0	0%
要介護1	0	1	1	6%
要介護2	0	5	5	28%
要介護3	1	4	5	28%
要介護4	0	3	3	17%
要介護5	1	3	4	22%
合計	2	16	18	100%



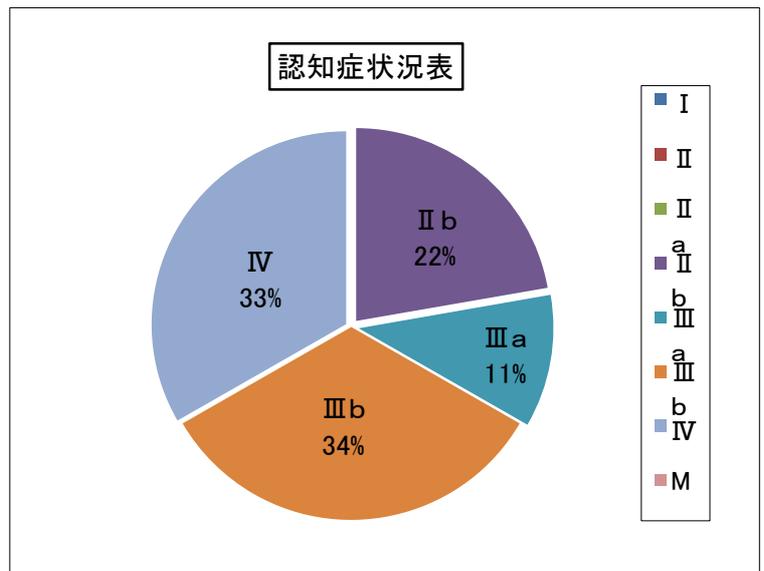
5 日常生活自立度

	洋	和	合計	構成比
J1	0	0	0	0%
J2	0	0	0	0%
A1	1	0	1	6%
A2	4	1	5	28%
B1	3	6	9	50%
B2	1	2	3	17%
C1	0	0	0	0%
C2	0	0	0	0%



6 認知症状況

	洋	和	合計	構成比
I	0	0	0	0%
II	0	0	0	0%
II a	0	0	0	0%
II b	0	4	4	22%
III a	2	0	2	11%
III b	5	1	6	33%
IV	4	2	6	33%
M	0	0	0	0%

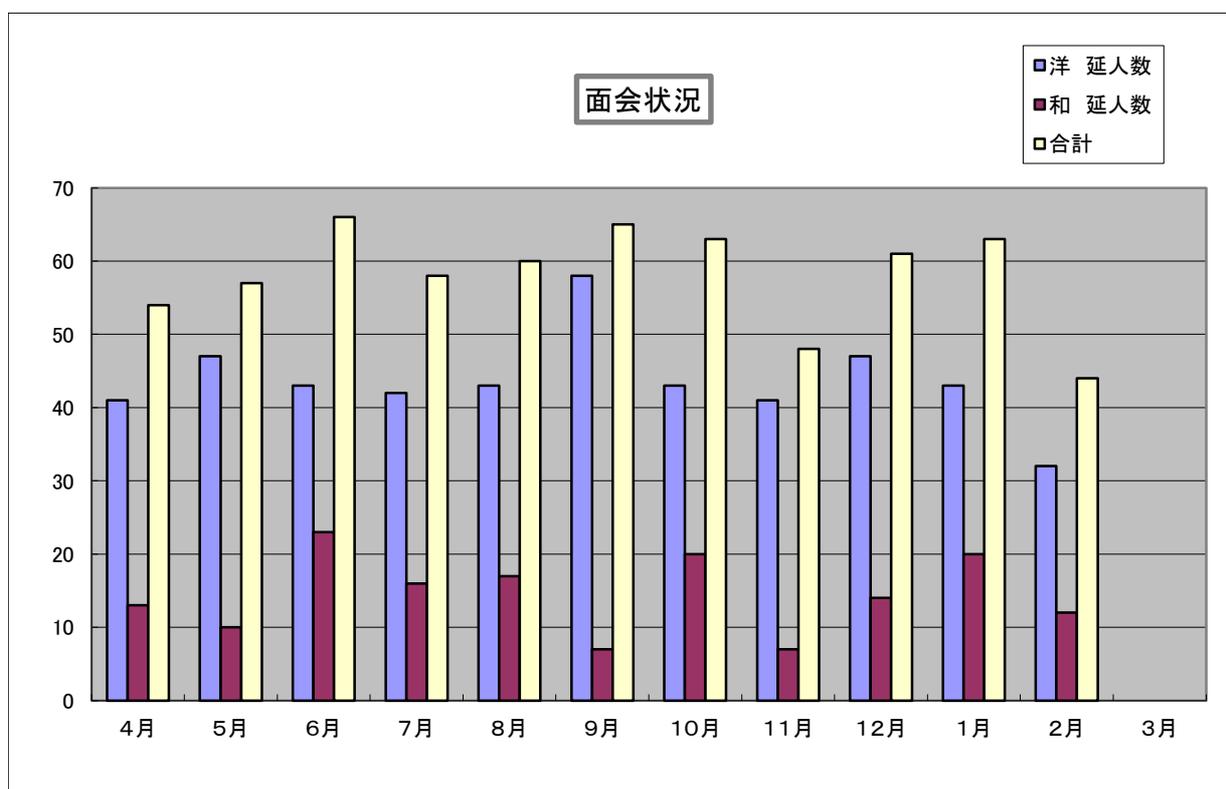


7 入院状況

	実人数	延日数
整形外科系	1	4
精神科系	0	0
内科系	3	43
消化器系	2	27
脳神経系	0	0
合計	6	74

8 面会状況

	洋 延人数	和 延人数	合計	1日平均
4月	41	13	54	1.8
5月	47	10	57	1.32
6月	43	23	66	1.13
7月	42	16	58	1.38
8月	43	17	60	1.87
9月	58	7	65	1.7
10月	43	20	63	1.03
11月	41	7	48	1.03
12月	47	14	61	1.87
1月	43	20	63	2.09
2月	32	12	44	1.35
3月	0	0	0	1.96
合計	480	159	639	1.56



平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容		
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアを提供する	主任リーダー	計画	Wチェック レポート カンファレンス							Wチェック レポート カンファレンス						ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。	B	会議以外でも、都度困難事例のカンファレンスを行い、状態悪化の予防に努めた。		
			アセスメントシートの定期更新(ケアプラン更新時)	主任リーダー	計画	ケアプラン更新 アセスメントシート更新								ケアプラン更新 アセスメントシート更新						アセスメントシートの定期更新を実施する。	B	ケアプラン更新時にアセスメントシートを更新することができた。	
			安全で予防的なケアに努め、事故及び事故の再発を防ぐ	主任リーダー	計画	毎月の会議での事故報告・分析	救命救急研修							毎月の会議での事故報告・分析							転倒、転落事故 7件→5件 打撲 1件→0件 (事故件数H30年24件→H31年18件)	B	事故件数15件(昨年24件)。薬に関する事故0件(0件→0件) 転倒転落事故11件(7件→11件) 打撲0件(1件→0件) 切り傷1件、その他1件
			身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年1回研修実施)	リーダー	計画											虐待予防研修					年1回研修を実施する。 身体拘束・虐待0件。	A	12月、3月と2回研修を実施。 身体拘束・虐待0件
2	(1)	安全で美味しい食事の提供	より見た目もきれいで美味しいソフト食の提供	リーダー栄養士	計画	ソフト食の提供		ソフト食勉強会					ソフト食の見直し	ソフト食の提供					ソフト食の評価	B	統一した固さのソフト食を出せるよう努めた。限られた時間の中で見た目もきれいに作れるよう配慮した。入居者の状況に合わせて副食の一部をソフト食で提示し食事量の維持に努めた。		
			現病の悪化、既往症の再発予防のための治療食の充実化	リーダー栄養士	計画	治療食提供								治療食評価	治療食提供					治療食評価	B	現病の悪化、既往症の再発予防する。 治療食提示し、現病の悪化、既往症の再発予防をすることができた。	
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ	主任リーダー	計画	体調不良者・入院者の分析			健康診断				体調不良者・入院者の分析							C	病気の発症を防ぎ重症化や再発をさせない。 (入院延べ日数日H30年35日→H31年30日)		
			誤嚥性肺炎による入院者0名	主任リーダー	計画	食事ケアチェック 口腔ケアの徹底								食事ケアチェック 口腔ケアの徹底							C	誤嚥性肺炎による入院者0名 (H30年0名→H31年0名)	
4	(1)	食中毒・感染症の予防	食中毒、感染症(ノロウイルス、インフルエンザ)の予防策を徹底し感染を防ぐ	主任リーダー	計画			食中毒研修												S	食中毒、感染症の集団感染0件		
			免疫力を高め、感染症を防ぐ	主任リーダー	計画	ヨーグルト提供								ヨーグルト提供							A	対象者全員(乳製品禁者、乳製品苦手者除く)に提供し、感染症の集団感染の予防に努めた。	
5	(2)	基礎介護力の向上	法人全体で段階ごとに基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る	主任リーダー	計画				基礎介護研修(初級・中級)				基礎介護研修	基礎介護研修						B	経験・スキルに合わせた研修の実施により職員のケアのレベルアップができる。		
			外部研修の計画・実施	主任リーダー	計画		新任職員研修							認知症実践者研修	認知症実践者研修					高齢者ケア研究会参加	B	外部研修に参加し、ケアの向上を図る(職場に1つ以上還元する)	
6	(3)	心身機能の維持向上を図る暮らしの充実	利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアを展開しQOL及びADLの向上を目指す	リーダー各担当	計画		面談による取り組み目標設定	アセスメント(情報収集・課題分析)実施 ケアプラン立案	ケアプランに基づくケアの実施				モニタリングとケアプラン見直し	ケアプラン評価	ケアプランに基づくケアの実施		モニタリングとケアプラン見直し	ケアプラン評価	総括、成果の確認(総括)	C	全職員が、担当利用者のADLとQOLそれぞれの向上を目指したプランを立て、取り組み、成果をふりかえる。		
			利用者のADL維持・向上のためのリハビリを計画・実施する	リーダー各担当	計画	実践								リハビリ内容評価	評価によって再作成	実践					C	未実施	

平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家 〔注〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	中間評価												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
7	(4)	開かれた事業所づくり	利用者、職員が地域社会の一員として豊かに暮らせるよう積極的に地域行事に参加する	課長 主任	計画		チャレンジ デー参加				恵霊祭 町民祭り	長生き感謝祭		チャレンジ デー参加				地域の催しに積極的に参加し、天気の良い日は散歩を日常のプログラムに取り組み、地域の方になごみの家を認知していただく。	C	御神輿見学、チャレンジデーなど地域の催しには参加できたが、日常的な散歩は実施できず、地域の方へなごみの家を認知して頂く活動には至らず。	
			交流スペースを地域の方に開放する	課長 主任	計画		寺子屋 俳句の会			広報にてPRする					寺子屋 俳句の会				地域の方に開放することによりなごみの家の認知度を高める。	C	たかすde寺子屋や俳句の会の定期的な利用は継続されているが認知度が高まっているかは不明。 2月・3月については感染症予防のため中止。
8	(3)	働きやすい職場づくり	勤務体制の一部見直し	課長 主任	計画													勤務体制を見直し、職員が互いに協力できる体制をつくる。	B	9月より小規模多機能への協力体制をつくり、実施。	
			不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を実施する	主任 リーダー	計画			面談の実施									面談の実施		面談を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。	B	面談を行う事で不安や悩みの軽減・解消に努めた。
			リフレッシュ6連休の実施と有給休暇の計画的消化	課長 主任	計画			連続有給休暇 調整	連続有給休暇 取得										1人6日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を3日つける)	S	全員7連休の取得と有給休暇の計画的消化ができた。
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	課長 主任	計画	退職者0		面談								退職者0	面談		結婚・出産以外での退職者をださない。	C	退職者1名
9	(3)	チームワークの向上	週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする	主任 リーダー	計画	毎日の引継ぎ 目標を共有する								毎日の引継ぎ 目標を共有する				思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。	B	持ち回りで1週間の目標を立て、目標を現場と照らし合わせチームワークの強化を図った。	
			職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)	主任 リーダー	計画	取組み内容 決定	取組み								取組み	取組みの まとめ	サービス向上 発表会 参加	一つのテーマにチームで取組み成果を出す。	B	一年間の目標を立て、計画的に取り組めた。	
			ユニット間の職員の交流を図る	課長 主任	計画	シフト間 交流									シフト間 交流				ユニット固定の勤務を見直し、職員が互いに協力できる体制をつくる。	B	両ユニット間や小規模多機能との協力体制をつくれた。
			業務の見直しを行い業務分担を明確にする	主任 リーダー	計画			業務整理	業務見直し										業務を見直し、業務分担を明確にすることにより、業務の効率を図る。	B	オペレーションシートの見直し、業務分担表等、会議内で検討し都度変更を行った。
10	(5)	業務の効率化	従来のマニュアルの見直しと整理	主任 リーダー	計画					従来マニュアルの 確認	マニュアルの 整備							従来のマニュアルの見直しと整理	C	一部実施	
			生活支援サポーター導入	主任 リーダー	計画		サポート内容の 決定	サポーター導入											生活支援サポーターを導入し業務の効率化を図る。	D	未実施
			ケアの質向上により入院者数の減少、入居時の迅速な手続きを行い、目標稼働率98%を達成する	主任 リーダー	計画	稼働率 98%										稼働率 98%				長期入院者を出さない。(入院延べ日数30日) 入居時の迅速な手続き(7日以内)	B
11	(5)	適正利益の確保	待機者の確保	主任 リーダー	計画	12名	12名	12名	12名	12名	12名			13名	13名	13名	13名	13名	待機者の確保(13名)	A	今年度待機者 平均16.3名
			光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める	主任 リーダー	計画		節約運動 強化月間	節約運動 強化月間	節約運動 強化月間	節約運動 強化月間	節約運動 強化月間	節約運動 強化月間			節約運動 強化月間	節約運動 強化月間			光熱費を前年度より3%削減する。	B	電気代: 約10%の削減 灯油代: 約3%の削減 ガス代: 約5%の削減 上下水道料: 約2%増
				主任 リーダー	実施	10名	13名	13名	14名	14名	15名			20名	20名	16名	19名	20名	22名		

令和元年度 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

令和元年度は『知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める』『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『地域に密着した運営』『業務の効率化と適正利益の確保』の5つの重点目標をかかげ取り組んだ。

(1) 「知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づくサービスの提供」

毎月カンファレンスを実施し、ケアの見直しと統一したケアに努めた。困難ケースにおいては、随時ケースカンファレンスを行い、本人の状態の維持に繋げるよう努めた。

事故件数は、事故後の分析や再発防止に努め、前年度より16件減少とはなったが、服薬に関する事故が多く、ルールの厳守・徹底ができていなかった。

食事については、嚥下や咀嚼が困難な方に安全に召し上がれるようソフト食や、とろみ材を使用したあんかけ食を提供し、食事量の維持、誤嚥防止に努めた。また、嗜好を取り入れた季節感のある食事や行事食を提供することで利用者に楽しんで頂いた。

食中毒・感染症の集団感染に関しては、手洗いうがいの徹底、室温・湿度管理や換気の強化を行い、年度末には新型コロナウイルス対策で消毒や換気の徹底と、マニュアルに沿った対応を行い、集団感染ゼロを維持することができた。疾病の管理では、医療機関との連携を図っていたが2名の方については長期治療が必要にて利用停止となった。

(2) 「主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める」

各担当利用者のADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を図るため介護過程の展開（アセスメント、計画、実施、評価）に連動させながら利用者一人一人の「ハピネスプラン」を計画していたが、数名の実施にとどまってしまった学習療法に関しては、学習療法サポーターの協力も得ながら、学習支援を行い認知症予防、認知症の症状改善に努めた。アクティビティーについては、新たな内容を取り入れ楽しんでいただけたこともあったが、利用者の満足度を高めるには至らなかった。

(3) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

定期面談を実施することで不安や悩みの軽減を図ることができた。計画的連続休暇については、有休3日を含め、常勤職員全員が6日間取得することでリフレッシュを図ることができた。また、計画的に有給休暇を5日間消化できた。昨年度とは逆に、グループホームの職員が小規模多機能ホームの勤務を兼務し、業務補助等することでなごみの家全体での協力するチーム体制を強化できた。

(4) 「地域に密着した運営」

地域の行事や催し物には、希望を聞き参加する事が、小規模多機能ケアを理解して

頂くための情報発信までには至らず。交流スペースの開放に関しては、俳句の会・たかす de 寺小屋に定期的な利用を継続して頂き、新たに利用していただけた団体もあった。学習療法サポーター育成は、昨年に引き続き、他事業所（法人内）合同で「研修・交流会」を実施し、不安の解消、意見・充実感の共有に努めた。しかし年度末に予定していた「研修・交流会」に関しては新型コロナウイルスの関係で延期・中止措置をとることとなった。学習支援に関しても停止を余儀なくされた。

(5)「業務の効率化と適正利益の確保」

具体的に業務分担を明確にすることにより業務の効率化を図った。

今年度、新規利用者は居宅からの移行を含め13名。登録終了者は9名（内、長期入院により2名、施設入居5名、サービス移行1名、自宅療養1名）。目標登録者を超えることができた月もあったが月平均登録者数は21.8名。目標の23名を達成することはできなかった。要因としては、新規利用者確保のために病院や老健、地域へのPR活動が不十分であったこと、また、継続泊り者の増加と訪問件数の増加で、通い、泊りの1日の定員を超えてしまうこと多く、新規利用の受け入れ態勢が整わなかったことがあげられる。

2. 次年度に向けての展望

令和2年度は『知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスを提供する』『主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める』『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益の確保する』の4つを重点目標にかかげ、今年度実施することができなかった活動内容を確実に実施できるよう、より具体的な計画を立て取り組む。

目標の登録人数確保のため、新規利用者受け入れの調整ができるよう、まずは継続泊り者の在宅復帰に力を入れることと、復帰の困難な方に関しては入居先の提案を行っていくことで継続泊り者の減少を目指す。また、利用者の在宅生活の継続が困難にならないよう、サービス利用中、そして自宅での生活状況の確認、健康状態の把握・悪化の予測をし、医療連携を密に行うことで入院による登録終了者を減らし、適正利益の確保を図る。

次年度は仕事の目的と最適な手段を考えて、自ら進んで行動する事を目標に「介護過程の展開」の取り組みを充実させる。

サービスを利用することで、元気に在宅生活を続けて行くことができ、利用者・家族から必要とされ、地域へのアプローチができ、地域に頼られる事業所を目指す。

3. 運営状況・統計資料

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月16日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（手作りおやつ）について・はびねすプランについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	9名
5月21日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（チャレンジデー、買い物、外食など）について・利用者様担当、畑について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
6月18日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事（避難訓練、流し素麺など）について・人事関係について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
7月16日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（流し素麺、手作りおやつなど）について・利用者様、業務の各担当について・キックオフミーティングについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
8月20日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（外出・ドライブ、買い物）について・利用者様担当について・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	8名
9月17日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（外食ツアー・チャレンジデーなど）について・利用者様担当について・GHからのヘルプについて・小規模運営改善計画進捗状況について・学習療法月次検討会について	7名
10月15日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（手作りおやつ、出前）について・利用者様担当、手紙、来月からの送迎について・小規模運営改善計画進捗状況・学習療法月次検討会について	8名
11月19日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（クリスマス・忘年会など）について・大掃除・利用者様担当、検食について・小規模運営改善計画進捗状況・学習療法月次検討会について	7名
12月17日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（クリスマス、忘年会、柚子湯など）について・送りについて・学習療法月次検討会について	6名

1月21日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事（手作りおやつ、青年会との食事会など）について・利用者担当について・学習療法月次検討会	7名
2月18日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・利用者様担当について・令和2年度小規模目標・行事・月レク担当・誕生日プレゼントについて・SH サービス評価について・勤務形態、夏期送迎について・学習療法月次検討会	7名
3月17日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・令和2年度行事、レクレーション担当について・4月からの送り時間について・ケアアシスタントについて・学習療法月次検討会	7名

(2) 小規模多機能ホーム事故状況

月 日	内 容	結 果
4月22日	未服薬（93才・女性）	異常なし
5月 4日	転倒（94才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
6月18日	未服薬（89才・女性）	異常なし
7月10日	転倒（73才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
7月22日	転倒（73才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
8月 7日	未服薬（90才・女性）	異常なし
8月13日	未服薬（89才・女性）	異常なし
9月 4日	転落（86才・男性）	異常なし
9月20日	訪問忘れ（89才・男性、 84才・女性）	異常なし
11月 8日	誤投薬（77才・女性）	異常なし
12月13日	転倒（87才・男性）	右腰赤みあったが、異常なし
12月23日	転倒（84才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
12月24日	転倒（85才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
12月25日	転倒（74才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
1月 6日	転倒（74才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
1月 7日	転倒（77才・女性）	左手甲赤み、内出血あるが、その後は異常なし。
1月 8日	転倒（89才・男性）	異常なし
1月11日	単独外出（83才・男性）	異常なし
1月13日	単独外出（83才・男性）	異常なし
2月 1日	転倒（94才・女性）	右頬少し赤みがあったが、その後異常なし

2月19日	転倒（94才・女性）	異常なし
2月22日	転倒（87才・男性）	右後頭部の止血、消毒後、保護。その後、受診。
2月27日	転倒（87才・男性）	右手人差し指消毒、保護。
3月 3日	未服薬（85才・女性）	異常なし
3月 4日	転倒（87才・男性）	異常なし
3月23日	転倒（85才・女性）	異常なし

（3） 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所
4月18日	ドライブ	永山新川
4月21日	阿久津様はびねすプラン実施	高橋様自宅
4月22日	出前	SH フロアー
4月28日	ドライブ	鷹栖町内
5月 5日	菖蒲湯	SH 浴室
5月 6日	ドライブ、花見	神楽方面
5月 9日	ドライブ、花見	パレットヒルズ他
5月29日	春のチャレンジデー	SH ホール
6月19日	避難訓練	なごみの家
7月（数回）	巨大シャボン玉作り	SH 駐車場
7月14日	さつき祭	鷹栖さつき苑
8月 3日	夕涼み会	なごみの家駐車場
8月 4日	熱夏フェスタ御神輿見学	なごみの家前
8月 4日	熱夏フェスタ花火見学	メロディーホール
8月 7日	流し素麺	交流スペース
9月19日	外食ツアー	イオン旭川西店
9月20日	渡邊様はびねすプラン実施	鷹栖・いちやりば
10月 6日	ドライブ	春光台公園、パレットヒルズなど
10月11日	鷹栖保育園来所	交流スペース
10月12日	ドライブ	東鷹栖、鷹栖町内
10月13日	ドライブ	鷹栖町内
10月14日	秋のチャレンジデー	SH フロアー
11月 4日	出前	SH フロアー
11月20日	避難訓練	なごみの家
12月22日	柚子湯	SH 浴室

12月25日	クリスマス	SH フロアー
12月27日	忘年会	SH フロアー
2月 3日	節分	SH フロアー
2月15日	鷹栖町青年会との食事会	SH フロアー

(4) 手作りおやつ

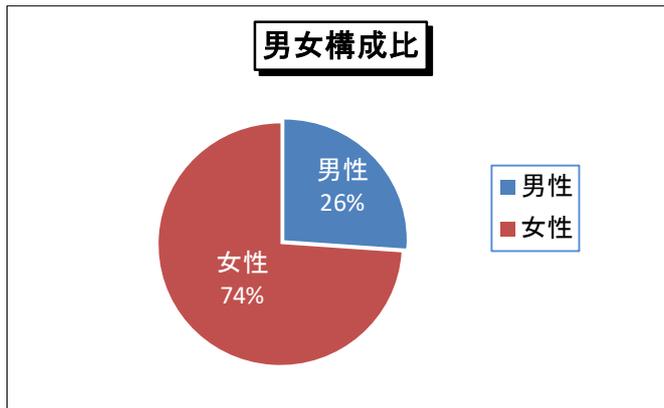
	内 容
5月19日	八ッ橋
8月25日	八ッ橋
11月25日	カップケーキ
2月16日	3色団子

令和元年度
小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家
現況報告書

(自：平成31年4月1日 ～ 至：令和2年3月31日)

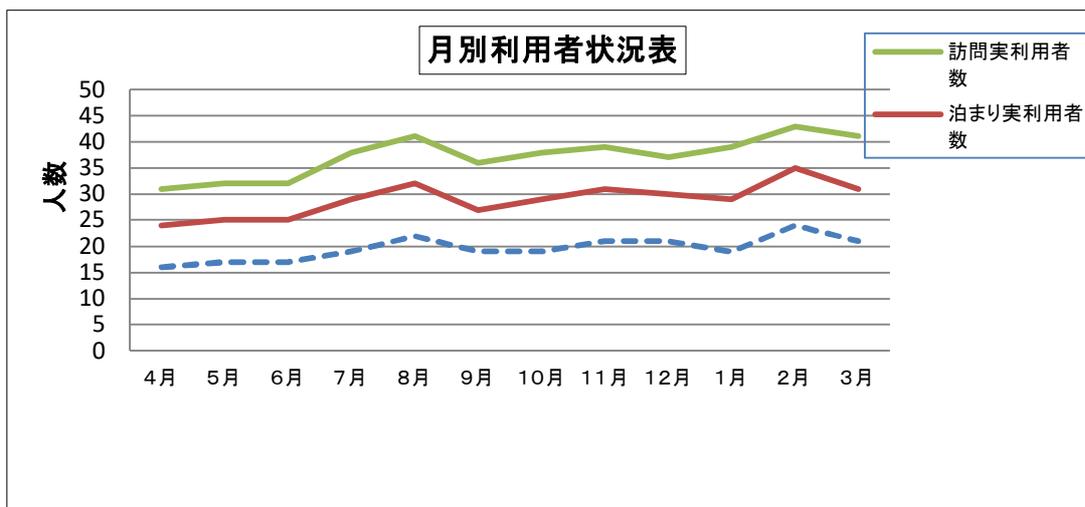
1. 利用登録者

男性	女性	合計
6	17	23



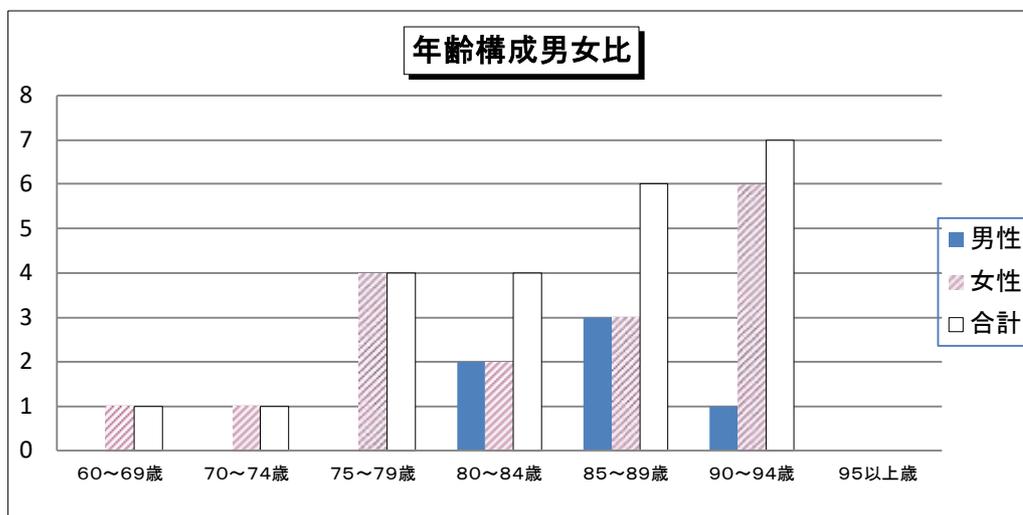
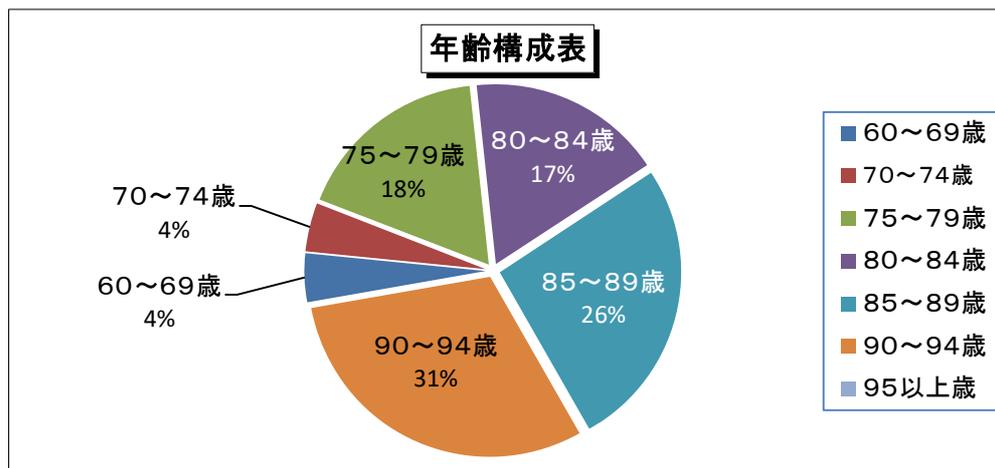
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	停止者	月初登録者数
4月	16	8	7	0	0	18
5月	17	8	7	0	1	18
6月	17	8	7	1	0	18
7月	19	10	9	0	0	19
8月	22	10	9	0	2	23
9月	19	8	9	1	2	22
10月	19	10	9	0	0	21
11月	21	10	8	1	0	22
12月	21	9	7	0	2	23
1月	19	10	10	0	1	21
2月	24	11	8	1	1	23
3月	21	10	10	0	0	23
平均	19.6	9.3	8.3	0.3	0.8	20.9



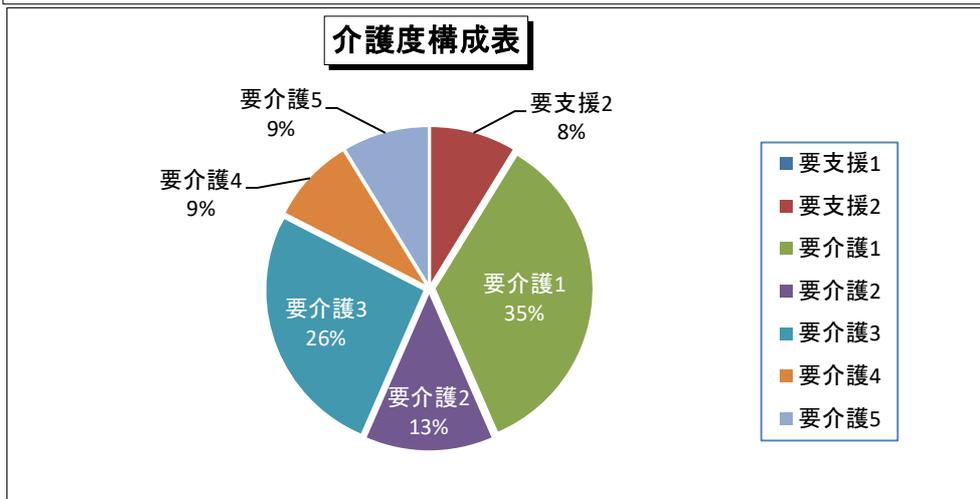
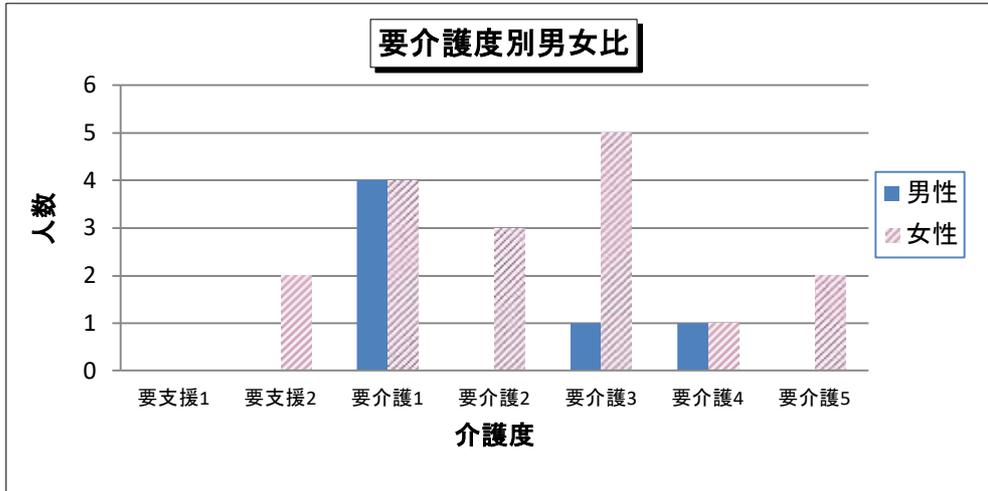
3. 年齡

年齡	男性	女性	合計
60~69歲	0	1	1
70~74歲	0	1	1
75~79歲	0	4	4
80~84歲	2	2	4
85~89歲	3	3	6
90~94歲	1	6	7
95以上歲	0	0	0
合計	6	17	23
平均年齡	86	83.4	84.1
最高年齡	90	94	94
最低年齡	83	63	63



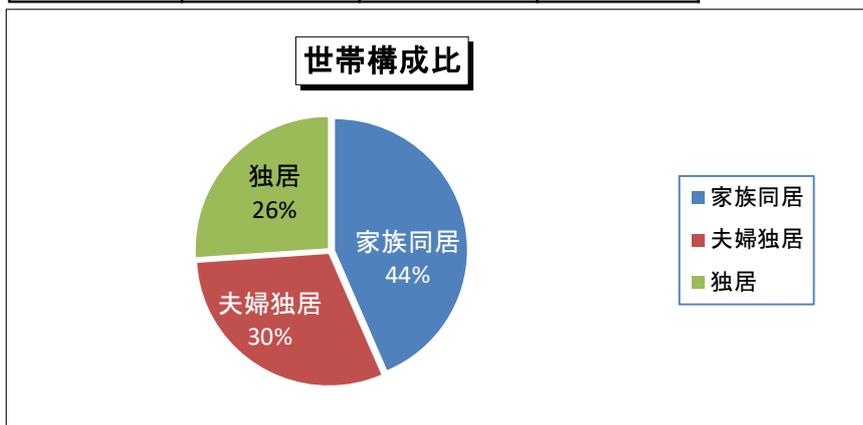
4. 要介護度別

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	2	2	8%
要介護1	4	4	8	35%
要介護2	0	3	3	13%
要介護3	1	5	6	26%
要介護4	1	1	2	9%
要介護5	0	2	2	9%
合計	6	17	23	100%



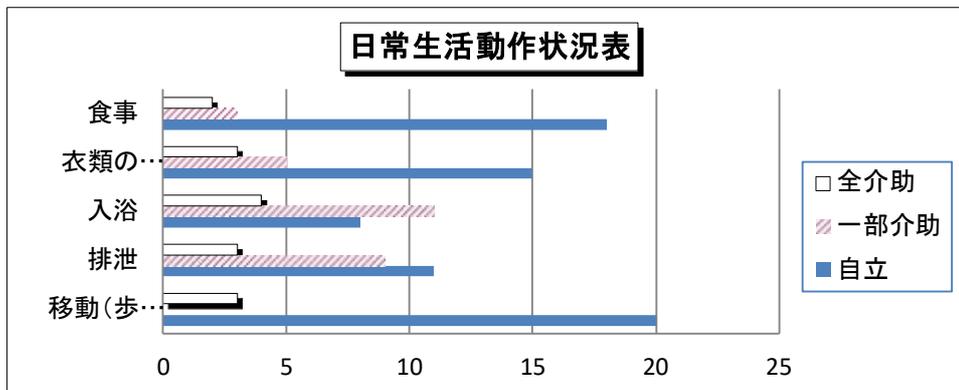
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
10	7	6	23



6. ADL(日常生活動作)状況

分類	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	20	0	3	23
排泄	11	9	3	23
入浴	8	11	4	23
衣類の着脱	15	5	3	23
食事	18	3	2	23

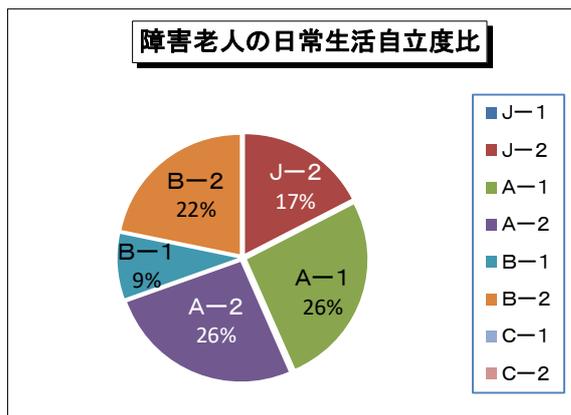
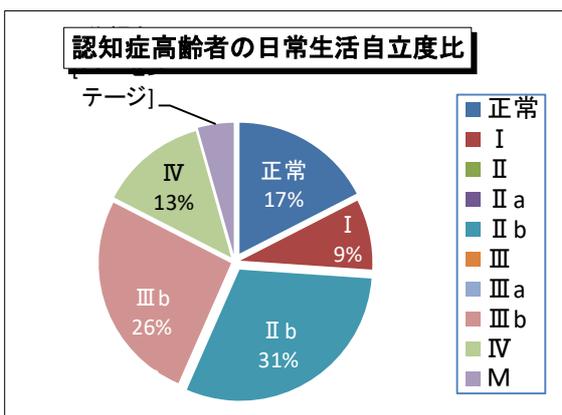


7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	4
I	2
II	0
II a	0
II b	7
III	0
III a	0
III b	6
IV	3
M	1
合計	23

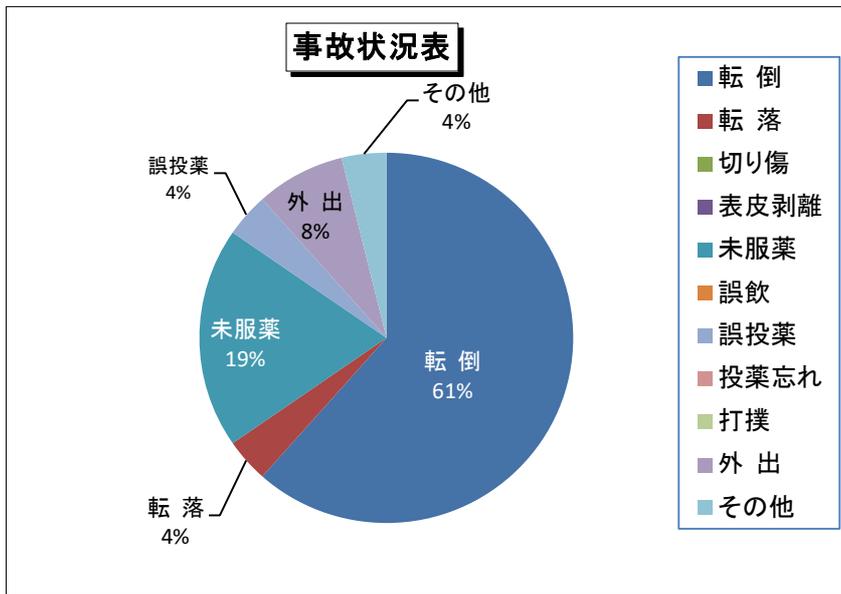
8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	0
J-2	4
A-1	6
A-2	6
B-1	2
B-2	5
C-1	0
C-2	0
合計	23



9. 事故状況

内容	件数
転倒	16
転落	1
切り傷	0
表皮剥離	0
未服薬	5
誤飲	0
誤投薬	1
投薬忘れ	0
打撲	0
外出	2
その他	1
合計	26



平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

Ⓜ:S;チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との運動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	月別進捗												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月					
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	新アセスメント様式の導入及び全利用者のデータ更新	主任 リーダー	計画	データ更新開始													データ更新		新アセスメント様式の導入し全利用者のデータ更新	C	新規利用者様の導入。		
			ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	主任 リーダー	計画	Wチェック モニタリング カンファレンス														Wチェック モニタリング カンファレンス		ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持	B	会議以外でも、都度困難事例のカンファレンスを行い、状態悪化の予防に努めた。	
			安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ	主任 リーダー	計画	毎月の会議での事故報告・分析															毎月の会議での事故報告・分析		事故件数前年度比-21件(H30年度41件→H31年度20件)	C	事故件数26件(昨年41件) 骨折事故0件(昨年0件) 薬に関する事故8件(昨年11件) 転倒転落事故15件(昨年26件) その他3件(昨年5件)
			身体拘束及び虐待防止の取組みを継続して行う(年1回研修実施)	主任 リーダー	計画	毎月1回研修実施															毎月1回研修実施		年1回研修を実施する。 身体拘束・虐待0件。	A	12月、3月と2回研修を実施。 身体拘束・虐待0件
2	(1)	安全で美味しく楽しみのある食事の提供	個別に合わせた適切な食事形態を提供する	主任 栄養士	計画	食事ケア チェック												食事ケア チェック		食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができ、食事が安定する。	B	個別に合わせた提供方法を検討し、実施した。			
			利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画し実施する	主任 栄養士	計画	出前 昭和の日	開設記念日 こどもの日 憲法記念日	外食ツアー	流し煮類		歌者の日 秋分の日 外食ツアー		体育の日	出前 文化の日 勤労感謝の日	クリスマス 忘年会 天皇誕生日	出前 おせち料理 成人の日	部分 健忘記念日 室内バー ナー	出前 ひな祭り 春分の日		満足度調査を実施し、食事に関して90%が良いの評価。	C	行事食、一部未実施はあったが、季節に合わせた物を提供した。			
3	(1)	食中毒・感染症の予防	食中毒・感染症(ノロウイルス・インフルエンザ)の予防策を徹底し感染を防ぐ(集団感染0件)	主任 看護師	計画															食中毒、感染症の集団感染0件	S	食中毒、感染症の集団感染0件			
			感染症発症者(ノロウイルス・インフルエンザ等)の在宅では対応困難な方の受け入れと支援の実施(マニュアル作成)	主任 看護師	計画	発症者の受け入れ 訪問対応														発症者の受け入れ 訪問対応		感染症発症者への泊まりサービスの実施。在宅での対応支援の為に訪問サービスの実施。	C	該当者はいないが、マニュアル作成には至らず。	
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	ケアチェックを強化し病気の発症及び重症化を防ぐ。医療と介護連携により入院での利用休止を減らす	主任 看護師	計画	的確なケア アタック															健康管理、病状の把握(利用者全員、血液検査データを提出してもらう)	C	今年度入院者4名。 血液データの提出は全員には至らず。		
			誤嚥性肺炎による入院者0名	主任 看護師	計画	食事ケアチェック 口腔ケアの徹底														食事ケアチェック 口腔ケアの徹底		誤嚥性肺炎による入院者0名	B	食事ケアチェック、口腔ケアに気をつけ、誤嚥性肺炎の予防に努めている。今年度誤嚥性肺炎による入院者は0名。	
			水分摂取量の把握を行い、適切な水分管理を本人、家族と共に取り組む(脱水者0名)	主任 看護師	計画	水分摂取量の数値化。 在宅での水分 摂取支援														水分摂取量の数値化。 在宅での水分 摂取支援		脱水症による入院者0名	B	水分量の把握と依頼を行う。脱水による入院者0名。	
			在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う)	主任 リーダー	計画	ケアマネジメント 在宅版総合 記録シート導 入者リンク マップ														在宅版総合 記録シート モニタリング		あつたかす健康ノートを使用し、在宅での生活習慣、状況の把握、病状悪化を防ぎ、在宅生活の継続ができる。(あつたかす健康ノート取り組み5名→7名)	C	あつたかす健康ノート活用にて、在宅生活を継続できているが、現在取り組み者4名。	
			総合記録シート・あつたかす健康ノートの活用をし、主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る。	主任 リーダー	計画	総合記録シート 見直し・改善 受診時同行 連携シート持 参														受診時同行 連携シート持 参		・総合記録シートの改良(医療連携欄の追加) ・受診時の同行、もしくは連携シートの持参で医療連携を図る	C	受診時、活用出来ているが改良には至らず。	
			法人全体で段階別基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけて専門性の向上を図る	主任 リーダー	計画																		経験・スキルに合わせた研修の実施により職員のケアのレベルアップができる。	B	段階別に基礎介護研修を実施し、職員のケアのレベルアップに努めた。

平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

Ⓜ:S;チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との運動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	月別進捗												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容				
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月			
6	(2)	アクティビティの充実	楽しみ・喜び・やりがいのあるアクティビティを計画・実施する(思い出に残る物、持ち帰りできる物、成果のある物、発表・展示できる物)	リーダー アクティビティ係	計画	月レタ 作品づくり	花見ドライブ 祭のチャレンジ ツアー	買い物・外食 ツアー	流し素麺 ドライブ	鷹巣祭 町民祭り 参加	ドライブ・外食	運動会 買い物ツアー 月レタ 作品づくり	出前 青年会との食 事会	餅つき 忘年会	出前	部分 室内バーベ キュー	出前 横の節句	計画どおり実施でき、持ち帰りの できる作品作りや成果の見える アクティビティを取り入れる。	C	持ち帰りのできる作品ができていない時があっ た。			
			学習療法マスター	計画	学習療法案 内配布			学習療法案 内配布							学習療法案 内配布				学習療法参加人数の確保 (30年度3名→31年度5名)	C	学習療法は継続しているが、実施者の確保には 至らず(今年度3名)。		
			リーダー	計画	個別のハビ ネスプラン 実施(1~2 名)															個別の楽しみや喜びを探り、かえ る。	C	各担当が計画し、適宜実施。新規の方の立案 や実施に至らず。	
7	(2)	環境を改善し過ごしやす い生活環境を作る	施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤 いある生活空間を作る	主任 環境整備 係	計画	月担当しつ らえ (植物管理含 む)												四季の感じられるしつらえを楽しんで いただく。植物を置いて担当が管理 する。	C	各月の担当が設えを検討し、実施。植物の管理 が一部不十分。			
			利用者が安心して穏やかに過ごせる環境 作りを行う	主任 環境整備 係	計画	フローア のしつら え														認知症の症状の重い方が安心して落 ち着いて過ごせる環境ができる。	C	フローアの設えは季節毎に変化しているが、落 ち着かなくなる利用者がいた。	
8	(4)	開かされた事業所づくり	利用者・職員が地域社会の一員として豊か に暮らせるよう積極的に地域行事・活動に 参加する	主任 リーダー	計画		チャレンジ デー参加	鷹栖保育園 運動会見学	鷹巣祭 町民祭り				チャレンジ デー参加						地域の催しに積極的に参加し、天気 の良い日は散歩を日常のプログラム に取り組む。地域の方になごみの家 を認知していただく。	C	御神輿見学、チャレンジデーなど地域の催しに は参加できたが、日常的な散歩は実施できず、 地域の方になごみの家を認知して頂く活動には 至らず。		
			小規模多機能ケアをより多くの方に理解し て頂く為、地域の方々に向け情報発信す ると共に交流スペースを地域の方に開放す る	主任 リーダー	計画	寺子屋 俳句の会			広報にてP Rする	見学会計画 (民生委員・ 地域住民)				寺子屋 俳句の会						小規模見学会を開催し、地域住民・ 民生委員の方に、小規模多機能ケア についての説明を行い、理解して いただく	C	たかすde寺子屋や俳句の会の定期的な利用は 継続されていたが、2月・3月は感染症予防のた め中止。	
			地域住民の学習療法サポーターの育成を 行い、役割と生きがいをつくる	学習療法 マスター	計画						サポーター研 修・交流会										交流会の実施で不安の解消や充実 感の共有の場を設け、やりがいや楽 しみに繋げる。(アンケートで80%以 上「楽しい」と評価)	C	感染症の関係で交流会は中止し、アンケートの み実施。評価は目標には到達せず。
			勤務体制の一部見直し	主任 リーダー	計画			訪問サービ スの調整	勤務体制 の見直し											訪問のニーズに柔軟に対応できる体 制をつくる	B	9月よりグループホームからの協力体制をつく り、実施した。	
9	(3)	働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合 わせるために、定期的に職員面談を実施する	課長 主任 リーダー	計画			面談の実施											面談を実施することで不安や悩みを 軽減・解消する。	B	面談を行う事で不安や悩みの軽減・解消に努め た。		
			リフレッシュ6連休の実施と有給休暇の計 画的消化	課長 主任	計画			連続有給休 暇 調整	連続有給休暇 取得										1人6日間の連続休暇を計画的に取 得し、リフレッシュを図る。(必ず有給 を3日つける)	S	全員7日間連続休暇の取得と有給休暇の計画的 消化ができた。		
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む (退職者0を目指す)	課長 主任	計画	退職者0			面談											結婚・出産以外での退職者をださな い。	B	退職者0名	
			週目標を継続し、具体的な目標を意識して 思いを一つにする	主任 リーダー	計画		毎日の引継 で目標を共有 する														思いを一つにすることで、チームワ ークの強化を図る。	B	持ち回りで1週間の目標を立て、目標を現場と 照らし合わせチームワークの強化を図った。
10	(3)	チームワークの向上	職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達 成感を感じられるよう年間チームでの目 標を決め取り組む(サービス向上発表会等 での発表)	主任 リーダー	計画			取組み 内容 決定											一つのテーマにチームで取り組み成 果を出す。	B	一年間の目標を立て、計画的に取り組めた。		
			ユニット間の職員の交流を図る	課長 主任	計画	シフト間 交流														ユニット固定の勤務を見直し、職員が 互いに協力できる体制をつくる。	B	グループホームとの協力ができた。	
				課長 主任	実施	済	済	済	済														

平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

※S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との運動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
11	(7)	業務の効率化	業務の見直しを行い、業務分担を明確にし見える化する	課長 主任 リーダー	計画			業務整理	業務見直し			B							業務分担を明確にし見える化することで、業務の効率化を図る。	B	オペレーションシートの見直し、業務分担表等、会議内で検討し都度変更を行った。	
			従来マニュアルの見直しと整理	主任 リーダー	計画			従来マニュアルの確認	マニュアルの整備				D							従来マニュアルの見直しと整理	D	未実施。
12	(7)	適正利益の確保	新規登録者の確保の為に計画を立てPR活動を行う(目標登録人数23名) 目標介護保険事業収入65,195,000円(前期55,515,000円)	課長 主任	計画	新規利用者の確保		医療機関・老人保健施設PR/シンプレット確認・補充	医療機関・老人保健施設PR/R/シンプレット確認・補充				B	新規利用者の確保	医療機関・老人保健施設PR/R/シンプレット確認・補充		医療機関・老人保健施設PR/R/シンプレット確認・補充		新規登録者の確保と登録人数の維持 (H30年度10名→H31年度10名) (登録人数23名)	B	新規登録者13名(昨年度10名)。	
			ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を減らす	主任 リーダー	計画	体調不良者・入院者の分析								C	体調不良者・入院者の分析					長期入院での停止者・施設入居での登録終了者を減らす。 (H30年度長期入院での停止者4名→H31年度2名 (H30年度施設入所での停止者2名→H31年度2名)	C	登録終了者10名。入院者3名、入居5名、他2名(金銭面1名、冬期休止1名)。
			光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)	課長 主任	計画	節約運動強化月間		節約運動強化月間		節約運動強化月間						節約運動強化月間					節約運動強化月間	B
			実施	0	1名	1名	3名	2名	0			B	1名	1名	0	1名	3名	0				
			実施	0	登録終了1名	0	0	GH入居2名	入院1名 入居1名			C	0	入院1名	入居1名 終了1名	入居1名	入院1名	0				
			実施		済		済		済				済			済						

令和元年度 地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

令和元年度は、スキルアップとケアの質の向上を図るため、すべての常勤職員が介護過程の展開に取り組んだ。介護過程の展開は、担当しているご入居者のアセスメントを徹底し行いニーズを把握。カンファレンスで要因分析と対応方法を検討した。毎月の会議の場で計画を伝達し、チームみんなの協力のもとすすめられた。実行された計画の進捗状況は会議の場で逐次報告し評価していった。この取り組みによりこれまで気にかかっていたもののなかなか取り組みに至らなかったことや、トライしていたが成果につながらなかったケースが改善につながった事例もあり、一定の成果を上げることができた。ほかにも、カンファレンスを定期的実施しケアチェックで顕在化した課題や再発リスクの高い疾患を有する入居者について、介護・看護・栄養が話し合いチームケアを実践。入院を繰り返していた入居者の症状の悪化による再入院を防いでいる。今年度は年間で197日間の入院があり、疾患の再発や転倒骨折による入院がほとんどであった。早期に対応することで症状の悪化や事故を未然に防いでいきたい。

次に、ご入居者の楽しみづくりについて予定していた行事は概ね実施することができた。年々入居者の状態が重度化していくなかでどのような方法が楽しんでいただけるか、行事を担当したスタッフも試行錯誤しながらの計画・実施であった。また、本年も年間で200人近いボランティアさんに様々な活動に関わっていただいた。年末恒例の餅つきも大いに楽しんでいただくことができた。一方で、行事以外で日常的に楽しめるアクティビティの時間がなかなか確保できなかった。業務改善を図り入居者とスタッフが一緒に楽しめる時間をつくっていくことが今後の課題である。

栄養部門では、昨年のサービス満足度調査の結果を踏まえ今年度から検食を実施。実際に入居者と同じもの食すことで意見交換がより具体的に、活発に行うことで、食事サービスの向上を目指した。今年度実施した満足度調査では、昨年よりも高い評価をいただき、一定の成果がみえた。また、栄養マネジメントと施設サービス計画書を連動させたことで栄養部門とのチームケアを推進することができた。

働きやすい職場づくりの取り組みとして実施しているリフレッシュ休暇は、今年度も希望者全員が7連休を取得。1年を通じケアスタッフの離職はなく、4月に入社した新任職員も周囲のサポートを受けながら不安を乗り越えることができた。

最後に適正収益の確保では、特養事業の目標稼働率98%以上（目標介護保険収入99,807,000円）に対し、実績は稼働率97%（実績介護保険収入101,972,327円）であった。稼働が目標に達しなかったのは、入院日数が225日間と入院が多かったことが要因と考えられる。また、介護保険収入は平均要介護度の上昇や新たな加算の取得が増収の要因と考えられる。

2. 展望（次年度に向けて）

令和 2 年度も「良いケア、良い職場、良い経営」を基本方針とし取り組む。すでに感染拡大が危惧されているコロナウィルスの施設内感染を予防することが最大の目標と考える。職員の感染症及び衛生に関する知識の向上と予防意識の啓発・対応を徹底する。また、万が一の発生時におけるオペレーションを随時検討見直し、入居者や入居者家族そして働くスタッフが安心できる環境を整える。

ケアにおいては、前年度に引き続き介護過程の展開を継続実施する。介護過程の取り組みは介護職として基本的なスキルであるのと同時に、専門職としてスキルアップを図る機会となる。実践と成果が結びつくことで力をつけ、スタッフの介護の

仕事の価値・尊さを学び高めていきたい。ケアチェックとカンファレンスは定期的を実施し、入居者の周辺症状の悪化や重症化・重度化予防と未然に防げる事故の予防を目指す。

入居者の平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくりでは、行事など例年通り計画を実施する予定だが、コロナウィルス感染予防で自粛や延期など変更が予想される。感染症対策には万全を期しつつも、入居者の楽しみが持てる時間を積極的につくる。

また、新たな取り組みとして、非常災害における停電時の電源確保のため、非常用電源設備を新設し非常事態時に備える。

「働きやすい職場づくり」では、リフレッシュ休暇について、感染症の拡大状況を鑑み柔軟に取得できるようにする。介護負担の軽減と業務の効率化を図るため介護ロボットの導入とICT・IoT化の検証・検討する。人材確保・人材育成についてはさらに加速する介護人材難から、人材確保の裾野を広げるため今年度より社会福祉士養成校より相談援助実習を受け入れる。

最後に、適正収益の確保では特養事業の目標稼働率は 98%以上（目標介護保険収入 100,408,130 円）を達成する。未然に防げる事故を減少させ、再発リスクの高い疾患のあるご入居者への予防的ケアの実践により入院者を減少させる（目標入院のべ日数 90 日以内）。さらには新たな加算の取得により増収を図る。また、支出面においては感染症対策に伴う支出の増加が見込まれるため、その他の費用について縮減を図る。加えて紙おむつの消費量が年々上昇しているため、使用方法や種類について適時見直しを図りコスト削減を目指す。

以上を次年度にむけた展望とする。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①ベッド稼働率

目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率(B)/(A)×100
98.0%	97.0%	99.0%

②延べ入居者数 (単位：人)

目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率(B)/(A)×100
7,154	7,096	99.2%

③事業収入(単位：千円)

目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率(B)/(A)×100
99,807	101,972	102.2%

(2) ボランティアの受け入れ

①ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	0	45
延人数	5	17	19	17	21	18	22	20	20	19	13	0	191

②ボランティア協力団体一覧

団体名	活動・協力内容
ぬくもり友の会	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備・シーツ交換 ・洗面台清掃・車椅子清掃 ・喫茶てくてく参加 ・朝市への参加、誘導 ・畑おこし、整備 ・除雪・学習療法サポーター ・大掃除・餅つき
ぬくもり友の会、家族会	<ul style="list-style-type: none"> ・窓拭き
琴伝流大正琴北野会	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴演奏会
絵画サークル虹の会	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展示
個人ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居
鷹栖町商工会女性部	<ul style="list-style-type: none"> ・寸劇ほか

(3) 外出・外泊・面会状況

年月	面会延べ人数(名)	外出回数(回)	外泊回数(回)
平成31年4月	125	0	1
5月	108	0	2
令和1年6月	90	2	4
7月	131	0	3
8月	113	2	2
9月	115	0	1
10月	100	1	2
11月	94	0	3
12月	112	0	2
1月	63	0	2
2月	17	0	1
3月	0	0	0
合計	1,068	5	23

(4) 行事

日時	行事名	場所
平成31年5月1日	えん開設記念日	そら・はなりビング
平成31年5月15日～17	お花見ツアー	春光台/花咲公園/護国神社
令和1年6月14日	花壇整備	えん庭
令和1年6月15日	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園
令和1年7月14日	さつき祭	さつき苑
令和1年7月23日	流しソーメン	そら・はなりビング
令和1年8月2日	夕涼み会	えん駐車場
令和1年8月4日	北野神社祭・獅子舞	えん駐車場

令和1年8月22日	収穫祭&ボランティアの集い	はなリビング
令和1年12月23日	クリスマス会	はなリビング
令和1年12月26日	忘年会	はなリビング
令和2年2月3日	豆まき	はなリビング

(5) 全体会議 (計12回)

月日	議題内容	参加人数
平成31年4月3日	・業績管理報告・今後の予定・その他(調理員の勤務態勢、事業計画、活動計画について、介護過程の展開)	17名
平成31年5月8日	・業績管理報告・今後の予定・その他(窓拭きと花壇整備、酸素とバルーンの取り扱い、介護過程の展開)	19名
令和1年6月5日	・業績管理報告・今後の予定・その他(新任職員のサポートについて)	17名
令和1年7月10日	・業績管理報告・今後の予定・その他(おやつの取り扱いについて)	12名
令和1年8月7日	・業績管理報告・今後の予定・その他(トランシーバーの試験的導入について、定期面談について、正しい制服の着用について)	17名
令和1年9月4日	・業績管理報告・今後の予定・その他(緊急連絡網、ベッド柵の使用について)	17名
令和1年10月2日	・業績管理報告・今後の予定・その他(特定処遇改善手当について、おやつ取り扱いについてほか)	16名
令和1年11月6日	・業績管理報告・今後の予定・その他(風邪の予防について、インフルエンザ予防接種について、タイムカードの打刻漏れについてほか)	17名
令和1年12月4日	・業績管理報告・今後の予定・その他(介護過程の展開について)	20名
令和2年1月8日	・業績管理報告・今後の予定・その他(モニタリングについて、小規模苑専用回線の設置について、朝の引き継ぎの唱和について)	18名
令和2年2月5日	・業績管理報告・今後の予定・その他(身体拘束・虐待予防研修)	16名
令和2年3月4日	・業績管理報告・今後の予定・その他(新型コロナウイルスの対応について、有給休暇の届け出についてほか)	17名

(6) リーダー会議 (計12回)

月日	議題内容	参加人数
平成31年4月30日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項(人事異動について)・スタッフマネジメント	7名

平成 31 年 5 月 28 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 6 月 18 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 7 月 23 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（トランシーバーの使用について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 8 月 27 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（トランシーバーの使用について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 9 月 20 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（とろみ剤の費用負担について、特定処遇改善加算について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 10 月 2 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（清掃について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 11 月 19 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（トランシーバーの使用について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 1 年 12 月 24 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（人事調書について、基本方針の浸透について）・スタッフマネジメント	7 名
令和 2 年 1 月 28 日	・令和 2 年度事業計画策定会議	7 名
令和 2 年 2 月 25 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（新型コロナウイルスについて）・スタッフマネジメント	7 名
令和 2 年 3 月 24 日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（満足度調査、居室清掃用モップの導入について、はな夜勤オペレーションについて）・スタッフマネジメント	7 名

(7) 特養会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 31 年 4 月 3 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他	12 名
平成 31 年 5 月 8 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他	12 名
令和 1 年 6 月 5 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (ヒヤリハット様式の変更)	10 名
令和 1 年 7 月 10 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他	12 名
令和 1 年 8 月 7 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (早番業務の見直し)	10 名
令和 1 年 9 月 4 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (記録用紙の印刷について、ごみの分別について)	12 名
令和 1 年 10 月 2 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他	10 名
令和 1 年 11 月 6 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (清掃について、オペレーションについて)	11 名
令和 1 年 12 月 4 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他	11 名
令和 2 年 1 月 8 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (介護過程の展開)	9 名
令和 2 年 2 月 5 日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・その他 (ミーティングの時間短縮について、介護	8 名

	過程の展開)	
令和2年3月4日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について	9名

(8) 給食会議 (計 12 回)

月 日	議 題 内 容	参加人数
平成31年4月25日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(ソフト食勉強会について、食中毒予防研修)	11名
平成31年5月16日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	10名
令和1年6月20日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	10名
令和1年7月18日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	10名
令和1年8月22日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(調理スタッフの採用について、玄米ご飯について)	10名
令和1年9月19日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	10名
令和1年10月24日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(冷蔵庫掃除について、生ゴミバケツについて、冷蔵庫の霜取りについてほか)	9名
令和1年11月21日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	9名
令和1年12月19日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	9名
令和2年1月13日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(見守りの協力について)	9名
令和2年2月13日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(厨房の修繕工事について)	9名
令和2年3月13日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他	10名

(9) 入院状況

病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	4月25日	5月9日	14
医療センター	消化器内科	胆嚢炎	4月30日	6月4日	35
厚生HP	救外	誤嚥性肺炎	6月6日	6月19日	13
日赤HP	HCU	脳幹(橋)梗塞	7月2日	7月8日	6
日赤HP	SCU	脳梗塞	7月17日	7月31日	14
市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	7月26日	8月9日	14
森山病院	循環器科	アダムストーク発作	8月2日	8月19日	17
日赤HP	消化器内科	虚血性腸炎	8月20日	8月28日	8
市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	8月23日	9月20日	27
医療センター	消化器内科	総胆管結石	8月30日	9月11日	12
日赤HP	整形外科	右大腿骨頸部転子部骨折	9月1日	9月12日	11
日赤HP	HCU	右大腿骨頸基部骨折	9月5日	9月19日	14
日赤HP	HCU	誤嚥性肺炎	9月24日	10月7日	13
日赤HP	消化器内科	大腸癌・大腸穿孔	12月11日	12月19日	7
森山病院	脳外科	脳梗塞	3月12日	3月30日	17
					197

(10) 通院状況

病院名	診療科目	計(人)	病院名	診療科目	計(人)
浅井医院	内科	18	永山腎泌尿器科 CL	泌尿器科	5
旭川赤十字病院	泌尿器科	12	なかの呼吸器内科 CL	呼吸器内科	4
	救急外来	1	たかはし整形外科 CL	整形外科	1
	消化器内科	3	森山病院	外科	5
	脳神経外科	3		整形外科	1
	整形外科	1		循環器内科	1

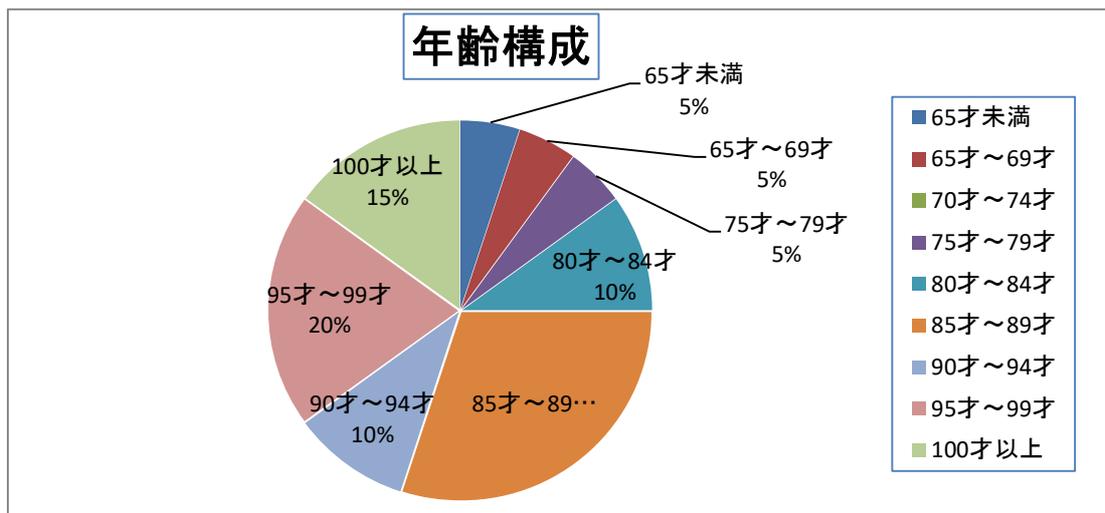
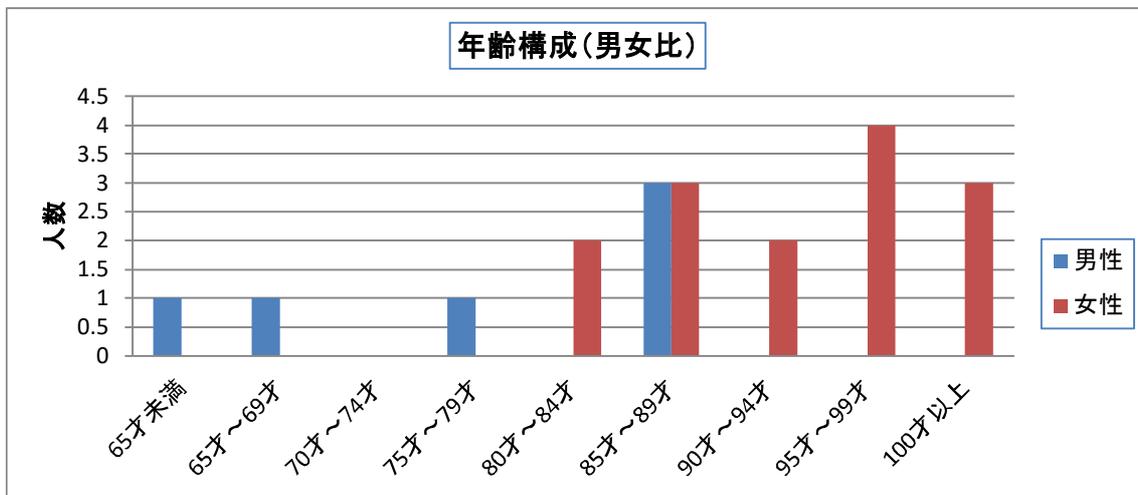
市立病院	皮膚科	18	
旭川医療センター	消化器内科	1	
	神経内科	5	
松井眼科医院	眼科	2	
鷹栖歯科	歯科	3	
厚生病院	呼吸器内科	1	
相木整形外科医院	整形外科	3	

令和元年度 地域密着型特別養護老人ホーム
ぬくもりの家えん
現況報告書

(自：平成31年4月1日 ～ 至：令和2年3月31日)

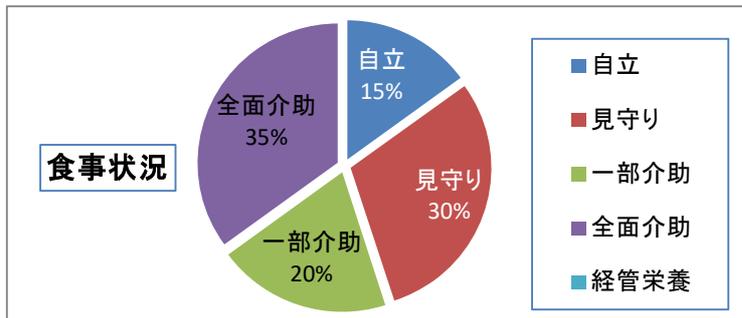
1.入居者年齢構成(令和2年3月31日現在)

	在籍者			【最高年齢】 男性 87歳 女性 102歳 【最低年齢】 男性 64歳 女性 82歳 【平均年齢】 男性 78.2歳 女性 93.1歳 全体 88.6歳
	男性	女性	計	
65才未満	1	0	1	
65才～69才	1	0	1	
70才～74才	0	0	0	
75才～79才	1	0	1	
80才～84才	0	2	2	
85才～89才	3	3	6	
90才～94才	0	2	2	
95才～99才	0	4	4	
100才以上	0	3	3	
計	6	14	20	



2.食事状況(令和2年3月31日現在)

	自立	見守り	一部介助	全面介助	経管栄養	合計
男性	1	2	1	2	0	6
女性	2	4	3	5	0	14
合計	3	6	4	7	0	20



3.移動状況(令和2年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす使用		合計
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助	
男性	1	0	0	0	0	2	3	6
女性	0	1	0	0	0	1	12	14
合計	1	1	0	0	0	3	15	20

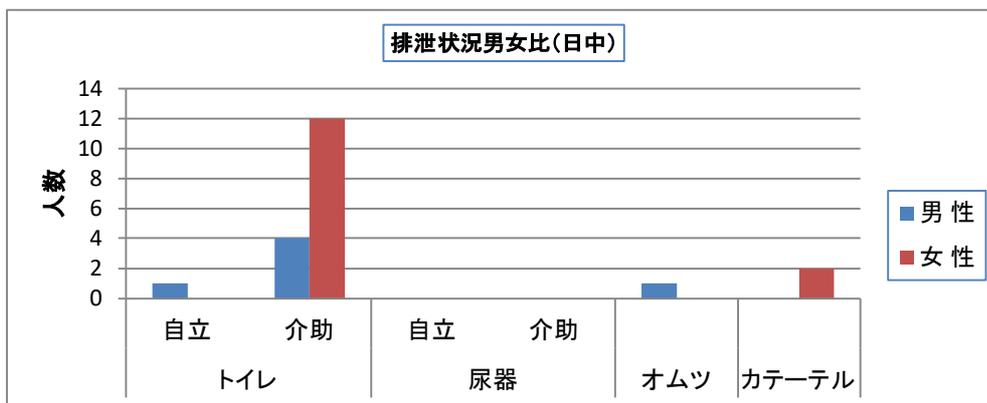
4.入浴状況(令和2年3月31日現在)

	一般浴		車いす浴	合計
	自立	介助		
男性	0	2	4	6
女性	1	5	8	14
合計	1	7	12	20

5.排泄状況(令和2年3月31日現在)

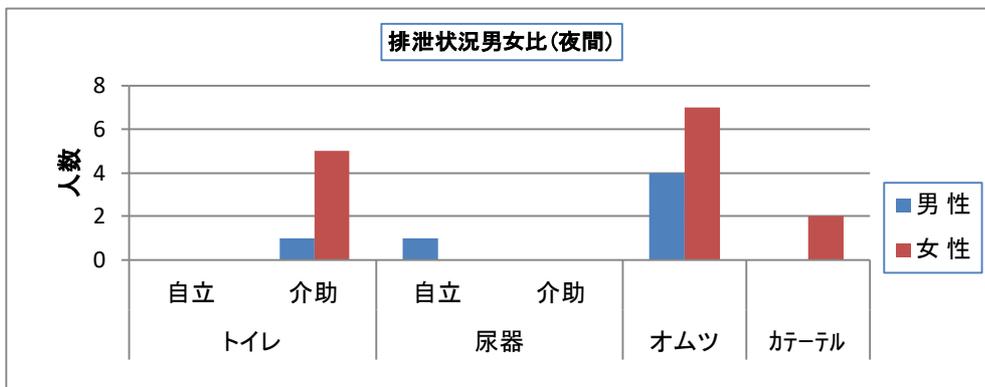
日中

	トイレ		尿器		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	1	4	0	0	1	0	6
女性	0	12	0	0	0	2	14
計	1	16	0	0	1	2	20



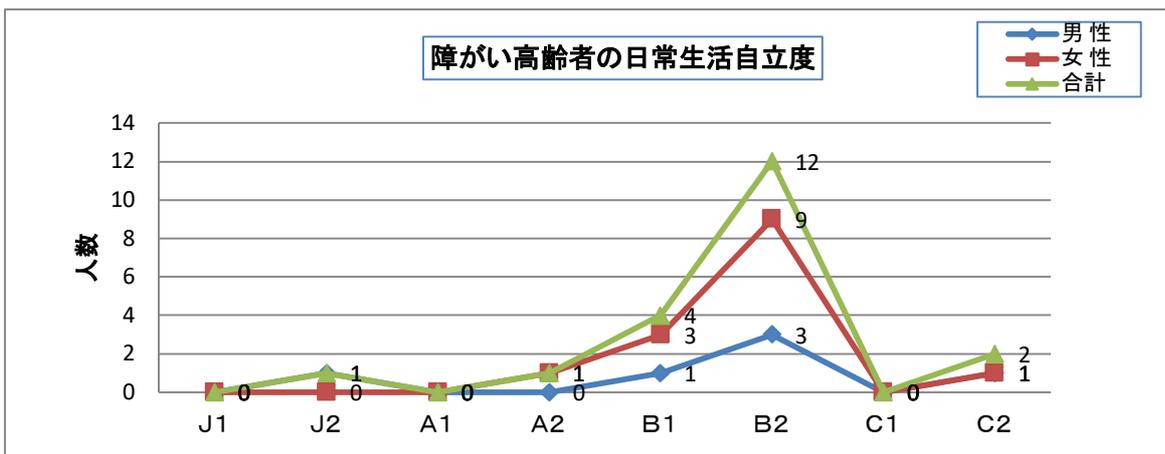
夜間

	トイレ		尿器		オムツ	カテーテル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	0	1	1	0	4	0	6
女性	0	5	0	0	7	2	14
計	0	6	1	0	11	2	20



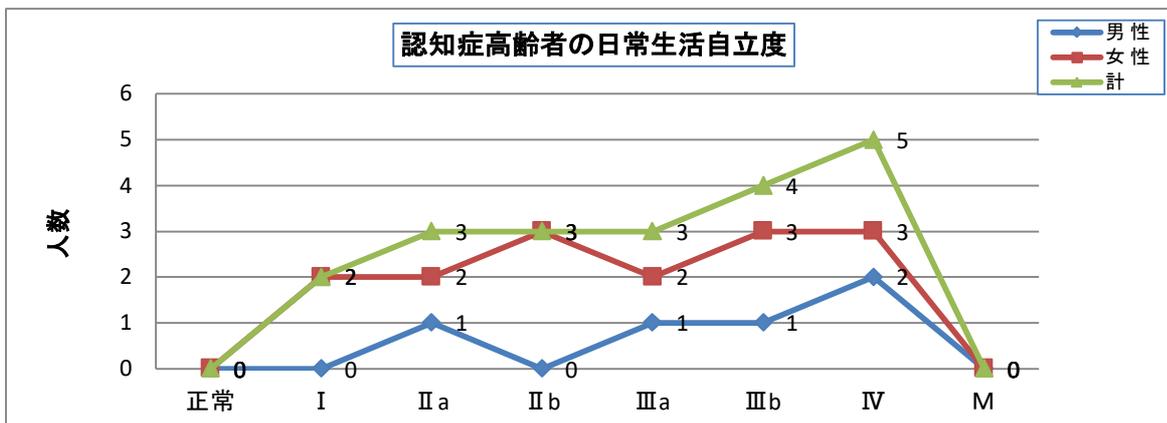
6. 身体状況(障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定)

	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
男性	0	1	0	0	1	3	0	1	6
女性	0	0	0	1	3	9	0	1	14
合計	0	1	0	1	4	12	0	2	20



7. 認知症状況(認知症高齢者の日常生活自立度判定)

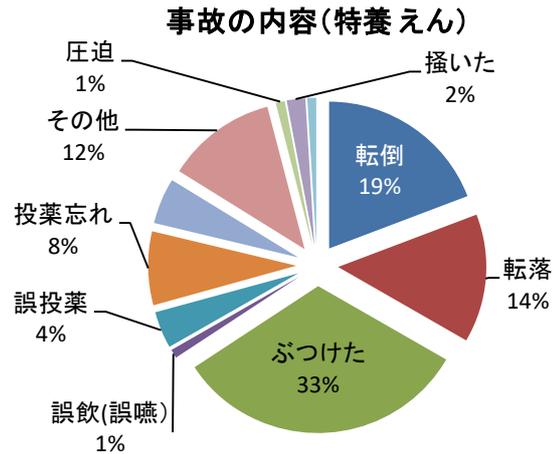
	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
男性	0	0	1	0	1	1	2	0	5
女性	0	2	2	3	2	3	3	0	15
計	0	2	3	3	3	4	5	0	20



8.事故の状況

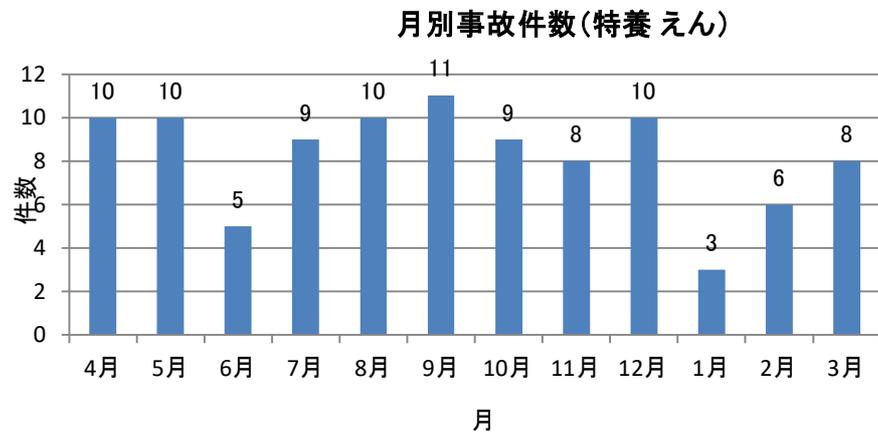
(1)内容

内容	件数
転倒	19
転落	14
ぶつけた	32
誤飲(誤嚥)	1
誤投薬	4
投薬忘れ	8
異食	5
その他	12
圧迫	1
搔いた	2
不明	1
	99



(2)月別発生件数

発生月	件数
4月	#VALUE!
5月	#VALUE!
6月	#VALUE!
7月	#VALUE!
8月	#VALUE!
9月	#VALUE!
10月	#VALUE!
11月	#VALUE!
12月	#VALUE!
1月	#VALUE!
2月	#VALUE!
3月	#VALUE!
	#VALUE!



9. 入院状況

	病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
1	市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	4月25日	5月9日	14
2	医療センター	消化器内科	胆嚢炎	4月30日	6月4日	35
3	厚生HP	救外	誤嚥性肺炎	6月6日	6月19日	13
4	日赤HP	HCU	脳幹(橋)梗塞	7月2日	7月8日	6
5	日赤HP	SCU	脳梗塞	7月17日	7月31日	14
6	市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	7月26日	8月9日	14
7	森山病院	循環器科	アダムスストーク発作	8月2日	8月19日	17
8	日赤HP	消化器内科	虚血性腸炎	8月20日	8月28日	8
9	市立病院	皮膚科	蜂窩織炎	8月23日	9月20日	28
10	医療センター	消化器内科	総胆管結石	8月30日	9月11日	12
11	日赤HP	整形外科	右大腿骨頸部転子部骨折	9月1日	9月12日	11
12	日赤HP	HCU	右大腿骨頸基部骨折	9月5日	9月19日	14
13	日赤HP	HCU	誤嚥性肺炎	9月24日	10月7日	13
14	日赤HP	消化器内科	大腸癌・大腸穿孔	12月11日	12月19日	8
15	森山病院	脳外科	脳梗塞	3月12日	3月30日	18
						225

10. 通院状況

病院名	診療科目	計(人)	病院名	診療科目	計(人)
浅井医院	内科	18	永山腎泌尿器科CL	泌尿器科	5
旭川赤十字病院	泌尿器科	12	なかの呼吸器内科CL	呼吸器内科	4
	救急外来	1	たかはし整形外科CL	整形外科	1
	消化器内科	3	森山病院	外科	5
	脳神経外科	3		整形外科	1
	整形外科	1		循環器内科	1
市立病院	皮膚科	18			
旭川医療センター	消化器内科	1			
	神経内科	5			
松井眼科医院	眼科	2			
鷹栖歯科	歯科	3			
厚生病院	呼吸器内科	1			
相木整形外科医院	整形外科	3			

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域密着特別介護老人ホーム むくもりの家 えん

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
1	(1)	健康で穏やかな生活を支えられるよう多職種連携でケアを提供すると共に、豊かな暮らしづくりを行う	①多職種連携でのラウンド及びカンファレンスを実施し健康が維持できるように努める	課長 課長補佐 主任	計画	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	B	カンファレンスは必要時速やかに開催することができたが、入院者は多かった。入院症→日数167日間(昨年同43日間)	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	ラウンド・カンファレンスの実施により体調や病状の変化に早期に対応できる。(7日以内のカンファレンス・入院90日以内)	C	毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。
			①事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止する	リーダー リスクマネジメント委員会	計画	事故検証 再発防止							C	転倒による骨折事故、服薬に関する事故が多く、再発予防が不十分であった。事故件数55件							事故を分析し同じ事故を2割削減する。再発事故ゼロ。
3	(1)(3)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防する	看護師 栄養士 リーダー	計画	食事形態見直し	脱水予防確認 水分量の見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	定期健康診断	B	計画通り実施することができた。低栄養や脱水による入院者はなかったが、誤嚥性肺炎による入院者が1名いた。	水分表・食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	脱水症・低栄養による入院者がゼロ。誤嚥性肺炎による入院ゼロ。入院日数を90日以内にする。	B	脱水症、低栄養による入院はなかったが、誤嚥性肺炎による入院は年間で2名だった。誤嚥性肺炎の多いことについては早期に予防対応を検討し徹底する必要がある。
			②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践する	看護師 栄養士 リーダー	計画	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	半期の評価	B	褥瘡の発生傾向はとどまり、褥瘡は未然に予防することができた。	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	半期の評価	褥瘡発症者ゼロ カンファレンスの開催し、ケアが統一向上する	B
4	(1)(3)	③多職種連携によるカンファレンスを行い安全で適切なケアの提供を行う	④便程を予防し下痢を減らす取り組みを計画、実践する	看護師 栄養士 リーダー	計画		下剤使用者把握	モニタリング	評価		B	刺激性下剤服用者は増減なく、1名にとどまった。	モニタリング						刺激性下剤1名を増やさない	A	刺激性下剤服用者は増えなかった。
			⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践	看護師 栄養士 リーダー	計画			各口腔状態ケア状況の把握	個別計画書作成	半期の評価		D	計画未実施							全員が毎食後の口腔ケアができている全員、口腔摂取ができる 誤嚥性肺炎の入院者ゼロ	B
5	(1)(3)	⑥病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践する	⑦感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努め集団感染0件を目標とする(感染症対策委員会)	看護師 栄養士 リーダー	計画	Wチェックとカンファレンスの徹底					B	計画通りダブルチェックとカンファレンスを実施することができた。入院退院の日数は30日間であった。	Wチェックとカンファレンスの徹底						毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。入退院にかかる日数は平均2.7日であった。	C	毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。入退院にかかる日数は平均2.7日であった。
			⑧職員の健康、体調管理	看護師 栄養士 リーダー	計画	Wチェックとカンファレンスの徹底						B	計画通りダブルチェックとカンファレンスを実施することができた。入院退院の日数は30日間であった。	Wチェックとカンファレンスの徹底						毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。入退院にかかる日数は平均2.7日であった。	C
6	(1)(3)	⑦感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努め集団感染0件を目標とする(感染症対策委員会)	⑧職員の健康、体調管理	看護師 栄養士 リーダー	計画	Wチェックとカンファレンスの徹底					B	計画通りダブルチェックとカンファレンスを実施することができた。入院退院の日数は30日間であった。	Wチェックとカンファレンスの徹底						毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。入退院にかかる日数は平均2.7日であった。	C	毎月カンファレンスを実施することができた。再発や転倒事故により、入院日数は197日間と目標を大幅に上回ってしまった。入退院にかかる日数は平均2.7日であった。
			⑨職員への健康、体調管理	看護師 栄養士 リーダー	計画	職員健康診断						B	概ね達成することができた。体調不良による休暇は %	職員健康診断						職員への健康診断を実施	A
7	(1)(3)	⑧職員の健康、体調管理	⑩食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する(栄養士・給食担当・感染症対策委員会)	栄養士 調理員 課長補佐	計画			食中毒予防研修(法人)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	B	給食に関する事故等はゼロであった。	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	1年間のモニタリング	食中毒感染者ゼロ	B	・給食設備の定期的なチェックと改善ができた。 ・異物混入の報告 0件 ・各事業所にて食中毒予防研修の実施ができた。
			⑪摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践	看護師 栄養士 リーダー	計画	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	B	食事形態は入居者の状態に合わせて随時見直しすることができた。後期より給食を開始することとした。	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	食事形態見直し 適温確認	満足度調査	食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができていた。適時適温がで、満足度調査80%満足が得られる治療食の幅を広げる	B
8	(1)(3)	⑨職員への健康、体調管理	⑫栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を他職種連携で実施する	看護師 栄養士 調理員	計画	ケアマネジメント カンファレンス 評価					B	計画通り実施することができた。	食事形態見直し 適温確認						病状や健康状態に合わせた食事提供を実施でき、入院者を減らす	B	栄養ケアマネジメントを施設サービス計画書と連動させたことで、計画とケアサービスの提供内容の整合性を図った。多職種間のチームケアを推進することができた。
			⑬入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画、実施(アクティビティ委員会・給食担当)	栄養士 アクティビティ委員会	計画	開設記念 20日目の 憲法記念日	買い物外出	海の日 流しソーマン	お盆 北野神社祭	敬老の日 秋分の日		B	計画通り実施することができた。	体育の日 文化の日 労働感謝の日	クリスマス 忘年会 天皇誕生日	おせち料理 成人の日	節分 建国記念日 満足度調査	ひな祭り 春分の日 満足度調査	満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価	B	・不足食器の購入一購入の検討し予算確保した。R2年度で購入。 ・祝い膳の提示→実施できた ・季節感のある献立→実施できた ・栄養士による手作りおやつ→予定通り実施できた
9	(1)	心身の機能低下防止と活動の活性化	⑭個別リハビリ・集団リハビリを実施し心身機能低下防止を図る(アクティビティ委員会)	アクティビティ委員会	計画	計画作成	モニタリング 学習療法者の見直し	モニタリング	モニタリング	モニタリング	D	未実施	前期評価						ADLの維持が70%	D	個別リハビリ・集団リハビリは日常的に実施できず、生活動作リハビリにとどまる。
			⑮入居者の喜びや楽しみにつながる役割づくり(レクリエーション)や行事の計画、実施(アクティビティ委員会)	アクティビティ委員会 各担当	計画	手作り昼食	花見 チャレンジデー	買い物 運動会見学	さつき祭 流しソーマン	北野神社祭 夕涼み会 味噌煮込み鍋	買い物 手作り昼食	B	概ね計画通り実施することができた。	チャレンジデー	手作り昼食	クリスマス 餅つき&忘年会	豆まき 満足度調査	ひな祭り 年間報告	毎月のレクリエーションを実施 満足度調査で80%が良いの評価	B	予定通り実施することができた。
10	(2)	平穏で楽しい暮らしづくり	⑯日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、思い出をつくる	主任 担当者	計画	手作り昼食			さつき祭 流しソーマン	夕涼み会	B	概ね計画通り実施することができた。	手作り昼食	餅つき&忘年会					楽しく、笑顔あふれる思い出ができる全職員が楽しめる行事が掲載できる	B	予定通り実施することができた。
			⑰介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくりをする	リーダー 主任 各担当	計画	モニタリング アセスメント						D	研修は実施したが、実施に至らず。							担当入居者の介護過程の展開ができる	S

令和元年度 小規模多機能ホームぬくもりの家えん事業報告

1. 総括

今年度も昨年度から引き続き、6つの目標を立て取り組んだ。

(1) 安全で安心できる生活が送れるように根拠に基づいたケアを提供する

毎月のカンファレンスとケア内容の見直しにより、停止者は5名と少なく、脱水や栄養状態悪化など体調不良からの停止者はいなかった。

事故予防は、リスクマネジメント委員会を中心に「昨年度より事故件数20%減少」と「薬に関する事故を50%減少」を目標に取り組んだ。しかし、事故件数は昨年51件に対し55件と8%増加した。特に内服薬に関する事故が多く、29件と事故全体の53%を占めている。人為的ミスが要因で、チェック体制の見直しにより下半期の事故件数は減少しているため、今後も継続した対応を行う。

転倒を繰り返している利用者に対して、同法人内の理学療法士の評価を受けて、環境整備し転倒せず過ごせている。また、訪問リハビリと連携していたが、自宅で転倒し大腿骨骨折で1名入院した。迅速な対応が必要だったと考える。

今後も、他職種と協働し、自宅の環境整備・日頃の体調確認・予測される変化の迅速な対応の必要性を、改めて感じた。

(2) その人をよく知り、個人が尊厳を持ち自立して生活できるよう支援する

今年度も自立支援・在宅生活が継続出来る事を目指し、認知症予防の学習療法(5名)と、ADL維持向上のため毎日の集団体操を行った。

アクティビティでは、季節毎の創作物やレクリエーションの種類を増やしたこともあり、満足度が昨年76%で、今年度も78%と高評価を得た。年間行事の充実を図り、利用者の喜びや楽しみにつながっている。

(3) 職員ひとり一人がプロとして知識・技術・意識を持ち、利用者に求められる人材となる努力と、その育成に努める

平成29年度より勤務年数に応じ階級別研修を例年通り実施し、専門性の向上を図った。

(4) 知識・技術の専門性を持ち、共に高め合い主体性を持ったチームと働きがいのある職場をつくる

働きやすい職場を目指しリフレッシュを目的に、7連休・有給取得を計画・実施することが出来た。産休・育児休暇中のスタッフがいる中、チームとして協力し合い、退職者もいなかった。

介護過程の展開を、常勤職員が1ケースずつ計画・実行・評価することができた。計画作成にあたり、担当利用者の疾患から予測されることを自ら考え、成果を感じる事ができた事は職員のモチベーションに繋がった。

(5) 地域住民・家族・関係機関との協働による施設運営に努める

今年度も学習療法サポーターへのフォローアップ研修を、法人内他事業所と共に開催を

計画したが、新型コロナ感染予防のため実施を見合わせた。代わりに、各サポーターに対してアンケートを実施した。

地域との連携による緊急時の体制作りの一歩として、地域住民と協働での避難訓練を実施し、意見交換が出来た。

(6) 法令遵守と適正利益の確保を図り、経営の安定に努める

今年度の新規利用者は5名（法人居宅の紹介 3名、鷹栖町地域包括支援センター 1名、地域住民 1名）あった。

法人内居宅からの紹介が半数を超えており、定期的な情報共有の機会をつくるのが有効だったと考える。

月平均登録者数は24.4名と目標の23.5名に達し、昨年度より多い収益を確保することができた。

2. 次年度に向けて

令和2年度は、重点目標を①小規模多機能サービスの内容を充実させ、目標利用者を確保する②健康管理を徹底し、地域・自宅で生活し続けられるケアの提供③適正利益の確保の3つとして取り組む。

満足度調査においても、アクティビティに関する項目が満足度78%と昨年より上昇している。今後も、アクティビティの内容を充実させ、通うのが楽しみになる魅力ある事業所づくりをし、最重要課題とし取り組む。

また、担当利用者に対し、介護過程の展開の実施により、アセスメント・プラン作成を通して、職員の育成をしていきたい。

介護過程の展開を通して、日々気づいたことを話し合えるチームをつくり、各職員が責任を持ち活き活きと働け、チームとしての力が発揮出来る職場づくりを目指す。

適正利益の確保のため登録数は、平均登録者数23.5名とする。同法人内居宅との連携を密にし、地域への周知活動と、医療機関等との連携を図り、新規利用者の確保に努める。

3. 運営状況・統計資料

<事業活動の統計・データ>

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月3日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・オペレーションについて・モニタリング	7名
5月8日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて 事故の検討	8名

6月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・行事計画・委員会について	7名
7月3日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・行事計画・委員会について	9名
8月7日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・行事計画・委員会について	8名
9月4日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・業務について	7名
10月2日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・業務について	7名
11月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療について・介護過程の展開	7名
12月4日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・オペレーション・医療について・介護過程の展開	7名
1月8日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・モニタリング・医療について・介護過程の展開	8名
2月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・オペレーションについて・医療について・介護過程の展開	7名
3月4日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・モニタリング・医療について・介護過程の展開	7名

(2) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所
5/1	開設記念日	てくてく
5/3～5/5	菖蒲湯	小規模
5/7～9	お花見ツアー	春光台公園
5/29	チャレンジデー	小規模リビング
6/14	花壇整備	
6/15	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園
6/19～21	買い物ツアー	旭川西イオン
7/14	さつき祭見学	さつき苑
7/31	流しそうめん	小規模リビング
8/2	夕涼み会	えん 駐車場
8/4	獅子舞見学	えん 駐車場
8/8	慰霊祭	戦没者慰霊之塔前

8/22	味覚祭&ボランティアの集い	てくてく
9/13.18.19	買い物ツアー	旭川西イオン
9/25～26	鷹栖高校初任者研修実習	小規模
10/3～4	鷹栖中学校キャリアウィーク	小規模
10/8.9	紅葉ツアー&買い物	護国神社・ツルハ
10/14	チャレンジデー	小規模
10/24	大正琴演奏	てくてく
10/23～25	りんご湯	小規模
12/7	大掃除	小規模
12/19～21	ゆず湯	小規模
12/24	クリスマス会	てくてく
12/26	忘年会	てくてく
1/6～8	初詣	鷹栖神社
2/3	豆まき	てくてく
3/3	ひな祭り	小規模リビング

(3) 手作りおやつ

月	内 容
10/25	蒸しパン

(4) 昼食づくり

月	内 容
4/18	お好み焼き・焼きそば
7/31	お稲荷
11/13	秋野菜カレー・野菜サラダ
2/21	シーフードカレー・野菜サラダ・コンソメスープ

令和元年度 小規模多機能ホーム

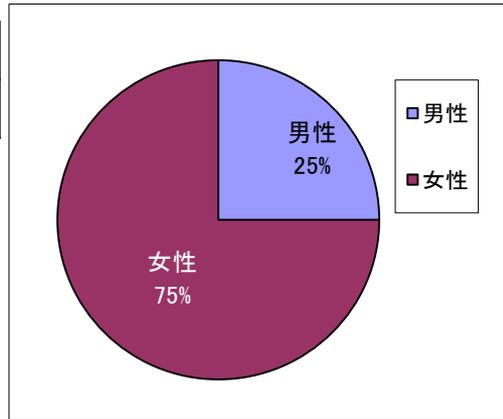
ぬくもりの家えん

現況報告書

(自：平成31年4月1日 ～ 至：令和2年3月31日)

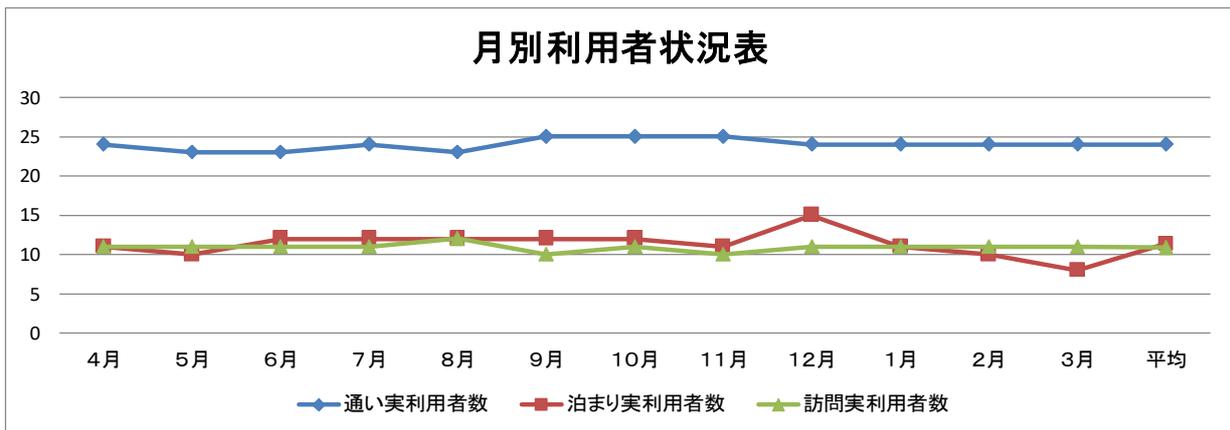
1. 利用登録者（令和2年3月31日現在）

男性	女性	合計
6	18	24



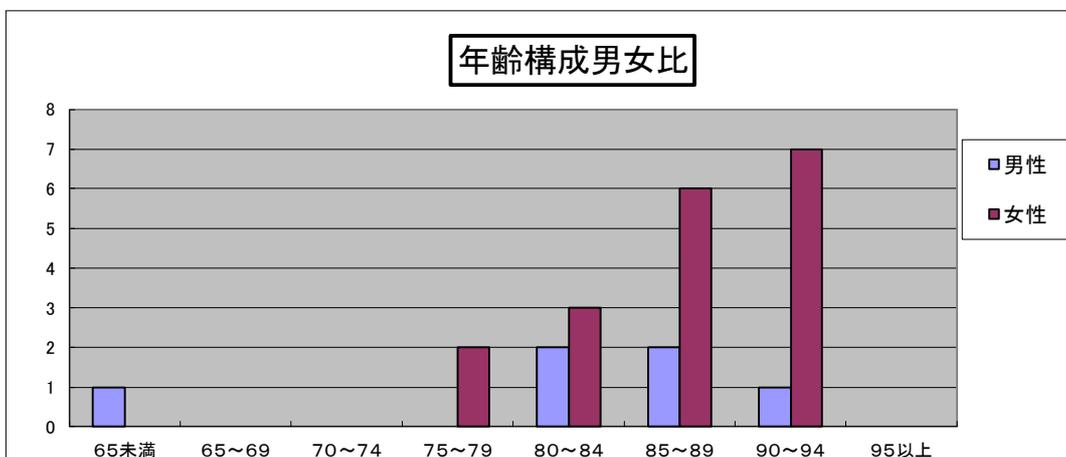
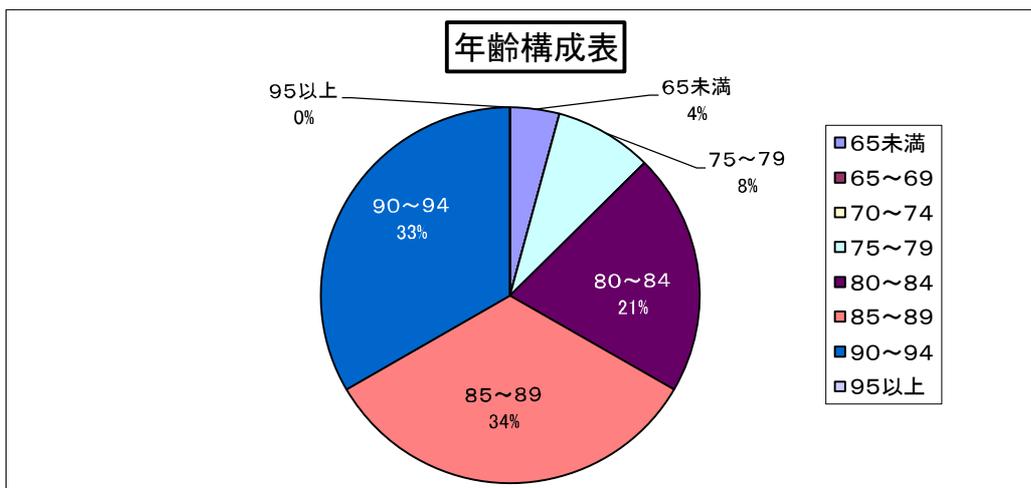
2. 月別利用者状況

月	通い実利用者数	泊まり実利用者数	訪問実利用者数	入院者	休止者	停止者
4月	24	11	11	2	0	2
5月	23	10	11	0	0	0
6月	23	12	11	0	0	0
7月	24	12	11	1	0	1
8月	23	12	12	0	0	0
9月	25	12	10	1	0	0
10月	25	12	11	2	0	1
11月	25	11	10	1	0	1
12月	24	15	11	1	0	0
1月	24	11	11	1	0	0
2月	24	10	11	2	0	0
3月	24	8	11	2	0	1
平均	24	11	11	1	0	1



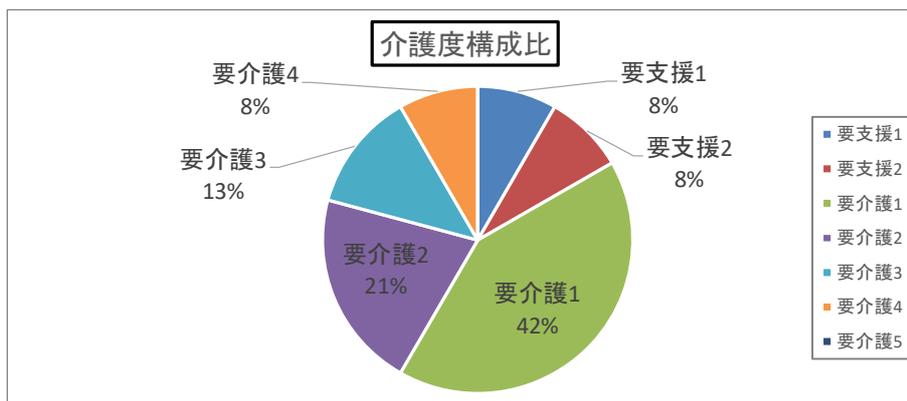
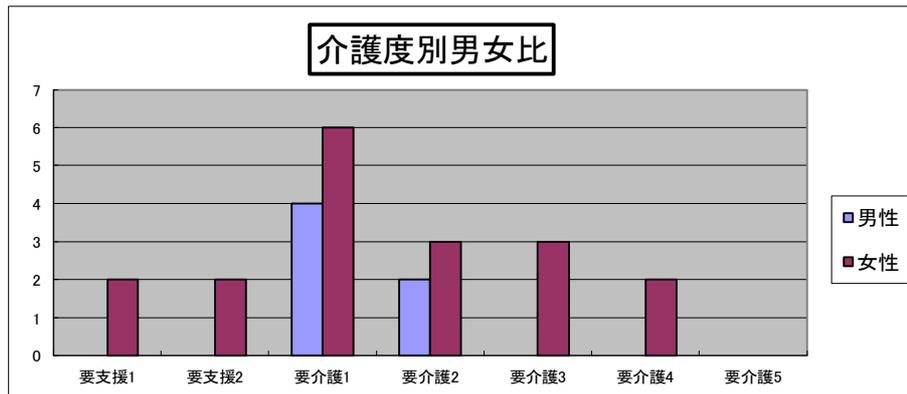
3. 年齡

	男性	女性	合計
65未満	1	0	1
65~69	0	0	0
70~74	0	0	0
75~79	0	2	2
80~84	2	3	5
85~89	2	6	8
90~94	1	7	8
95以上	0	0	0
合計	6	18	24
平均年齢	85.3	87.5	86.4
最高年齢	91	93	
最低年齢	64	78	



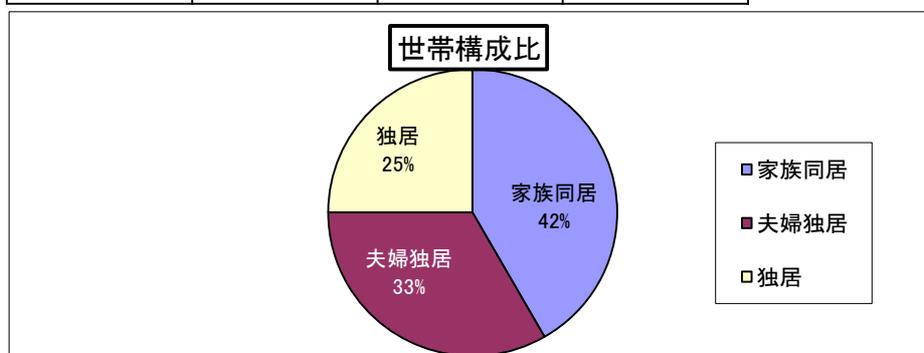
4. 要介護度別

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	2	2	8%
要支援2	0	2	2	8%
要介護1	4	6	10	42%
要介護2	2	3	5	21%
要介護3	0	3	3	13%
要介護4	0	2	2	8%
要介護5	0	0	0	0%
合計	6	18	24	100%



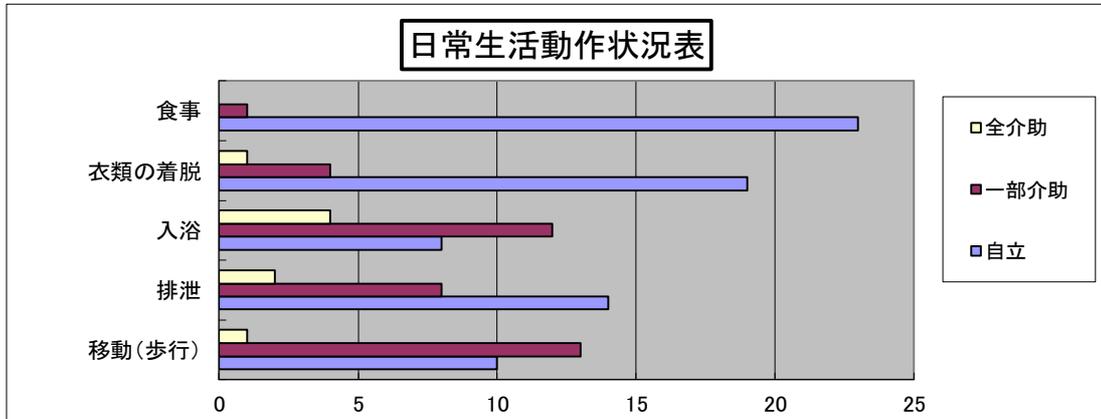
5. 世帯構成

家族同居	夫婦独居	独居	合計
10	8	6	24



6. ADL(日常生活動作)状況

	自立	一部介助	全介助	合計
移動(歩行)	10	13	1	24
排泄	14	8	2	24
入浴	8	12	4	24
衣類の着脱	19	4	1	24
食事	23	1	0	24

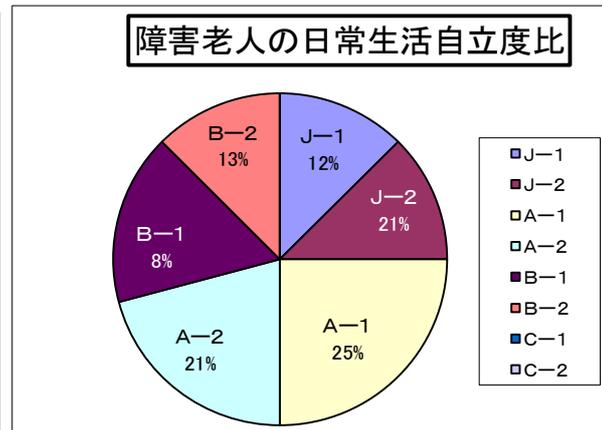
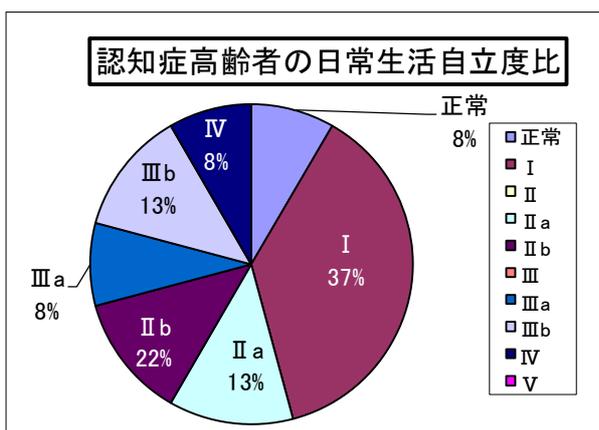


7. 認知症高齢者の日常生活自立度状況

認知度	人数
正常	2
I	9
II	0
II a	3
II b	3
III	0
III a	2
III b	3
IV	2
V	0
合計	24

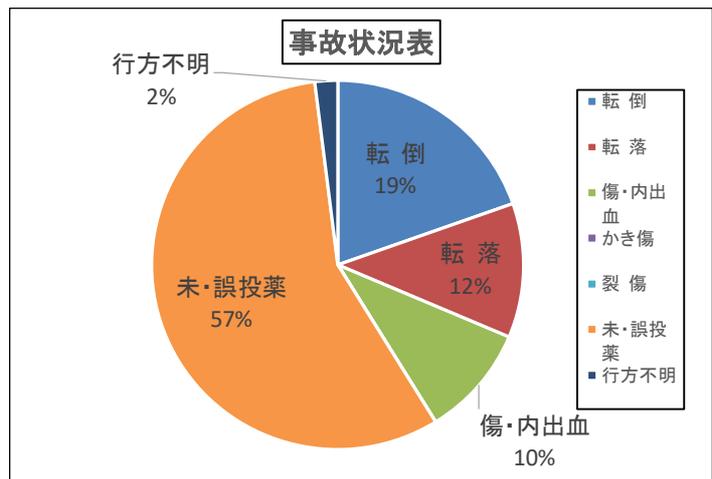
8. 障害老人の日常生活自立度

自立度	人数
J-1	3
J-2	3
A-1	6
A-2	5
B-1	4
B-2	3
C-1	0
C-2	0
合計	24



8. 事故状況

内容	件数
転倒	10
転落	6
傷・内出血	5
かき傷	0
裂傷	0
未・誤投薬	29
行方不明	1
その他	4
合計	55



平成31年度 部門(事業所)別活動計画

印ID
(事業
所)名

小規模多機能ホーム めくもりの家 えん

(評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
18	(1)	心身の機能低下防止と活動の活性化	②利用者の喜びや楽しみにつながる役割づくりとレクリエーションや行事の計画、実施	アクティビティ委員会	計画 年間計画作成 手作り昼食	実施 開設記念花見 手作りおやつ	実施 買い物運動会見学	実施 さき祭 流しうめん 手作り昼食	実施 北野神社祭 夕涼み会 味覚祭	実施 買い物 手作り昼食	B	計画通り実施できている	実施 紅葉狩り 手作りおやつ	実施 手作り昼食	実施 クリスマス会 餅つき&忘 年会	実施 初詣 手作りおやつ	実施 豆まき 手作り昼食 満足度調査	実施 ひな祭り 年間報告	創作系のアクティビティを実施する 満足度調査で80%が良いの評価	B	満足度調査にて78%の評価 だった。
19	(1)	過ごしやすい環境づくり	①共有スペースの整理整頓と、植木に囲まれ季節感と潤いのある生活環境づくり	環境委員会	計画 春のしつらえ	実施 夏への準備	実施 夏のしつらえ	実施 夏のしつらえ	実施 秋の準備	実施 秋のしつらえ	B	計画通り実施できている	実施 冬の準備	実施 冬のしつらえ	実施	実施	実施 満足度調査	実施 年間報告	満足度評価で80%が良いの評価	A	整理整頓と季節感のある空間づくりが出来た。
20	(1)	過ごしやすい環境づくり	②利用者の状態に合わせ、個別に過ごせる空間や、季節感を全ての空間で作れ出す(担当・環境委員会)	環境委員会	計画 居室の環境づくり	実施 チェック	実施 居室の環境づくり	実施 チェック	実施 居室の環境づくり	実施 チェック	D	居室環境の見直しは実施できなかったが、清潔な環境で過ごせる10日間の清掃を行っている	実施 居室の環境づくり	実施 居室の環境づくり	実施 チェック	実施 満足度調査	実施 年間報告	実施	個々に合わせたしつらえと、整理整頓が常にされている	B	整理整頓と季節感のある空間づくりが出来た。
21			①基礎介護知識・技術の研修を法人全体で階層別実施。講師を行う事で自らの知識と人に伝える力、リーダーシップを身につける	能登松本	計画 研修日程周知	実施 実施	実施	実施	実施 トラスファ・褥瘡研修	実施 認知症研修	B	研修日程を変更しているが、実施は出来ている	実施 認知症研修	実施 食事ケア研修	実施 排泄ケア研修	実施 医療知識研修	実施 効果測定テスト	実施	基礎介護力が向上する。 効果測定テストで70点以上	C	医療研修の最終研修が、コロナ感染予防のため中止となった。 効果測定が実施出来ず。
22	(1)	基礎介護力と認知症ケアの向上	②根拠に基づき、記録を確認してカンファレンスを行い、認知症のBPSDを減少させると共に重度に対応したケアの提供と実践	能登松本	計画 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	C	実施出来ている	実施 食事研修 排泄研修	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	実施 ダブルチェック カンファレンス実施	毎月1ケース以上、カンファレンス実施する。	C	毎月1ケースのカンファレンスまでは出来なかったが、必要者は行えた。
23			③外部研修への計画的参加	能登	計画	実施 新任職員研修 介護研究発表会	実施 新任職員研修 介護研究発表会	実施 新任職員研修 介護研究発表会	実施 新任職員研修 介護研究発表会	実施 他施設研修	C	計画通り実施できず	実施 認知症実践者研修	実施 認知症実践者研修	実施 先端ケア研究会	実施	実施	研修に参加し、職場に1つ以上還元し、業務改善やケアを向上する	B	研修報告をし、ケア内容に反映させていた。	
24			①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差がないように統一し、安心して仕事ができるよう新人職員の育成	能登松本	計画 1週間毎の面談 OJT	実施 1週間毎の面談	実施 2週間毎の面談	実施 面談	実施 面談	実施 面談	B	遅れているが実施出来ている	実施	実施	実施	実施	実施	実施	新任職員が辞めることなく成長する	B	新任職員は継続勤務でき、目標も持ち勤務出来ている。
25	(1) (3)	新任職員・現任職員の育成	②現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感を持って、介護過程の展開の実践に取り組む ③指導者のスキルを高め、自信を持って指導できる能力を持つ ④各マニュアルを見直し、誰もがマニュアルを基に行動できる体制づくり	能登松本	計画 役割の確認	実施 役割の確認	実施 介護過程の展開の実践計画 作成 面談	実施 各スタッフと プランニング	実施 介護過程の 展開の実行	実施	D	4月に研修を実施したが、10月に再度研修を実施。計画変更	実施 介護過程の 展開の実行	実施 面談	実施	実施	実施	実施	介護過程の展開の評価	B	現任職員が辞めることなく、成長できる (退職者 H30 1名)
26				能登	計画	実施 入院発生時の 対応マニュアル 作成	実施 既存のマニュアル 確認	実施 マニュアル変更	実施 マニュアル変更	実施 マニュアル作成	D	計画通り実施できず	実施 マニュアル見直し	実施	実施	実施	実施	実施	マニュアル作成・見直し出来る	D	マニュアル作成・見直しが出来ていない。
27			①マナー・モラルの啓発を継続し、良い職場風土づくり	能登松本	計画 マナーモラル啓発(谷本)	実施 マナーモラル啓発(谷本)	実施 マナーモラル啓発(松本)	実施 マナーモラル啓発(山内)	実施 マナーモラル啓発(大船)	実施 マナーモラル啓発(豊河江)	B	計画通り実施できている	実施 マナーモラル啓発(小野)	実施 マナーモラル啓発(仲里)	実施 マナーモラル啓発(山内)	実施 マナーモラル啓発(沼野)	実施 マナーモラル啓発(高橋)	実施 マナーモラル啓発(豊河江)	満足度調査で、マナーやモラルが良いと評価を受ける	B	満足度調査にて95%だった。
28	(1)	働きがいがあり、チームワークの高い職場の風土づくり	②業務改善を迅速に行い、ストレスにならない職場環境づくり(ストレスマネジメント・面談の実施)	能登松本	計画	実施 委員会による見直し	実施 面談	実施 オペレーションの見直し	実施 物品の見直し	実施	B	計画通り実施できている	実施 ストレスマネジ メントの見直し	実施 面談	実施 オペレーションの見直し	実施 物品の見直し	実施	実施	速やかに業務改善が図られ、職員がストレスを感じない	B	オペレーション変更・ケア内容の変更が出来ている。
29			③有給休暇と連休の取得を推進し、職員満足を図る(7連休の取得を目指す)	能登松本	計画 連休の希望確認	実施 連休の希望確認	実施 7連休取得	実施 7連休取得	実施 7連休取得	実施 7連休取得	B	計画通り実施できている	実施	実施	実施	実施	実施	実施	常勤職員全員が7連休を取得できる	B	全員有給休暇が取得できた。
30	(2)	ご家族・住民との協働	①地域住民の学習療法サポーターの育成を行い、役割と生きがいをつくる。また、サポーター間の意見交換や実施報告等の機会を設ける	豊河江	計画	実施 味覚祭とボランティアの交流会	実施 学習療法サポーター交流会	実施 ボランティアとの集いは実施出来た。	実施	C	ボランティアとの集いは実施出来た。	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	実施 友の会との交流会	ボランティアとの交流が継続できる。 学習療法サポーター交流会の実施	C	学習療法サポーターとの交流会がコロナ感染予防のため延期となった。
31			②運営推進会議開催と、第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた施設運営	能登谷本	計画	実施 運営推進会議 開催 家族会 開催	実施 運営推進会議 開催	実施 友の会勉強会・実務会	実施 運営推進会議	実施 運営推進会議	B	計画通り実施できている	実施 運営推進会議	実施 友の会5周年 家族会 1月に実施	実施 運営推進会議 外部評価	実施 運営推進会議 友の会総会	実施 運営推進会議 友の会総会	実施	計画通りの実施ができる	B	コロナ感染予防のため3月の実施が行えなかったが、それ以外は計画通り実施出来た。
32	(4)	役割の見直しと業務改善を図る	①仕事の見える化を行い、職能毎の役割の見直しを行う	能登松本	計画 業務内容のリストアップ	実施 役割見直し	実施 役割見直し	実施 日常業務見直し	実施 日常業務見直し	実施 日常業務見直し	D	役割分担の見直しは未実施。業務改善は随時行っている	実施 役割見直し	実施 役割見直し	実施 役割見直し	実施 役割見直し	実施 役割見直し	実施 役割見直し	職能毎の役割の見直しが出来る	D	各役割を考慮実施・行動が出来ていた。
33			②仕事の見える化を行い、役割分担の見直しを促し、業務の改善を図る	能登松本	計画 業務内容のリストアップ	実施 役割分担見直し	実施 業務改善への取り組み	実施	実施	実施	D	役割分担の見直しは未実施。業務改善は随時行っている	実施 業務改善への取り組み	実施	実施	実施	実施	実施	業務分担の見直しと業務改善が出来た	C	役割分担の見直しは未実施。業務改善は随時行っている
34	(4)	書類の整理整頓と業務マニュアルを作成し、仕事の質の均一化と合理化を図る	①書類のファイリングと整理を行い、書類検索の効率を上げる	能登松本	計画	実施 書類整理とファイリング	実施	実施	実施	実施	D	整理出来ていない	実施	実施	実施	実施	実施	実施	書類のファイリングが出来た	D	未実施
35			②業務マニュアルの見直しと作成を行い、仕事の均一化を図る	能登松本	計画	実施 業務マニュアルの見直し・作成	実施	実施	実施	実施	D	実施できていない	実施	実施	実施	実施	実施	実施	業務マニュアルの見直しが10項目出来る	D	未実施
36	(5)	適正収益の確保	①②利用者目標人数23.5名(H30年度実績22.8名)。新規登録者を10名増やす。市内の居宅支援事業所・病院の相談室・老人保健施設を訪問し、新規利用につなげる	能登松本	計画	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	A	地域への啓発活動は未実施。 前期実績平均登録者数24.4人で目標人数はクリアしている。	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	実施 業績管理による分析(毎月)	登録者数23.5名。 毎月の地域ケア会議への参加と年3回の訪問実施	A	登録者数24.4名。 同法人内の居宅支援事業所からの情報提供があり、紹介が多かった。 地域ケア会議の参加は出来ていたが、年3回の訪問は実施出来なかった。
37			③町内の各団体(民生委員など)への説明会を開く	能登	計画	実施 100%	実施 97.90%	実施 102.10%	実施 102.10%	実施 106.40%	実施 106.40%	D	実施できていない	実施	実施	実施	実施	実施	年2回各団体への説明会の実施	D	未実施。
38			④全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める(前年度比-3%)	環境委員会	計画	実施 発注品・方法の見直し	実施 発注品・方法の見直し	実施 発注品・方法の見直し	実施 発注品・方法の見直し	実施 発注品・方法の見直し	B	LED照明器具への変更と日頃の節約で光熱費の減らしている	実施 コスト見直し	実施	実施	実施	実施	実施	前年度比-3%	B	節約に努めた。

令和元年度 サービス付き高齢者向け住宅ぬくもりの家たかほ 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

「入居者個々の能力を活かしながら安心・安全に過ごすことのできる住まい」と「自立した尊厳ある暮らし」の実現を目指した。

入居者のADL・QOLの向上については、平均要介護度でみると昨年度の1.01に対し、今年度は1.00と僅かながら向上している。要支援と要介護の人数はほぼ横ばいで推移しているが、状態の変化に伴う区分変更も多く、状態の維持・改善が達成されたとは評価できない。要支援から要介護への移行の要因のひとつに、認知症の進行がある。入居者の状態観察を的確に行い、ヘルパーやデイサービス、訪問看護といった在宅サービス導入の必要性を見極めることが次年度の課題であり、日々の「安否確認」と「生活相談」を通して情報収集を図る。

昨年度から継続してフィットネスクラブの活用推進、あったかすりハビリ体操教室やふまねっと教室の開催等、身体を動かす機会の提供と習慣につなげるための働きかけを行っている。体操教室やふまねっと教室については参加率も安定しており、定期的な運動機会の確保および交流を通して地域とのつながりを持つことができた。フィットネスクラブの活用については都度声かけを行い、定期的な利用につながった入居者もいるが、登録人数（7名）を伸ばすには至らなかった。法人PTとも連携し、引き続き入居者の健康管理と介護予防の知識の向上を図るための手段として利用促進をすすめていく。

地域支援コーディネーターとしての役割を通して、北野サロンや町内会等の協力を得ながら、地域とのつながりを感じられる行事を計画的に取り組んだ。継続で行った行事の他に、新たな取り組みとして東町内会との流しそうめん会を実施し、内外で好評を得ることができた。また、年齢を重ねても認知症になっても役割を持ちながら過ごすことのできる環境づくりを目指した「大丈夫かな!?食堂」の実施協力を行い、入居者が生き生きと活動に参加することができた。引き続き入居者個々の趣味や得意分野を活かした関わりに取り組んでいくとともに、自己決定できる環境の整備と、個々の能力の維持・向上を目指していく。

事故については、事故のない月が年間を通して1ヶ月のみで、多い月は4件発生した。今年は総数26件で、昨年と比べ減少しているものの同じ入居者の転倒・転落事故が目立った。都度環境整備やサービスの入り方を検討・調整したが根本的な解決に至らず。目の行き届かない時間が多く存在する点をどのように改善するかが、今後の大きな課題である。また、支援方法の組み立てを迅速にできるか否かが重要と思われる。受診が必要な大きな怪我につながる事故は2件と少なかったが、外出中の事故が2件あり、そのうち1件は警察が介入する事故であった。緊急時の連絡体制や対応についてマニュアルを見直し、職員への周知・徹底を図っている。

全国的な新型コロナウイルス感染症の流行により、2月後半から全入居者の検温を実施。前年

度は5名の入居者がインフルエンザに罹患したが、毎日の消毒作業および入居者への衛生管理を徹底することにより、インフルエンザ発症者はいなかった。引き続き入居者やサ高住（フィットネス・地域交流スペース利用者含む）に出入りする業者を含めた来訪者と全スタッフへの手洗い・うがいの励行、手指消毒、体調管理およびマスク着用の周知・徹底に努め、感染者を一人も出すことがないよう努める。

入院については年間の延べ入院者数は10名以内、年間入院延べ日数を100日以内とすることを目標に取り組んだ。しかし延べ入院者数は年間で16名、年間入院延べ日数は263日とそれぞれ目標を大幅に超える結果となった。実人数としては入院者9名のうち、同じ入居者が6回入退院を繰り返した。医療ソーシャルワーカーとの連携を密に図り、IC（インフォームドコンセント）へ同席し、入院期間が長期化しないよう努めたが、結果には結びつかなかった。引き続き個々の既往歴・現病歴の把握と疾患に対する理解に努め、かかりつけ医との情報共有・連携を強化していく。

退居者は2名で、両者とも入院から特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑のショートステイを経て入居に至ったものであった。法人サービス間の連携がスムーズにいった反面、介護度の上昇した入居者が安心して過ごせる場所としてサ高住が十分に機能できない事実も浮かび上がった。

食事の提供については、多くの入居者が自力での配膳・下膳を行うことができているが、車椅子やカート使用者も増えつつある。それに伴い一部支援が必要な入居者もあり、夜間管理当直員にかかる負担が大きくなっている。支援の必要性を見極めながら、ヘルパーの導入を調整する。

入居者同士の関係性については良好な関係性を築けている方がほとんどだが、認知症の進行による入居者同士のトラブル（一方が物盗られ妄想あり）も生じている。都度相談員が間に入り距離を置くようすすめるも、お互いに忘れてしまうため同じ状況を繰り返し、家族を巻き込んだトラブルに発展することもあった。家族の協力を得て物忘れ外来の受診を勧めたり、盗られたと思われている物を一緒に捜す等しているが、根本的な解決には至らず。今後も認知症の進行が関係性の構築に影響を与えるケースが増えることが予測されるため、個々の言動に留意し丁寧に対応していく。

適正利益の確保については、10ヶ月間は退居者なく実績稼働率100%を維持していたが、2月に続けて2名の退居者があり、平均稼働率98.6%となった。待機者は最大で7名いたが保留の返答が続き、今年度中は1名のみの新規入居に留まった。次年度の課題として、待機者の住み替えの必要性についてこまめに状況確認しておくことがあげられる。

また、2019年10月から消費税が上がり、家賃及び管理費、食費以外の費用を増税分追加している。今後も光熱水費の推移を都度確認し、経費節減に努める。

2. 展望（次年度に向けて）

次年度に向けては、自立した生活が継続出来るよう、今年度同様ADL・IADL・QOLの維持

向上に努める。入居者への介助の比重が大きくなりつつある状況にあるが、安心して長く暮らせる住宅としての機能を維持できるよう、必要なサービスを細かく見極め、迅速な対応を心がける。

役割のある暮らしについても、地域住民やサロンと連携しながら個々の能力や興味のある事柄を見定めながら活躍の場を提供する。

健康管理においては感染症予防対策を重点的に行い、サ高住がクラスターとならないよう入居者の意識改革および正しい知識の習得を支援する。昨年に引き続きトータルケアを実施し、他事業所との連携を密にしながら入居者個々の健康面のサポート強化に努める。

事故に関しては同じ入居者の事故の繰り返しを防ぐことを目指し、訪問リハビリや、福祉用具専門相談員、法人PTの協力を得ながら個々の生活環境の見直しを適宜行う。

適正利益の確保については、サ高住への入居を希望する層の特徴として自宅での独居が難しい状況にある方、要支援の段階からの転居よりも、要介護になってからの“過ごしにくさ”を感じ始めた方の転居の方が、気持ちの面での区切りもつけやすい傾向にあると考えられる。入居者確保のため、地域包括支援センターへの営業活動はもちろんのこと、居宅介護支援事業所への営業活動も視野に入れ、計画的に実施し、18名の入居を必達・維持することを目標とする（目標稼働率97%、17.5戸）。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①入居率

目標入居率 (A)	実際入居率 (B)	達成率(B)/(A)×100
17.5名	17.8%	98.6%

②事業収入

目標収入 (A)	実際収入 (B)	差異(B)-(A)
23,936,000円	27,840,973円	3,904,973円

(2) 行事

日 時	行 事 名	場 所
令和元年5月5日	手作り昼食	食堂
令和元年5月26日	町内会花植え	町内会花壇
令和元年5月29日	チャレンジデー	食堂
令和元年5月30日	花壇整備	たかほ花壇
令和元年7月14日	さつき祭観覧ツアー	さつき苑
令和元年7月21日	納涼流しそうめん会	たかほ駐車場
令和元年7月21日	夏のお茶会	食堂
令和元年8月7日	ローソクもらい	各部屋
令和元年8月14日	焼肉昼食会	あえーる
令和元年8月16日	北野地区盆踊り	北野地区住民センター
令和元年9月24日	カタラーナ料理教室	あえーる
令和元年9月27日	サロン交流会 (ボッチャ)	鷹栖地区住民センター

令和元年 10 月 14 日	秋のチャレンジデー	食堂
令和元年 10 月 28 日	ちょっとだいじょうぶかな!? 食堂 (プレ)	あえーる
令和元年 11 月 11 日	ちょっとだいじょうぶかな!? 食堂 (本番)	あえーる
令和元年 12 月 14 日	ほろ酔いマルシェ in あえーる	あえーる
令和元年 12 月 15 日	年末大掃除・運営懇親会・忘年会	食堂
令和元年 12 月 20 日	たかほサロンクリスマス会	あえーる
令和元年 12 月 27 日	餅つき in さつき苑	さつき苑
令和 2 年 2 月 3 日	豆まき	各部屋・食堂

(3) たかほ会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 31 年 4 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 (更新結果、新規入居者の近況、待機登録者 等) 事業活動計画進捗状況 (行事の日程と詳細) 設備管理 (挨拶と清潔への取り組み) 今月、来月の予定 (視察・見学関係) 	9 名
令和元年 5 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 (更新結果、新規入居者の近況、待機登録者 等) 事業活動計画進捗状況 (営業活動) 設備管理 (電気保安点検、調理スタッフ新規雇用) 今月、来月の予定 (視察・見学関係、避難訓練) 	9 名
令和元年 6 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 (更新結果、環境整備 等) 事業活動計画進捗状況 (行事の日程と詳細) 設備管理 (プランター寄せ植え) 今月、来月の予定 (視察・見学関係、救急救命講習) 	9 名
令和元年 7 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 (区分変更、認知症状進行への対応、後見人制度、役場への電話相談 等) 事業活動計画進捗状況 (行事の日程と詳細) 設備管理 (電気保安点検、エレベーター保守点検) 	9 名

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、さつき祭観覧ツアー、納涼流しそうめん会 等） 	
令和元年 8 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（退院後のサービス内容、車椅子自走への移行経過 等） ・ 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、ローソクもらい実施報告 等） ・ 特定処遇改善加算の配分対象、配分ルールについて 	9 名
令和元年 9 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（入退院を繰り返す入居者の今後の方針、区分変更結果 等） ・ 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） ・ 設備管理（電気保安点検） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、カタラーナ料理教室実施報告、避難訓練 等） 	7 名
令和元年 10 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（屋外での転倒事故の経過及び対応 等） ・ 事業活動計画進捗状況（大掃除、忘年会日程確認） ・ 設備管理（自動ドア保守点検） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、ちょっとだいじょうぶかな!?食堂詳細、立入検査） 	6 名
令和元年 11 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（区分変更、更新結果、風邪流行時の対応 等） ・ 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） ・ 設備管理（立入検査結果報告、電気保安点検） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、ほろ酔いマルシェ、年末大掃除・運営懇親会詳細 等） 	6 名
令和元年 12 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（退院後の対応、入院者の近況報告、認知症状進行への対応 等） ・ 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） ・ 設備管理（消防設備点検） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、さつき苑餅つき） 	6 名
令和 2 年 1 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況（認知症状進行への対応、更新結果、車椅子使用への移行 等） ・ 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） ・ 設備管理（電気保安点検） ・ 今月、来月の予定（視察・見学関係、外国人実習生受け入れについて） 	6 名

令和2年2月12日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況（認知症状進行への対応、区分変更申請について等） 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） 設備管理（パソコンのバージョンアップ） 今月、来月の予定（視察・見学関係、ちょっとだいじょうぶかな!?食堂、外国人実習生受け入れ延長） 	6名
令和2年3月4日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況（退居者について、認知症状進行への対応等） 事業活動計画進捗状況（行事の日程と詳細） 設備管理（電気保安点検、ハウスクリーニング） 今月、来月の予定（感染症によるコレカラ・あえーる休館、今後の予防対応策について） 	5名

（4）運営会議（計10回）

月 日	議題内容	参加人数
平成31年4月19日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（フィットネス壁修繕、朝の引継ぎについて、コレカラプログラム変更） 今月、来月の予定 視察依頼、予定 	2名
令和元年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（フィットネス目隠し、ローソクもらい打ち合わせ） 今月、来月の予定（花壇整備日程） 視察依頼、予定 	2名
令和元年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（ローソクもらい打ち合わせ） 事故、ヒヤリハット 今月、来月の予定 視察依頼、予定 	2名
令和元年7月20日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（サ高住入居者の状況） 今月、来月の予定（子ども食堂、コレカラサポーター養成講座、救急救命講習） 視察依頼、予定 	2名
令和元年8月21日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（サ高住入居者の状況） 事故、ヒヤリハット（サ高住入居者1名） 今月、来月の予定（レッドコード申し込み手順等） 視察依頼、予定 	2名
令和元年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> 業績報告 業務改善（サ高住入居者の状況、フィットネス目隠し） 事故、ヒヤリハット（サ高住入居者） 	2名

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今月、来月の予定 ・ 視察依頼、予定 	
令和元年 10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績報告 ・ 業務改善 (サ高住入居者の状況、フィットネス目隠し) ・ 事故、ヒヤリハット (サ高住入居者 1 名) ・ 今月、来月の予定 (ヘルパー食事会) ・ 視察依頼、予定 	3 名
令和元年 11 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績報告 ・ 業務改善 (サ高住入居者の状況、フィットネス目隠し) ・ 今月、来月の予定 (大掃除日程) ・ 視察依頼、予定 	3 名
令和元年 12 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績報告 ・ 業務改善 (サ高住入居者の状況、機械の故障について) ・ 今月、来月の予定 (コレカラ年末年始営業、男の運動教室、排泄作業日程) ・ 視察依頼、予定 	3 名
令和 2 年 1 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績報告 ・ 業務改善 (サ高住入居者の状況) ・ 今月、来月の予定 (高齢者ケア研究会日程確認) ・ 視察依頼、予定 	3 名
令和 2 年 2 月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止	

令和元年度 サービス付き高齢者向け住宅

ぬくもりの家たかほ

現況報告書

(自：平成31年4月1日 ～ 至：令和2年3月31日)

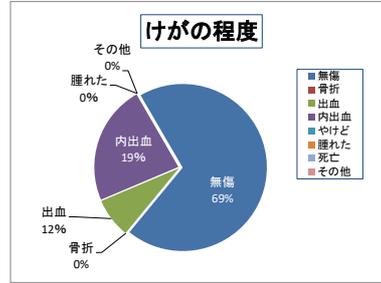
令和元年度 事故発生状況

【事故の内容】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
転倒	21	2		2	3	1	2	1	4	1	2		3
転落	5				1			1		2		1	
ぶつけた	0												
誤飲(誤嚥)	0												
投棄事故	0												
異食	0												
その他	0												
合計	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3

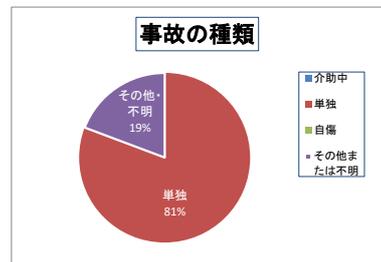
【けがの程度】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
無傷	18	2		1	3	1	1	1	2	2	2	1	2
骨折	0												
出血	2				1		1						
内出血	6			1				1	2	1			1
やけど	0												
腫れた	0												
死亡	0												
その他	0												
合計	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3



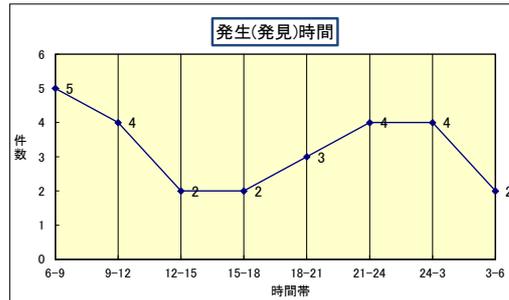
【事故の原因】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介助中	0												
単独	21	1		2	3	1	2	2	3	2	1	1	3
自傷	0												
その他または不明	5	1			1				1	1	1		
合計	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3



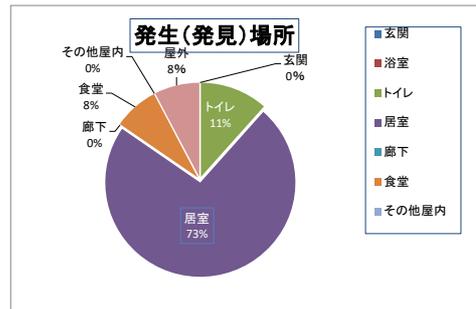
【発生(発見)時間】

時間	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6-9	5				1	1			1	1	1		
9-12	4			1	1						1		1
12-15	2						1		1				
15-18	2			1						1			
18-21	3						1	1	1				
21-24	4	1							1	1			1
24-3	4				2			1					1
3-6	2	1										1	
合計	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3



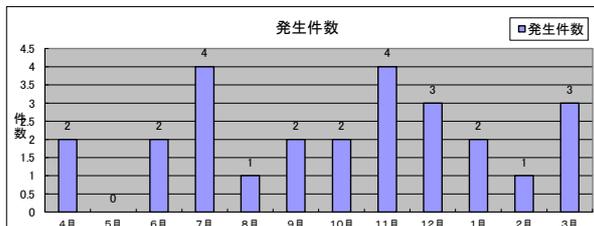
【発生(発見)場所】

場所	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
玄関	0												
浴室	0												
トイレ	3	1						1					1
居室	19	1		2	4	1		1	3	3	1	1	2
廊下	0												
食堂	2								1		1		
その他屋内	0												
屋外	2						2						
不明(後に発見)	0												
合計	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3



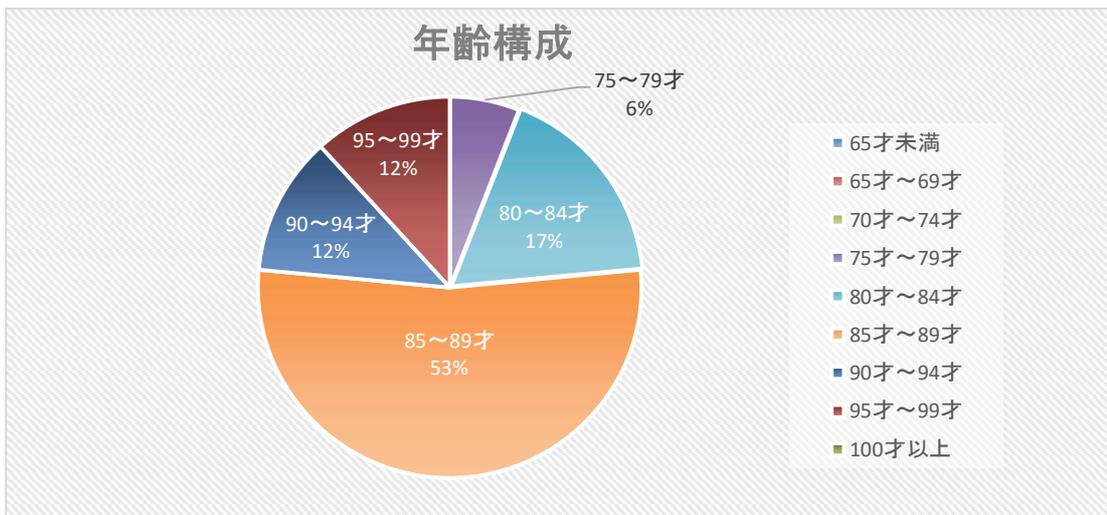
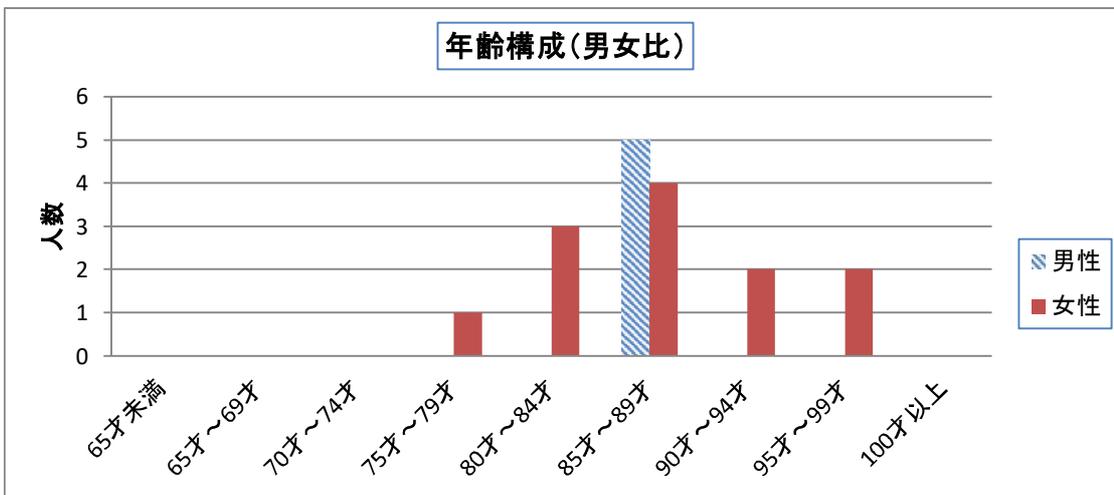
【事故発生・発見件数全体】

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生件数	26	2	0	2	4	1	2	2	4	3	2	1	3
(うち受診をした件数)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1



1.入居者年齢構成(令和2年3月31日現在)

	在籍者			
	男性	女性	計	
65才未満	0	0	0	【最高年齢】 男性 89 歳 女性 96 歳 【最低年齢】 男性 85 歳 女性 79 歳 【平均年齢】 男性 87.2歳 女性 87.7歳 全体 87.5歳
65才～69才	0	0	0	
70才～74才	0	0	0	
75才～79才	0	1	1	
80才～84才	0	3	3	
85才～89才	5	4	9	
90才～94才	0	2	2	
95才～99才	0	2	2	
100才以上	0	0	0	
計	5	12	17	



2.食事状況(令和2年3月31日現在)

	食事状況			合計
	自立	見守り		
男性	4	1		5
女性	12	0		12
合計	16	1		17

3.移動状況(令和2年3月31日現在)

	歩行		杖	歩行器など		車いす使用		合計
	自立	要介助	自立	自立	要介助	自立	要介助	
男性	2	1	1	1	0	0	0	5
女性	6	0	2	2	0	2	0	12
合計	8	1	3	3	0	2	0	17

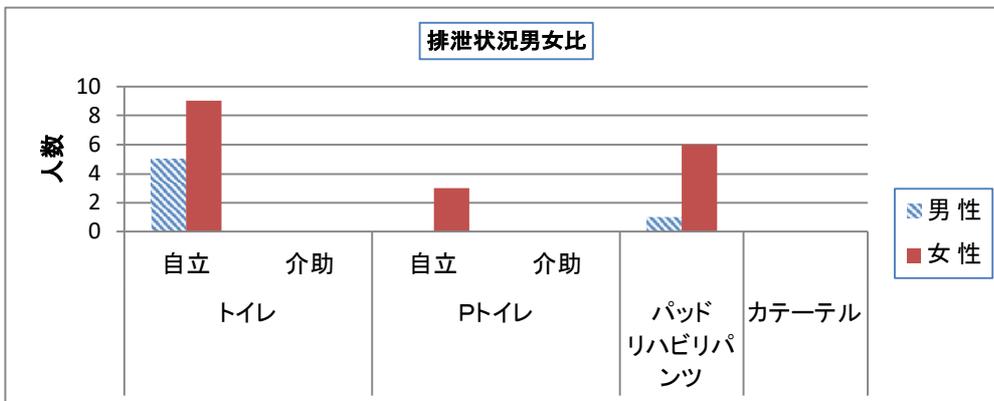
4.入浴状況(令和2年3月31日現在)

	一般浴		車いす浴	合計
	自立	介助		
男性	3	2	0	5
女性	1	11	0	12
合計	4	13	0	17

5.排泄状況(令和2年3月31日現在)

	トイレ		Pトイレ		パッド リハビリパン ツ	カテーテ ル	計
	自立	介助	自立	介助			
男性	5	0	0	0	1	0	6
女性	9	0	3	0	6	0	18
計	14	0	3	0	7	0	24

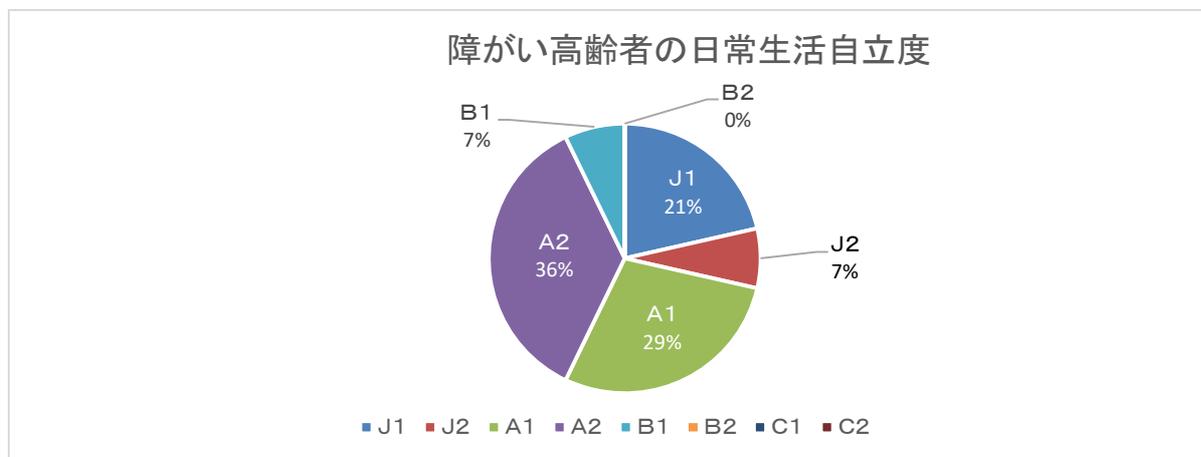
※重複あり



※重複あり

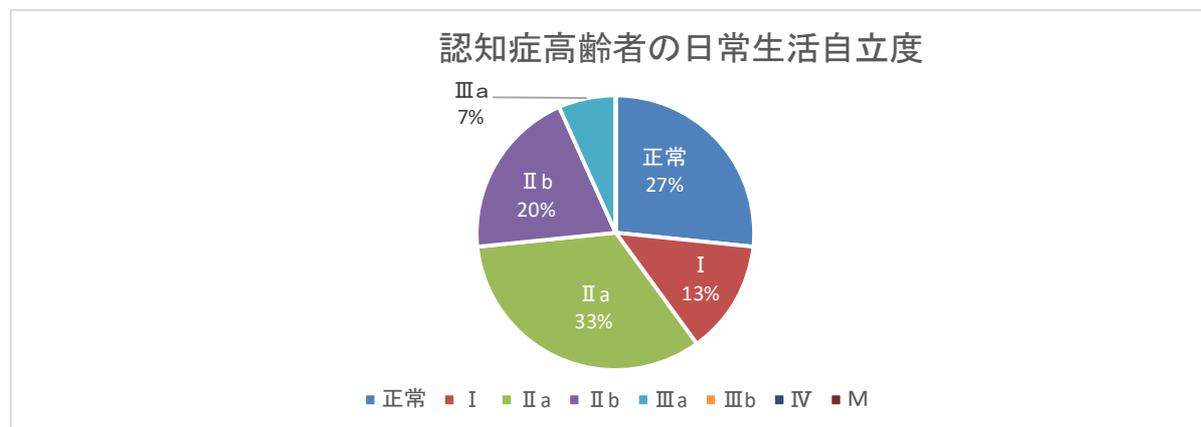
6.身体状況(障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定)

	不明	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	計
男性	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
女性	2	2	0	3	4	1	0	0	0	12
合計	3	3	1	4	5	1	0	0	0	17



7.認知症(精神)状況(認知症高齢者の日常生活自立度判定)

	不明	正常	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	計
男性	1	1	1	2	0	0	0	0	0	5
女性	1	3	1	3	3	1	0	0	0	12
計	2	4	2	5	3	1	0	0	0	17



令和元年度鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

平成31年度は「根拠に基づくサービス提供」「地域・家族との関係強化」「専門性と介護技術向上」の三つに重点をおき取り組んだ。

「根拠に基づくサービス提供」は昨年度に引き続き、サービスの根拠を確認し、アセスメントと照らし合わせ、ケアプランに基づき訪問介護計画書を作成。さらに、サービスの提供方法の標準化・統一を図る為、訪問介護計画書に手順書、留意点を記載することでヘルパー、利用者ともにケアの内容が分かるよう改善した。また、毎日の業務日誌での引き継ぎ、毎月のヘルパー会議でケアの情報共有を図ることを継続したことで、細やかなサービス提供が行えた。

「地域・家族との関係強化」では、ヘルパー茶話会の案内方法を見直した。茶話会の合計参加者は、昨年度よりも少なかったが新規参加者があった。茶話会を行うことで地域の方々に訪問介護について知っていただく機会を持ち、顔見知りになることで困りごとがあった時にも、気軽に相談できる関係性作りにより努めることができた。また、ご家族とは食事会の開催や連絡ノートの活用、ケア方法の提案を行うことで今年度も関係強化でき支援内容への要望や感じたことを直接言ってもらえる関係性へと繋がった。

「専門性と介護技術向上」は、今年度も認知症の有無に関わらず声かけや見守り、また一緒に行うことで安心して家事動作が行え、自立できる支援を行い利用者の残存機能や意欲を引き出すことに努めた。自立支援は利用者、家族、ケアマネジャーへの理解も浸透しつつあり、「共に行う支援」を実践することが出来た。

業績については、年間訪問件数が平成30年度は9,023件に対し令和元年度は10,077件と前年度より1,054件増加した。月間の目標件数は900件であったが平均893.8件と未達成となった。新規利用者は、昨年に引き続き旭川市の方が大きく増加している。(旭川市での平成30年度 月間訪問件数が約26件→令和元年度 約260件) 逆に鷹栖町の利用者減少も昨年同様に見られる。次年度も茶話会での地域住民への周知活動および、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携強化により努める。

2. 展望(次年度に向けて)

令和2年度は、「良いケア、良い職場、よい経営をみんなの力で創る」ことを目標に掲げ、

「良いケア」では利用者へのケア向上のため個々のニーズに合わせた支援、専門職として常に予測されるリスクを考慮し、支援内容を考えケアの見直しを提案・実践していきたい。

「良い職場」では誰もが働きやすく、居心地がいい環境は勿論だが各ヘルパーが提案と実践を行っていくことで、やりがいを感じられる職場作りをすすめる。

「よい経営をみんなの力で創る」ためには、先に述べた「良いケア、良い職場」が不可欠であり、この2点に重点を置き取り組むことで、「よい経営」を継続し安定した利用者の確保と、適正収益が得られるように努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績

(単位 千円)

目標収益 (A)	実際収益 (B)	達成率 (B)/(A)×100	前年度収入 (C)	伸長率 (B)/(C)×100
31,113	35,069	112.7%	30,405	115.3%

(2) 茶話会開催状況

日程・地区	鷹栖地区	鷹栖地区	北斗・北成	北野地区
	6月2日	7月7日	未実施	1月26日
参加人数	13名	13名	未実施	11名

(3) 食事会開催状況

日程	メニュー	参加人数
10月29日	・巻き寿司・稲荷寿司・寄せ鍋・漬けもの・アイスクリーム	29名

(4) ヘルパー研修開催状況

開催日	テーマ	講師	参加人数
4月19日	接遇マナー研修	米澤	7人
5月24日	透析食調理実習	上野	9人
6月27日	救急救命講習	鷹栖消防	11人
7月25日	食中毒の予防研修	己上	10人
8月27日	認知症ケア	谷	5人
9月2日	認知症ケア	谷	3人
9月11日	トランスファー	大矢	6人
9月24日	トランスファー	大矢	2人
9月26日	利用者宅にある食材で作るメニュー	上野	8人
10月22日	食事ケア研修	秋保	8人
11月20日	食事ケア研修	谷本	1人
11月8日	感染症予防・対策研修	藤川・谷水	10人
11月26日	排泄ケア研修	森	9人
2月13日	医療研修	谷水	7人
2月19日	認知症ケア研修	尾上	1人

(5) 外部研修参加状況

開催日	内容	参加者
8月22日	サービス提供責任者講習	米澤・伊藤

(6) ヘルパー会議開催状況

開催日	内容	参加者
平成31年 4月25日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（たかほの行事について、たかほ調理員の予定について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご家族からの要望（2件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
令和元年 5月23日	① 業績報告・活動報告進捗状況（6月茶話会について）業務改善（営業活動について、リフレッシュ休暇について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
6月19日	① 業績報告・活動報告進捗状況（第1回茶話会について、たかほの行事の参加について）業務改善（言葉遣いや利用者宅での会話について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
7月25日	① 業績報告・活動報告進捗状況（第2回茶話会について）業務改善（利用者への引き継ぎ、報告の方法について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
8月22日	① 業績報告・活動報告進捗状況（定期面談について、お食事会について）業務改善（ケアの変更、引き継ぎ、介護保険内のできる支援への理解について）②ケースカンファレンス③事故報告1件④ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
9月26日	① 業績報告・活動報告進捗状況（お食事会について）業務改善（ストーブのフィルターとコード差し込み口の埃に関して、各利用者宅の掃除について）②ケースカンファレンス③事故報告1件④ご本人からの要望（2件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
10月24日	① 業績報告・活動報告進捗状況（お食事会について）業務改善（車輛の管理について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
11月21日	① 業績報告・活動報告進捗状況（第4回茶話会について）業務改善（事故報告について）②ケースカンファレンス③事故報告1件④	10名

	ご本人からの要望（1件）・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	
12月26日	① 業績報告・活動報告進捗状況（第4回茶話会について）業務改善（支援内容変更時に手順について）②ケースカンファレンス③事故報告1件④ご本人からの要望・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
1月23日	① 業績報告・活動報告進捗状況（茶話会報告、事業計画について）業務改善（非常勤職員の賃金改正後について、ヘルパーの言動について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望1件・苦情1件⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
2月28日	① 業績報告・活動報告進捗状況（活動計画・個別研修について）業務改善（印鑑の取り扱いについて）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望2件・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
3月26日	① 業績報告・活動報告進捗状況（令和2年度の事業計画・活動計画について）業務改善（車の除菌について、支給品のボトルの取り扱いについて、訪問時間について、公休について）②ケースカンファレンス③事故報告④ご本人からの要望2件・苦情⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名

(7) 事故発生状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
私物破損	2 件	2 件	1 件
訪問忘れ	0 件	2 件	2 件
苦情	1 件	1 件	1 件
救急搬送	1 件	0 件	0 件
車両関係	1 件	0 件	2 件
転倒など	2 件	2 件	2 件
誤投薬	0 件	1 件	0 件
合計	6 件	8 件	7 件

(8) 平成 31 年度私物破損内容

発生日	内容	原因	対策
3月15日	手が滑り器を落下し破損	不注意	落ち着いて行動する

(9) 平成 31 年度苦情内容

発生日	内容	原因	改善状況
1月21日	訪問介護員の交替について	ヘルパーの言動から不信感を感じた	訪問介護員の交替と利用者の返答確認後に行動することを徹底

(10) 訪問内容別活動時間

(単位 時間)

訪問内容	平成 30 年度月平均時間	平成 31 年度月平均時間
身体介護	378.4	406
生活援助	126.4	76.5
複合介護	120.6	132.8
介護予防訪問介護（予防Ⅰ）	57.4	91.8
介護予防訪問介護（予防Ⅱ）	50.6	78
介護予防訪問介護（予防Ⅲ）	27.4	51
私的契約	7	6.6

平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	中間評価												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①丁寧なアセスメントを行い、課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。	米澤伊藤	計画	← 居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する →						← 居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する →							A	従来のプランを見直し、利用者の自立支援を具体的に盛り込んだプランを選滞なく作成する。	A	新規利用者に関しては、初回または2回目の訪問に合わせて、計画書を作成することができていた。自立支援を行うことができていた。		
			②訪問後の報告を受け、次回訪問時の留意点をヘルパーに伝え、きめの細かいサービスを提供する。	米澤伊藤	計画	← 報告、連絡、相談を迅速に行う →						← 報告、連絡、相談を迅速に行う →							A	ミーティングの内容を業務日誌に記録し、把握した課題を放置せず、改善への取り組み、評価を行うことで利用者の生活改善が実現できる。	A	業務日誌を活用し訪問毎の報告、引き継ぎを十分に行うことができていた。		
			③サービス提供後の効果を把握するため、モニタリングを実施し、サービス提供の効果や変更の必要性について確認する。	米澤上野伊藤	計画	← モニタリングを遅れずに実施する →						← モニタリングを遅れずに実施する →							B	毎月モニタリングと都度ケアマネジャーへの報告を行い、改善点があれば速やかに居宅支援事業所、地域包括支援センターに提案する。	B	概ねモニタリングは行っていたが、不十分な点もあった。		
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	①利用者の残存能力を活かす間わりを、ヘルパーが共通理解するために、自立支援を具体化したサービス手順書を作成する。	伊藤米澤	計画	← 手順書見直し →						← 手順書見直し →							B	訪問介護計画書に手順書を載せ、利用者の「できること」を盛り込み、ヘルパーの支援のポイントを示す手順書を作成する。新規利用者の手順書は初回訪問から3回目の訪問時には作成できる。	B	ほぼ計画書への手順書を盛り込むことは行っているが、未実施のものがある。		
			②定期的な同行訪問を行い、ケアの質の向上やサービス内容の見直しを図ることで業務改善を図る。	伊藤米澤	計画	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	同行訪問	B	同行訪問後、サービス内容の見直しが必要を迅速に判断し1週間内にケアマネへ報告、検討ができる。	B	全利用者への同行訪問は困難であった。今後は年間計画を立てる等の具体策が必要。	
			③ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。	米澤上野伊藤	計画	← カンファレンスの開催 →						← カンファレンスの開催 →							A	支援の困難な利用者のケースカンファレンスを開催し、課題を改善できる。(年間20件以上)	A	毎月のヘルパー会議内、必要に応じてカンファレンスを行い、支援の見直しや引き継ぎを行えた。		
3	(2)	サービス評価と自己研鑽の取り組み	①より質の高いサービス提供ができるよう、各自が目標を立て、会議や研修を通じて個々の能力や技術の向上を図る。	米澤	計画	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修										C	効果測定を年1回行い、自分が立てた目標に対する評価を行うことで自己研鑽ができる。	C	各自の目標に対し内部研修への参加はできていたが、結果としては不十分であった。	
			②利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。	伊藤	計画																D	満足度調査票作成	A	満足度調査は昨年度を大きく上回り、70名全ての利用者「良い」「概ね良い」の回答をいただけた。
			③ケアマネ・家族と連携して、総合記録シートを活用し、健康管理を行い、基礎体力の維持向上を図る。	上野米澤	計画	← ヘルパー会議で体調に関する情報交換 →						← ヘルパー会議で体調に関する情報交換 →							B	健康状況を把握して入院件数を月間3名以下にする。	C	今年度は持病や手術、骨折による入院で、長期入院となる方が多くみられた。		
4	(2)	地域・家族との関係強化の取り組み	②茶話会や食事会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び、地域住民の潜在しているニーズを把握する。	伊藤上野	計画	茶話会準備	茶話会(高住2回)	茶話会準備	茶話会(下旬)											C	年4回の茶話会を開催し、参加延べ人数60名を目標とする。各地域の住民と交流会を行うことで、事業所を知っていただく関係性を築ける。(各回・目標参加者15名)	C	4回予定していた茶話会だが、北斗・北成地区では準備、人員不足から行うことができず、参加人数も各回ともに11～13名だった。	
			①利用者・家族と職員との繋がり大切に、お互いの交流を促進するため、年1回交流会を開催する。	伊藤佐々木	計画				食事会計画書作成	案内文書配布											D	食事会実施14日	A	利用者・家族、35名以上の参加を得る。(H30年度参加者29名)
5	(2)	利用者・家族・職員との交流促進	②入院中の利用者を見舞い、退院後の生活に向け、情報を得る。	米澤上野伊藤	計画	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	お見舞い	D		D	入院中の利用者を見舞い、利用者・家族を励まし、利用再開ができる。(入院に1回以上)	
			①計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得をはかり、事業所内で報告会を行い、内容を共有する。	米澤上野	計画		外部研修参加			外部研修参加											D		C	年2回以上、外部研修に参加し、事業所内報告会で他のヘルパーと知識を共有する。
6	(3)	専門性と介護技術の向上	②ヘルパー会議を月1回定例で開催し、事業所内の問題解決の協議やヘルパー内のケアの統一を図ることで、サービスの質の向上を図る。	米澤上野伊藤	計画	← ヘルパー会議の開催 →						← ヘルパー会議の開催 →							A	ヘルパー会議を月1回開催し、他事業所と連携し、利用者ニーズに即したサービスを提供する。居宅・包括に対しサービス向上について年間10件以上の提案ができる。	A	会議内での協議や、日常的にサービス向上のための提案は十分に行っていた。		
			①面談や訪問記録を通し、業務や人間関係等、抱える問題に気づき、感情労働への配慮・精神衛生・チーム力の向上を図る。	米澤伊藤	計画	訪問記録の活用	面談	訪問記録の活用					面談	訪問記録の活用							B	訪問記録から困難ケースを把握し、ヘルパーに日常的に声をかけることで悩みや課題の早期相談・解決への糸口を探り、深刻化を予防する。	B	個別に意見や思いを伝える。聞ける関係性はチームで保たれていたが、自ら発信できないことへの、配慮は不十分な点もあった。
7	(3)	職場環境の改善	②書庫・事業所内の整理整頓を行い、業務効率をアップさせる。	伊藤上野	計画	書庫整理	手帳確認 マニュアル作成		マニュアル評価 再作成											B	ファイルや書類の整理整頓を行い、業務の効率を上げる。(停止者の事務処理等のマニュアル化を図り、1ヶ月内に受理を行う)	B	書類や、保管物の整理を定期的に行うことができた。	
			①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。	米澤	計画								集団指導参加								A	集団指導の報告から管内の不適切事例等を学び職業倫理を再確認し、接遇マナーに関する苦情をゼロにする。	B	研修や会議、月の目標等でも接遇に関し発信することを行っていたが、接遇マナーに関わる苦情が1件あった。
8	(3)	組織的・総合的な安全確保の推進	②「業務日誌」を活用し、報告・連絡・相談を徹底することにより、注意事項の確認もれを防ぐ。	伊藤上野	計画	← 「業務日誌」の活用 →						← 「業務日誌」の活用 →							B	訪問前の指示、訪問後の報告、連絡を密にすることできめ細かい、サービスの提供ができる。	A	確認、観察すべき点を具体的に伝え指示することで、事業所だけでなくケアマネへの報告、連絡も行っていた。		
			①実績管理の責任・手順を明確にし、月末業務の効率を上げ、請求ミスゼロにする。	米澤	計画		マニュアルの見直し														A		A	日々の訪問チェックを確実にし、月末業務の負担を軽減し、請求ミスゼロにする。
9	(4)	社内業務の標準化・標準化		米澤	計画														A		A	日々の訪問チェックを確実にし、月末業務の負担を軽減し、請求ミスゼロにする。		

平成31年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
9	(4)	社内業務の基準化・標準化	②ヘルパー車の管理・業務のマニュアル化を行うことで、効率的に統一した業務が行えるようにする。	米澤	計画			業務管理マニュアル作成				マニュアルの見直し						マニュアルの評価	公用車の管理手順、業務の手順を作成する。	C	定期的な洗車は行えていなかった。
10	(5)	利用者獲得の為に営業・広報活動を強化する	登録者数65人(H30, 55.5人)新規利用者25人(H30, 28人)月間通～訪問回数900回(H30, 767回)を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。	上野伊藤	計画		具体策検討	具体策検討				具体策検討	具体策検討						茶話会で訪問介護についてのPRを行い、ヘルパー業務の周知を図り、新規利用者25名に繋げる。(H30新規28名)。	A	登録者93名、新規利用者58名と大幅に目標を上回った。月間訪問件数は893.8件と目標達成はできなかった。
11	(5)	適正収益の確保	①目標収益を 34,400,000円(前年度29,364,000円)月間訪問件数900件に掲げ、加算取得・茶話会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行い、サービスの不足している状況がないか確認する。	米澤上野	計画			茶話会	茶話会	茶話会								茶話会	月の訪問件数目標900回/月 目標収益34,400,000円を達成する。	A	収益35,069,061円となり、目標収益は達成できた。

令和元年度 法人本部（給食部門）事業報告

1. 総括

令和元年度は（1）身体の状態に合わせた栄養のある食事の提供（2）衛生管理の徹底（3）個々に配慮した美味しい食事の提供（4）多職種との連携機能の強化（5）予算に合わせた食事の提供の5つを重点目標とし取り組んだ。

（1）身体の状態に合わせた栄養のある食事の提供としては、小規模特養ぬくもり家えんにて「栄養ケアマネジメント」を実施し、低栄養者の体調の改善ができるように取り組んだ。また、なごみの家ではスタッフと協力し、「食事量の低下」や「体重の減少」の変化の情報を共有し改善へ向けて取り組んだ。さらに、嗜好調査や日々の利用者とのコミュニケーションを図り、より利用者の嗜好に沿った食事の提供ができた。

ぬくもりの家たかほ内「あえーる」にて、地域住民を対象に「健康料理教室」を実施し、「栄養と食事」の情報を伝達することができた。

また、法人運営の「地域食堂」も定期的実施し、地域住民の「栄養」と「外出する楽しみ」のきっかけ作りに繋がった。今年度は、法人職員だけでなく、住民と一緒に地域食堂を実施し、昨年度以上に地域の方との関わりを持つことができた。

（2）衛生管理の徹底では厨房内の点検、食中毒予防研修の実施、調理員との定期的な情報交換の実施により、安全で安心な食事提供を心がけ食中毒を起こすことなく提供することができた。

（3）個々に配慮した美味しい食事の提供では、旬の食材を取り入れることで季節を感じていただき、満足感とQOLの向上に繋がるよう取り組んだ。また、ソフト食の見た目・味共に美味しく楽しめる食事の提供を実施するために、今年度より調理に関わる新人スタッフを対象としたソフト食の勉強会を実施し、安全で美味しいソフト食が提供できるよう取り組んだ。他にも、食べにくい食材は酵素を使用し、やわらかく食べやすい工夫をするなど摂食状況に合わせた食事の提供を心がけた。また、病態に合わせ、個別に脂質を抑えた食事の提供を実施することができた。今年度は献立のレシピ表を作成し、味付けの統一を目標としていたが、既存の献立のレシピ表の作成は実施できなかった。

（4）多職種との連携機能の強化では、各事業所の会議への参加や、各担当者との打ち合わせによって情報を共有することができ、食事量の低下が見られる方へ迅速な対応することができた。

この外の取り組みとして、自然排便と免疫力向上の取り組みとして、1日置きに朝食にヨーグルト、夕食に玄米ご飯の提供を継続し、食物繊維の摂取量の増加による自然排便への改善及び免疫力の向上が図られ、感染症を予防することができた。

（5）予算に合わせた食事の提供では、今年度より「食材予算」と「おやつ予算」を分けた事で、食材の管理が明確になった。結果として、昨年度より改善は見られたが、

適正予算内で納めることができなかった。

2. 展望（次年度に向けて）

次年度は、下記の2点を重点として事業に取り組む。

第1点は、今年度実施出来なかった「バラツキが出やすい食事の味付け・調理方法の統一」を目標に、献立のレシピ集を作成し誰が作っても美味しい食事の提供ができるよう改善を図る。レシピ集の作成に調理員も関わる事で、調理員にも仕事のやりがいを見いだしていけるよう取り組む。

第2点は、「適正な予算管理」を目標に、適正価格での食事の提供ができるよう、献立作成・在庫管理・無駄のない食材の仕入れを徹底し改善に取り組む。

3. 運営状況・統計資料

(1) 令和元年度 手作りおやつ・手作り昼食 実施状況

月	日	行事名	内容	金額（円）
4	18	特養えん 手作り昼食	お好み焼き&焼きそば	@291
		小規模えん 手作り昼食	お好み焼き&焼きそば	@291
5	5	たかほ 手作り昼食	助六寿司	@291
		栄養士 手作りおやつ	柏餅のソフト食（よもぎ団子）	@50
5	19	SHなごみ手作りおやつ	手作り八つ橋	@50
8	25	SHなごみ手作りおやつ	手作り八つ橋	@50
8	30	小規模えん 手作りおやつ	一口芋ようかん	@50
9	10	小規模えん 手作り昼食	いなり寿司・豚汁	@291
	13	栄養士 手作りおやつ	お月見水まんじゅう	@50
10	25	小規模えん 手作りおやつ	さつまいも蒸しパン	@50
11	4	GHなごみ 手作り昼食	お好み焼き&焼きそば	@291
	13	小規模えん 手作り昼食	カレー・サラダ	@291
	17	SHなごみ 手作りおやつ	カップケーキ	@50
1	25	小規模えん 手作りおやつ	ホットケーキ	@50
2	16	SHなごみ手作りおやつ	お花見団子	@50
	21	小規模えん 手作り昼食	シーフードカレー・サラダ・スープ	@291
3	3	栄養士 手作りおやつ	桜もちのソフト食	@50

4. 祝祭日の祝膳 年間実施回数

特養えん 行事食	小規模えん 行事食	なごみGH 行事食	なごみSH 行事食	たかほ 行事食
37回	37回	36回	36回	37回

5. 健康料理教室（地域における公益的な活動）

実施日	内容	献立	講師	参加人数
4/26	認知症予防	さば缶のドライカレー トマトと野菜のスープ 大豆とひじきのサラダ えごま油のドレッシング 緑茶プリン	己上	13人
5/17	目指せ筋力アップ	ガパオライス 豆腐のコンソメスープ 筋力アップサラダ きな粉ドレッシング グリーンスムージー	大和田	参加者 11名
6/28	花粉症を和らげる食事	紫蘇ベーゼ風そうめん れんこん団子スープ 人参のグレープフルーツサラダ 豆腐のガトーショコラ	己上	参加者 11名
7/26	食事で疲労回復	米飯&酸辣湯 丸ごとトマトの肉詰め ズッキーニのハーブ焼き マッシュフライドポテト 甘酒おから蒸しパン	大和田	参加者 7名
8/9	サビない身体づくり	雑穀米 モロヘイヤのスープ 鱒と夏野菜の香味ソースかけ トマトとアボカドのサラダ ブルーベリーのレアチーズ風	己上	参加者 11名
9/27	血糖値を上げない食事	しらたきごはんデビシンバ井 ごぼうと舞茸のスープ 紫キャベツのマリネ 豆乳きなこ寒天	己上	参加者 11名

10/25	脂質異常症予防	雑穀米 簡単減塩味噌汁 さばの韓国風煮 きのこのジンジャーサラダ 抹茶ミルクプリン	伊藤	参加者 11名
11/22	ビーツ・ヤーコン活用術	ビーツの梅ごはん ヤーコンと若布の味噌汁 ビーツのコロッケ ビーツと玉葱のサラダ ヤーコンとりんごのサラダ ビーツのマフィン	己上	参加者 11名
12/13	風邪に負けない身体作り	具だくさんつくね丼 ホエー活用トマトスープ 生春巻き ヨーグルト大福	伊藤	参加者 11名
1/31	胃もたれ改善	中華風にゆうめん とろろご飯 白菜とりんごのサラダ カスタードプリン	己上	参加者 12名
2月	実施なし	実施なし		
3月	実施なし	実施なし		

6. 地域食堂（地域における公益的な活動）

	実施日	献立	提供食数	実施者
4月	8日	米飯 味噌汁 たらと野菜のフライ盛り合わせ もやしのナムル イチゴムース	26食	谷本 己上 大和田
5月	6日	米飯 味噌汁 鶏肉の南蛮漬け じゃが芋のジャーマンポテト キャベツの浅漬け 桜のプリン	26食	谷本 己上 大和田
6月		未実施		
7月	1日	米飯 味噌汁 キャベツ入りメンチカツ 若布と葱のぼん酢和え 胡瓜の味噌マヨ和え ヨーグルトババロア	30食	尾上 己上 大和田 地域住民2名
8月	5日	ピリ辛冷やし中華 俵おにぎり 茄子とピーマンの味噌炒め キャロットケーキ	19食	尾上 己上 地域住民2名
9月	2日	ライス スープカレー キャベツのコーンサラダ ラッシー風ゼリー	32食	尾上 己上 地域住民2名
10月	7日	かき揚げ丼 きのこ汁 キャベツの浅漬け もずく酢 りんごのパウンドケーキ	22食	尾上 己上 伊藤 地域住民2名

11月	18日	豆乳担々麺 ミニおにぎり もやしのナムル 杏仁豆腐	34食	尾上 己上 伊藤 地域住民2名
12月	2日	豚肉とひじきの混ぜご飯 具沢山味噌汁 揚げ出し豆腐のきのこあん 白菜のゆず和え 南瓜のムース	28食	尾上 己上 伊藤 地域住民2名
1月	6日	オープンいなり寿司 鮭の粕汁 もやしとチンゲンサイの辛子和え 手作り雪見だいふく	22食	尾上 己上 伊藤 地域住民2名
2月	3日	ロコモコ丼 わかめスープ 大根サラダ 蜜柑のパウンドケーキ	32食	尾上 己上 伊藤 地域住民2名
3月		実施なし		

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名: 法人本部・給食部門

(評価基準) S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分 D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	月別実施状況												ゴール(達成目標)	最終評価	コメント		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月	
1	(1)	健康状態を維持・向上する食事提供の実施	①ご本人の年齢・病状・身体状況を把握し、身体に必要な栄養を摂取できる栄養ケアマネジメントの実施。 ③既往を再発予防するための治療の充実化。 ④なごみの家・ぬくもりの家えん・たかまにて嗜好調査を実施する。	己上	計画														栄養状態の評価 嗜好調査の実施	C	・栄養評価・年2回 一年度末1回のみ実施。 最終評価 (低栄養者BMI18.5以下) えん4名 なごみ5名 たかま2名 ・ぬくもりの家えんでの栄養ケアマネジメントの実施。 ・年2回、利用者全員のBMIを確認し、低栄養の方へのアプローチを栄養士から発信できなかった。 ・なごみの家・ぬくもりの家えん・ぬくもりの家たかまにおいて、嗜好による調査が実施できたか。
					実施	実施															
2	(1)	健康料理教室の実施	地域における介護予防の取り組みを促進するために、月に1回栄養士による料理教室を実施する。	己上 大和田	計画														料理教室計画実施	A	・月1回料理教室を実施できた。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施							実施		
3	(1)	地域食堂の実施	①子ども・高齢者に対する低栄養の改善のため、月に1回法人による地域食堂を実施する。 ②地域食堂を通して、地域住民との関わりを持ち、食事・栄養に対するニーズを把握する。	己上	計画														地域食堂計画実施	B	・月1回地域食堂を実施できた。
					実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施							実施		
4	(1)	適温提示の徹底	食事を「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供することで、より食事がおいしく、楽しいものになるよう食事提示方法の作業確認を行います。	己上	計画														厨房巡回・配膳確認	B	・主食・汁物について「冷たい」などの苦情をゼロにする。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施								実施		
5	(2)	衛生管理および給食設備の確認と徹底	①衛生管理および給食設備を定期的にチェックし、異物混入や食中毒防止に努める。また、厨房機器等の見直し・必要備品の購入による改善を行う。 ②各現場で安全な食事が提要求できるよう、食中毒予防研修を実施し、安全な食事を提供する。	己上	計画														給食設備のチェック・厨房器具の見直し	B	・給食設備の定期的チェックと厨房器具の見直し。 ・異物混入の報告 0件 ・なごみの家・ぬくもりの家えん・たかま・ヘルパーを対象とした食中毒予防研修の実施。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施								実施		
6	(3)	嗜好を取り入れ、楽しみのある食事の提供	①満足感とQOLの向上を図るため、献立のみでなく、食器への配慮をし、見た目にも楽しく食べやすい食事の提供の実施。 ②入居者・利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事・行事食の計画・実施。 ③栄養士による手作りおやつ提供のための計画と実施。 ④朝食の小付・サラダのドレッシングなどを複数提供する。(たかまのみ)	己上	計画														祝日祝い膳の実施 不足食器購入	A	・不足している食器がないか確認し、数が不足しているものの購入。または新規食器の購入。 ・各月に合わせた祝膳の提示 ・季節の食材を献立に反映し季節感を出す。 ・栄養士による手作りおやつの実施
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施								実施		

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名: 法人本部・給食部門

(評価基準) S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分 D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	コメント
7	(3)	安全で美味しく、身体状況に合わせた食事の提供	①摂食障害者、ターミナル期の方など、個別に合わせた適切な食事形態(ソフト食・やわらか食)や提示方法の実施。 ②より見た目・味共に美味しいソフト食の提供。 ③新人スタッフ(調理に携わる)への、基本のソフト食の勉強会を実施する。 ④献立の作り方マニュアル(レシピ表)を作成し、バラつきのある作り方を統一する。 ⑤常食により近い、やわらか食の提供。 ⑥栄養ケアマネジメントを行い、年齢・症状・摂食状況・活動量・健康状態を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。 ⑦治療食の調整の幅を設け、病気があっても楽しみのある食事を提供する。	己上			→	→	→	→	→	A	栄養ケアマネジメントの実施 レシピ表の作成	→	→	→	→	→	・より良いソフト食を提供するための情報の収集ができたか。 ・見た目も美味しいソフト食が提示できていたか。 ・新人対象のソフト食勉強会が実施できたか。 ・献立のレシピ表を作成し、作り方を現場に伝達できたか。 ・栄養ケアマネジメントを実施し、個別に合わせた食事の提供ができていたか。 ・治療食の方にも、段階的な食事の提供ができていたか。	B	・ソフト食に関する新たな情報の収集はできなかった。 ・現場の負担も考慮し、既製品のソフト食も取り入れながら、行食食では見た目良いソフト食の提示ができた。 ・新人職員対象にソフト食の調理実習を初めて実施することができた。 ・レシピ表の作成については、新規メニューのレシピのみの作成となった。 ・現場と情報を共有しながら個別に合わせた食事の提供ができた。
8	(5)	適正な予算管理	～なごみの家・ぬくもりの家えん～ ①給食費の予算に合わせた献立の作成 ②無駄のない食材の仕入れの実施 ③食材の在庫管理の実施 ④食材収支表の作成・原価表の作成の実施	己上			→	→	→	→	→	B	食材収支表の作成 原価表の作成	→	→	→	→	→	・献立原価が予算内であったか ・食材収支額が年間で予算内であったか	C	・なごみの家は食材・おやつ共に予算内と達成できた。 ・ぬくもりの家えんはおやつは予算内に納めたが食材費は未達成となった。 ・ぬくもりの家たかひは昨年度よりは赤字を修正できたが予算内には納めることができず未達成となったため、評価Cとする。
9	(4)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、慢性疾患があってもできる限り安定して生活ができるよう努める。 ②皮膚の状態を観察し褥瘡の予防(栄養・除圧・摩擦)、早期発見、発症時の適切なケアを実践する。(褥瘡発症者ゼロ) ③看護職員と介護職員、医師、栄養士、調理員の連携を図り、ケアカンファレンスを行い安全かつ適切なケアが行えるようになる。 ④便秘を予防し下剤を増やさない、減量する取り組み(玄米食・腹部マッサージ・オリーブオイルの導入)を計画、実践する。(刺激性下剤1人、下剤使用者5人維持減少) ⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践。(誤嚥性肺炎の入院者ゼロ) ⑥医療と介護の連携により、入院にならないよう予防的ケアを実践する。(入院90日以内)。また、入院の際も入院が長引かないように病院との連携を図り支援する。 ⑦感染症対策委員会と連携し、食中毒・ノロウイルス・インフルエンザの予防策の徹底と定期的な確認を行う。(目標: 集団感染0件) ⑧ヨーグルトを導入し、免疫力を高め、強い体を作る事に努める。 ⑨職員の健康・体調管理に努める。	己上			→	→	→	→	→	B	ヨーグルトの提供(なごみ・えん) 玄米ご飯の実施(なごみ・えん)	→	→	→	→	→	・多職種連携でケアが実施できたか。 ・下剤使用者を現状維持・または減少できたか。 ・誤嚥性肺炎による入院者0件 ・集団感染0件 ・ヨーグルトを導入し免疫力をつける。	B	・褥瘡発症者→2名(えん) ・多職種連携でケアの実施→実施できた ・下剤使用者の減少・維持→多職種連携で排泄状況や便秘状態を確認し、その都度検討し調整することができた。 ・誤嚥性肺炎による入院者→2件 ・入院日数→225日 ・集団感染→インフルエンザ 0名 ・手作りヨーグルトの実施→実施できた ・食物繊維1日20g→18g
10	(4)	関係職種との連携機能の強化	①ご利用者により安全・安心・満足して頂ける食事提供のため、定期的な情報交換に努める。 ②各部署との給食に関する情報を共有し、各事業所の会議にて問題点の発見と改善に努める。	己上			→	→	→	→	→	B	各会議への参加と問題点の改善	→	→	→	→	→	・定期的に情報を共有できたか。 ・なごみ会議・えん特養会議・えん給食会議の毎月の参加により問題点を確認し改善に向けてのアプローチができたか。	B	・各事業所の会議に参加し、問題点の確認ができ、改善に向けての話し合いができた。 ・今年度より検査簿を作成したことで、現場の意見が反映しやすくなった。

令和元年度 総合事業（一般介護予防事業）事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

令和元年度は「地域介護予防活動支援事業」、「地域リハビリテーション活動支援事業」、「介護予防普及啓発支援事業」、「法人自主事業」に取り組んだ。フィットネス倶楽部コレカラ（以下、フィットネス）の延べ利用者数は8,615名であった。

1) 地域介護予防活動支援事業

フィットネスにおいて介護予防を図ることを目的に、フィットネス機器によるサーキットトレーニングプログラムを実施した。令和2年3月末の登録者数は383名（男性105名、女性278名）であり、昨年度より36名増加し、目標登録者数である400名の96%に達した。月間実利用人数は平均118.1名（前年比-4%）であり、目標実利用人数150名は達成できていない。男女別で見ると、男性は平均25.6名（前年比+18%）、女性は平均92.5名（前年比-9%）であり、男性利用者は大きく増加した一方で、女性利用者は減少している。男性が増加した要因として、今年度より開始した「男の運動教室」が考えられる。この企画により、新規男性登録者の増加、および定期的な利用につながったと考える。来年度も継続していきたい。一方、女性利用者の減少について、月ごとにみると、7～9月（夏季）、12～2月（冬季）で顕著であった。夏季については、昨年度に比べ真夏日が多く（今年16日、昨年9日）、暑さにより外出機会が減少したことが要因として考えられる。冬季については、昨年に比べ農家の女性の利用が少なかったことが要因として考えられる。そのため、来年度は冬季に入る前に農家の女性に対して無料体験会を開催し、利用の啓発をしていきたい。

地域における住民主体の介護予防活動のためのボランティア育成、支援を行うことを目的に、鷹栖町オリジナルの介護予防体操「あったかすりハビリ体操（以下、リハビリ体操）」の普及・啓発を実施した。「あったかすりハビリ体操指導士養成講座」を1回開催、4名のあったかすりハビリ体操指導士（以下、指導士）が誕生し、合計27名が在籍している。指導士の活動は、フィットネス、サービス付き高齢者向け住宅たかほ、デイサービスセンターはびねすでの体操教室をはじめ、老人会、保健推進委員、鷹栖町健康福祉課、社会福祉協議会などからの体操指導依頼を受けて実施している。今年度はフィットネス以外の地域での体操教室を127回（前年比+10%）開催し、延べ1543名（前年比+7%）の町民へ体操指導を実施した。大きく増加した要因として、指導士が主体的にリハビリ体操教室を設立したことがあげられる。今後も、指導士養成や指導士の活動援助を継続していくとともに、鷹栖町健康福祉課、社会福祉協議会と協力のもと、理学療法士、指導士による体操教室を維持・拡大し、フィットネス事業へ参加できない住民に対して、「住民ボランティア主体」でリハビリ体操を通じた介護予防活動を推進していきたい。

成果発表として、第6回日本予防理学療法学会学術大会にて「通いの場に参加する地域在住高齢者のフレイル有症率の調査 ～体操指導士活動の拡大に向けて～」と題し、指導士の活動場所である老人会に参加する高齢者のフレイル有症率について発表した。内容として、老人会に参加する高齢者ではフィットネス利用者に比べ、フレイルやフレイル予備軍の割合が非常に高いことが明らかになった。そのため、老人会参加者に対する介護予防を今まで以上に積極的に取り組む必要があることを認識した。

2) 地域リハビリテーション活動支援事業

フィットネス登録者383名のうち158名、延べ232名に対して、初回利用時、または6ヶ月毎に体力評価を実施した。測定項目にはフレイル判定が含まれており、フレイル、もしくはフレイル予備軍の利用者を早期から把握することができた。地域包括支援センターからの評価依頼は1件であったが、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所からの紹介でフィットネス利用へと繋がった例もあり、今後も地域包括支援センターとの連携を継続していきたい。

成果発表として、第70回北海道理学療法士学会にて「介護予防事業にフレイル者は参加しているのか？ ～基本チェックリストを用いた検討～」と題し、フィットネス利用者のフレイル有症率について発表した。内容として、先行研究と比較すると、フィットネス利用者ではフレイル予備軍の割合が低く、元気高齢者が多いことが明らかになった。このことから、フィットネス利用者だけでなく、地域に潜在するフレイルやフレイル予備軍の高齢者を把握し、その方々に対して対策していくことの必要性について認識した。

3) 介護予防普及啓発支援事業

フィットネスでのレッドコード教室を上半期は7クラス56名、下半期は8クラス64名の登録者で運営した。上半期、下半期ともに教室定員は満たすことができおり、1回平均利用者数も平均6.6名と高い参加率を維持することができた。コレカラサポーター（以下サポーター）養成講座は、1回開催し、3名のサポーターが新しく誕生し、合計33名のサポーターが在籍している。サポーターの月活動実人数は平均13.3名（前年比-20%）、延べ活動時間509時間（前年比-46%）と昨年度に比べ大きく減少した。これは固定の利用者が増え、マシンの説明が必要な場面が減少したことや、正式にはサポーターとして活動していない固定利用者が、不慣れな利用者に対して、自主的にサポートしてくれていることが要因であると考えられる。互助活動の広がりを感じることができた1年であった。また、要介護者や認知症の利用者、新規利用者へのサポートが素晴らしく、感謝の言葉をたくさん頂いている。理学療法士の補助役以上の活躍であった。

成果発表として、第39回北海道老人福祉施設研究発表会にて、「鷹栖町フレイルゼロプロジェクト ～住民×行政×社会福祉法人が三位一体となって～」と題し、総合事業で実施しているフレイル対策の概要、およびフレイルから改善した事例について発表した。

4) 法人自主事業

平成30年度より引き続き、レッドコード教室の参加者に対し、ヘルスリテラシー（健康に関する情報入手・理解・活用能力）を向上させる講座を実施した。内容は「認知症」、「水分」、「低栄養」、「便秘」、「社会参加」、「フレイル」に加え、今年度より「地域包括支援センターの役割」についての講義を追加した。介護士、看護師、ケアマネジャー、栄養士、保健師、理学療法士が各専門分野における最新のエビデンスに基づく情報と、現場で培った経験を基に15分間のミニ講座を行い、参加者は真剣に受講している。あったかす健康手帳も平成30年度より引き続き運用し、現在56名が利用している。血圧や体温、体重などの日々の健康面の変化を自分自身で把握することで、健康管理に役立っている。また、ヘルスリテラシー講座内容をセルフチェックできる内容も含まれており、住民のヘルスリテラシーを高め、健康について主体的に考えられる住民が増えるよう取り組んでいきたい。

フィットネス利用者のうちハイリスク者の情報共有の場として、地域包括支援センターの保健師、保健推進係の保健師、理学療法士にて3ヶ月に1度フレイルゼロ会議を実施した。その中でハイリス

ク者に関しては、地域包括支援センターと情報共有することができ、重度化する前に適切な介護保険サービスへスムーズにつなげることができた。

老人会での介護予防を推進するために、町内の老人会 20 団体に理学療法士や保健師が出向き、291 名に対してフレイル調査を実施した。その結果、栄養状態が良い方が多い一方、過去 1 年間に転んだことのある方が 33%もいること、フィットネス利用者比べフレイルやフレイル予備軍の割合が高く、とくにフレイル状態の方が 26%もいたことが明らかになった。この結果をもとに、老人会参加者に介護予防の必要性を感じてもらい、意欲的に取り組んでもらえるよう調査結果をフィードバックしていきたい。

5) その他

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 2 月 25 (火) から 3 月 31 日 (火) まで、フィットネスは休館とした。それに伴い、サーキットトレーニング、レッドコード教室、あったかすりハビリ体操教室は休止となった。また、指導士による地域での体操教室も休止となった。鷹栖町健康福祉課からの依頼で、生活不活病を予防するための、あったかすりハビリ体操プログラムを紙面にし、町広報誌や新聞へ折り込みむという対策へ協力した。

2. 展望（次年度に向けて）

令和 2 年度も、「地域介護予防支援事業」、「地域リハビリテーション活動支援事業」、「介護予防普及啓発支援事業」、「法人自主事業」に対する取り組みを継続する。

1) 地域介護予防活動支援事業

フィットネスでのサーキットトレーニングプログラムの運動指導を継続し、登録者、実利用者数の増加を図るための啓発活動や環境整備を進める。あったかすりハビリ体操では、指導士の養成講座を開講し、新しい指導士養成を継続するとともに、既存の指導士のフォローアップとして定期的なミーティング、先進地域の視察を実施する。また、指導士の活動の場を拡大するため、各地域での体操教室の開催を促進し、住民主体の通いの場の立ち上げへつなげていく。

2) 地域リハビリテーション活動支援事業

フィットネス利用者への身体機能評価を継続して行い、評価結果をもとに、その方の持つ病気やケガ、身体機能に合わせた運動内容の指導を行う。体力評価にてハイリスクと判定された方の情報をフレイル会議にて地域包括支援センターと共有し、適切なサービスを提供できる体制を構築する。地域ケア会議への出席、地域包括支援センターからの評価依頼に対しても継続的に実施する。また、老人会に理学療法士が出向き、体力測定やフレイル調査結果の説明や健康講話を実施し、老人会での介護予防を推進する。

3) 介護予防普及啓発支援事業

レッドコード教室での運動指導や教室数の調整を継続する。コレカラサポーター養成講座も引き続き行い、理学療法士がサーキットトレーニング不在時に運動指導ができる体制を構築する。新たに、体力測定にてフレイルと判定された方を対象とした健康教室を開催し、フィットネスにおけるフレイル対策を強化していく。

4) 法人自主事業

ヘルスリテラシーの向上により、自身の健康について主体的に考え、自己管理できる住民が増えるように、ヘルスリテラシー講座と健康手帳の配布を継続する。

5) その他

各事業の効果検証作業として、学術大会での演題発表を継続する。また、鷹栖町健康福祉課や社会福祉協議会と協力し、総合事業の啓発活動を継続するとともに、各住民ボランティア同士が交流できる場を設け、「自助・互助・共助・公助」の循環が円滑に行えるよう全事業を推進する。

最後に、新型コロナウイルス感染防止のため、高齢者の外出や運動の機会が減少しており、現在の生活が続くことで、生活不活発病やフレイルの発症リスクが高まることが考えられる。総合事業は高齢者を対象とした事業のため、感染防止を第一に考えながら、利用者が安全に安心して運動できるよう策を講じていきたい。

3. 業績報告

1) 地域介護予防活動支援事業

(1) サーキットトレーニング

① 登録者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	88	88	91	92	92	93	95	97	98	104	105	105
女性	256	261	262	263	263	265	267	270	272	276	278	278
計	344	349	353	355	355	358	362	367	370	380	383	383

② 実利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
男性	23	21	22	26	22	22	27	27	30	32	30	0	25.6	+20%
女性	99	98	90	79	73	80	95	103	103	99	98	0	92.5	-9%
計	122	119	112	105	95	102	122	130	133	131	128	0	118.1	-3%

(2) あったかすりハビリ体操教室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教室数 (クラス)	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
登録者数 (名)	35	31	33	33	33	33	33	15	16	16	16	16
実人数 (名)	24	24	24	25	21	22	21	14	15	13	11	0
1回平均 利用者数 (名)	10.4	8.6	9.8	8.7	6.7	7.1	7.0	9.0	12.5	10.8	8.0	0.0

(3) あったかすりハビリ体操指導士

① 指導士養成講座受講者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	8	7	7	7	0	0	0
計	0	0	0	0	0	10	9	9	9	0	0	0

② 指導士活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
登録者 (名)	23	23	23	23	23	23	23	23	27	27	27	27		
実人数 (名)	12	11	14	10	10	11	10	11	12	11	10	0	11.1	+27%
延べ 活動時間 (時間)	47	62	46	38	43	51	42	44	38	55	36	0	45.6	+19%

③ 地域での体操教室実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
教室数 (回)	12	13	9	11	9	9	9	13	10	18	14	0	127	+10%
参加者数 (名)	144	178	89	117	153	116	111	184	137	176	138		1543	+7%

2) 地域リハビリテーション活動支援事業

(1) 体力評価

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	1	6	7	3	1	2	4	7	4	2	1	0
女性	7	65	14	8	4	3	2	64	20	4	3	0
計	8	71	21	11	5	5	6	71	24	6	4	0

(2) 地域包括支援センターから理学療法士への相談対応

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

3) 介護予防普及啓発支援事業

(1) レッドコード教室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教室数 (クラス)	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8
登録者数 (名)	56	56	56	56	56	56	56	64	64	64	64	64
実人数 (名)	55	56	55	55	55	55	55	64	62	63	63	0
1回平均 利用者数 (名)	6.7	6.9	6.1	6.8	5.6	6.8	6.4	7.2	6.6	6.5	6.7	0.0

(2) コレカラサポーター

① サポーター養成講座受講者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0

② サポーター活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
登録者 (名)	30	30	30	30	33	33	33	33	33	33	33	33		
実人数 (名)	12	14	14	14	12	16	15	13	11	11	14	0	13.3	-20%
延べ 活動時間 (時間)	48	85	51	44	29	54	52	46	30	29	41	0	46.3	-46%

4 イベント・視察

実施日	イベント名	概要
4月5～11日	令和元年度上半期レッドコード 教室申込	申込者68名 (新規8名、再開5名、継続55名)
4月8日	ふまねっと体験会	14:00～14:30 参加者10名、サポーター2名
4月12日	令和元年度上半期レッドコード 教室抽選会	当選者56名 (新規6名、再開4名、継続46名)
4月23日	第36回総合事業会議	・実績報告 ・木曜日ハ体操教室の北野地区住民センターへの移行 ・ボランティアインセンティブについて ・レッドコード抽選会について ・苦情について ・春のチャレンジデーについて
5月10日	春の大掃除	13:00～14:00 参加者28名(男性3名、女性25名)
5月10日	地域包括ケア研究会参加者視察	17:00～18:00 参加者 道内外76名
5月21日	第37回総合事業会議	・実績報告 ・春の大掃除について ・苦情について ・春のチャレンジデーについて
5月29日	春のチャレンジデー	9:00～12:00、17:30～20:00 AM23名(利用者20名、新規3名) 夕方13名(利用者5名、新規8名)
6月5日～7月31日	男の運動教室(毎週水曜日)	9:00～10:30 申込者9名 (新規4名、再開1名、キャンセル待ち1名)
6月18日	第38回総合事業会議	・実績報告 ・コレカラ環境整備について
6月22～23日	第70回北海道理学療法士学術大会	・帯広市民文化ホールにて開催 ・「介護予防事業にフレイル者は参加しているのか? ～基本チェックリストを用いた検討～」について口述発表
7月3～4日	第39回北海道老人福祉施設研究発表会	・札幌プリンスホテル 国際館パミールにて開催 ・「鷹栖町フレイルゼロプロジェクト ～住民×行政×社会福祉法人が三位一体となって～」について口述発表
7月9日	第3回フレイルゼロ会議	・ハイリスク者の情報共有 ・老人会でのフレイルチェックについて ・保険推進係との連携について ・町の体操教室でのPTの関わりについて

実施日	行事名	概要
7月17日	旭川大学コミュニティ福祉学科見学	・住民参加型総合事業概要について講義 ・フィットネスプログラム体験
7月23日	第39回総合事業会議	・実績報告 ・コレカラ環境整備について ・無料体験会開催について
8月2日	子ども食堂参加者見学	・理学療法士について説明 ・レッドコード体験
8月7日	体操指導士復習会	9:30～11:30 ・14名参加 ・チーム対抗リハビリ体操復習テスト ・体操の内容や声掛けの復習・統一、ミーティング
8月8日	島根県海士町 大江町長 視察	・住民参加型総合事業概要について講義 ・フィットネスプログラム説明
8月13日	レッドコード・フィットネス シャキッと 研修	11:00～16:30 ・プログラム内容とその効果について実技・説明
8月19日	旭川大学実習生見学	・住民参加型総合事業概要について講義 ・フィットネスプログラム体験
8月21日	コレカラサポーター養成講座	9:30～12:00(11:00～12:00は救急救命講習) ・4名参加(新規3名、復習1名) ・救急救命講習10名参加
8月23日	第40回総合事業会議	・実績報告 ・コレカラ環境整備について ・無料体験会開催について ・体操指導士養成講座について
8月26日	東大生見学	・6名参加 ・レッドコード体験
9月1日	ハレバレパレットでのリハ体操披露	オープニングアクトとして、The sheepとともに あったかすりハビリ体操披露
9月5日	上川管内議会事務局職員体操教室	11:10～12:00 ・体操指導士によるあったかすりハビリ体操指導
9月16日	コレカラ無料体験会	・43名参加 ・新規:3名、通常利用者:40名 ・オレンジテスト:7名 筋組成測定会:10名 レッドコード:17名(8名/3名/6名/0名) リハビリ体操:6名 サーキット:35名
9月21日	社会福祉法人愛知たいようの杜 理事長 大須賀氏視察	・住民参加型総合事業概要について講義
9月25～26日	鷹栖高校実習	・男子高校生2名 ・フィットネスプログラム体験 ・利用者とのコミュニケーション練習

9月27日	第41回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・コレカラ環境整備について ・無料体験会開催について ・下半期レッドコード抽選会について ・下半期あったかすリハ体操教室について
10月1～7日	令和元年度下半期レッドコード教室抽選会	申込者67名 (新規6名、継続61名)
10月8日	令和元年度下半期レッドコード教室抽選会	当選者64名 (新規6名、継続59名)
10月11日	帯広大谷短期大学視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について説明 ・フィットネスプログラム体験
10月12日	北空知介護支援専門員協議会視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について講義 ・フィットネスプログラム体験
10月14日	秋のチャレンジデー	<ul style="list-style-type: none"> ・61名参加 ・60歳以上57名、60歳未満4名 レッドコード:30名 リハビリ体操:6名 サーキット:61名
10月17日	上川振興局視察	・住民参加型総合事業概要について説明
10月19～20日	第6回日本予防理学療法学会学術大会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・広島国際会議場にて開催 ・「通いの場に参加する地域在住高齢者のフレイル有症率の調査」について口述発表
10月25日	苫前町町議視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について講義 ・フィットネスプログラム体験
10月29日	第42回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・学会参加報告 ・環境整備について ・年末年始営業日について ・男の運動教室について
11月4日	コレカラ無料体験会	<ul style="list-style-type: none"> ・60名参加 ・新規3名、通常利用者50名、はがき送付者7名 レッドコード:17名 リハビリ体操:11名 サーキット:51名 オレンジテスト 8名 体組成測定会 4名
11月14日	幌加内町民生委員視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について説明 ・フィットネスプログラム体験
11月18日	体操指導士ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者11名 ・各体操教室(月曜、木曜、たかほ、高齢者住宅、てならい、なごみ)の活動報告 ・指導士間の連絡方法の確立

11月19日	あさひかわ体操指導士スキルアップ・交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・CoCoDeIにて開催 ・参加者2名(総勢80名程度) ・各地区指導士の活動報告 ・レクリエーション
11月21日	つながる地域研究所視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について説明 ・フィットネスプログラム体験
11月26日	道北老協施設長視察	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型総合事業概要について説明 ・フィットネスプログラム体験
11月26日	第43回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・環境整備について ・サポーターによるコレカラ運営について ・大掃除について
11月29日	第4回フレイル会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者、利用者介護認定状況の情報共有 ・今後の事業について
11月30日	福祉とまちづくりフォーラム体操	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングアトラクションとして、体操指導士とともにリハ体操披露
12月6日	地区けんこーざ(北成地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイルについて講義 ・リハ体操
12月10日	冬の大掃除	<p>13:30~14:30に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・33名参加(男性4名、女性29名)
12月17日	鷹栖高校体操教室	<ul style="list-style-type: none"> ・リハ体操
12月17日	地区けんこーざ(鷹栖地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイルについて講義 ・リハ体操
12月27日	第44回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・サポーターによるコレカラ運営について ・体操教室の展開について ・ボランティア交流会について
12月28日~1月3日	年末年始休館	
1月8日~2月26日	男の運動教室	<ul style="list-style-type: none"> ・9名申込み ・新規5名、再開2名、通常利用2名 ・1名は通常利用を案内し、承諾
1月17日	地区けんこーざ(北斗地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイルについて講義 ・リハ体操
1月21日	第45回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・サポーターによるコレカラ運営について ・体操教室の展開について ・ボランティア交流会について ・教育委員会、保健推進係との拡大会議

2月21日	第46回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・体操教室の展開について ・ボランティア交流会について ・来年度の活動予定 ・レッドコード抽選会について ・新型コロナウイルスの対応について
2月25日～3月31日	新型コロナウイルス感染拡大防止のためコレカラ休館	
3月1日	ボランティア交流会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3月17日	第47回総合事業会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実績報告 ・コレカラ再開について ・感染予防による閉じこもり高齢者への対応について ・レッドコード抽選会について ・ヘルスリテラシー講座講師について
3月18日	JA北野女性部無料体験会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和元年度 部門(事業所)別活動計画

地域介護予防活動支援事業・地域リハビリテーション活動支援事業
 介護予防普及啓発支援事業・法人自主事業

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との運動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容		
1	(1)	あったかすリハビリ体操の普及、あったかすリハビリ体操指導士の養成、住民主体の通いの場の立ち上げ、サーキットトレーニングプログラムの運営、学会発表。 (地域介護予防活動支援事業)	①あったかすリハビリ体操教室での理学療法士、体操指導士による体操指導の継続。	大河原大矢	計画		上半期 数室開催 参加人数 24名					B							11月より1クラス減、変更考慮すると、月実人数は24.8名	B			
			②あったかすリハビリ体操指導士が、各団体(老人会、町内会等)で体操を指導し、住民主体の通いの場の立ち上げ。	大河原大矢	計画									S								S	定期的に指導する団体が増加
			③あったかすリハビリ体操指導士養成講座の継続。	大河原大矢	計画									B								B	復習参加者も含めると10名が参加
			④ウェルニク機器、有酸素運動機器等のサーキットトレーニングでの運動指導の継続。	大河原大矢	計画									C								C	1ヶ月実利用人数118.1名。増加策を検討が必要
			⑤利用者数増加へのイベント開催。(男性限定プログラム等)	大河原大矢	計画									S								S	イベントにより男性利用者が大幅に増加
			⑥学会での成果発表。(日本予防理学療法学会)	大河原大矢	計画									A								A	成果発表が成功し、今後につながる取り組みとなる
2	(2)	身体機能評価、地域ケア会議への参加、地域包括支援センターからの評価依頼対応、学会発表。 (地域リハビリテーション活動支援事業)	①身体機能評価をコレカラ新規利用者へ実施し、適切な運動内容を指導。	大河原大矢	計画							C								C	月平均3.2名。さらなる周知が必要		
			②地域ケア会議への参加の継続。	大矢	計画								D								D	非参加	
			③地域包括支援センターからの評価依頼対応の継続。	大矢	計画									D							C	評価依頼がなかった	
			④学会での成果発表。(北海道理学療法学会)	大河原大矢	計画									A							A	成果発表が成功し、今後につながる取り組みとなる	
3	(3)	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための活動、フィットネス倶楽部コレカラの運営、利用者の指導及び支援、学会発表。 (介護予防普及支援事業)	①レッドコード教室での運動指導の継続。	大河原大矢	計画		申込み					A								A	11月より1クラス増、月実人数54.5名		
			②レッドコード研修会への参加。	大河原大矢	計画								A								A	学んだ内容をもとに新メニュー作成・導入できた	
			③コレカラサポーター養成事業の継続。	大河原大矢	計画								B								B	新規参加者は3名	
			④新パンフレット作成・配布。	大河原大矢	計画								B								A	よりわかりやすい内容となった	
			⑤学会での成果発表。(全国老人福祉施設研究大会)	大河原大矢	計画								B								B	優秀賞受賞できず	
4	(4)	ボビュレーションアプローチ展開、ヘルスリテラシーの普及。 (法人自主事業)	①レッドコード教室にてヘルスリテラシー講座の継続。	大河原大矢	計画		上半期 数室開催 参加人数 45名					B								B	月45.9名参加。休んだ方への対応が必要		
			②健康手帳の配布の継続。	大河原大矢	計画								C								C	さらなる周知が必要	
			③老人会でのフレイル実態調査の実施。	大河原大矢	計画								B								S	14団体に実施。昨年と合わせ全20団体に実施	
			④フレイルゼロ会議の開催(理学療法士、保健師他)	大河原大矢	計画								A								B	開催できない月があったが、情報共有が十分できた	